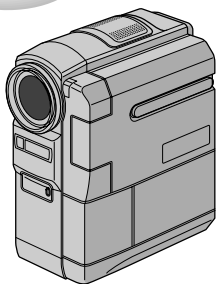
デジタルビデオカメラ

型名 GR-DVX600K

Mini DV NTSC

家族み〜んなで使える
簡単・キレイなデジタルビデオカメラ

楽しみかたがわかる お楽しみガイド 付き

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（34〜35、175〜181ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

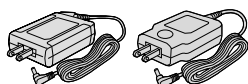
LYT1004-001B

お楽しみガイド　目次

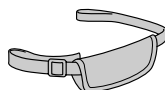
取扱説明編　目次

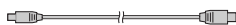
付属品については、６ページをご覧ください。

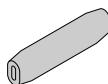
付属品について

本機の付属品をお確かめください。

ACアダプター
AP-V12またはAP-V11

バッテリー端子カバー
（ビデオカメラに取り付けられて出荷されています。取り付け／取りはずしかたはバッテリーパックと同じです。☞52ページ）

バッテリーパック
BN-V306

グリップベルト
（ビデオカメラに取り付けます。取り付けかたは☞50ページ）

ワイヤレスリモコン
RM-V717

専用USBケーブル
長さ：約1.1m

CD-ROM

スリーブ
（グリップベルトに取り付けます。取り付けかたは☞50ページ）

レンズキャップ
（取り付けかたは☞41ページ）

単4乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

編集コード
長さ：約1.5m
自動編集用

中継コード
（別売のヘッドホンを接続します。接続のしかたは☞39ページ）

専用映像/音声コード（φ3.5ミニ）
φ3.5ミニプラグ ▶ピンプラグ×3
長さ:約1.5m
ビデオカメラとテレビ、
またはビデオデッキ接続用

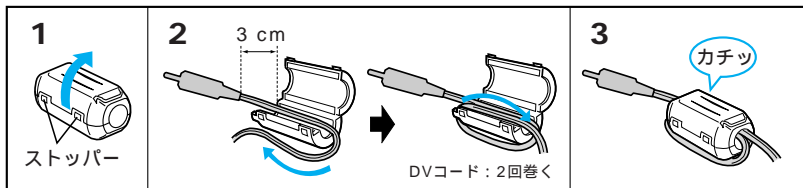
メモリーカード（8MB）
（ビデオカメラに入って出荷されています。☞58ページ）

フェライトコア
（別売DVコード用）

S映像コード
長さ：約1.5m
ビデオカメラとS映像対応のテレビ、
またはビデオデッキ接続用

映像機器と接続したときにおきるノイズを軽減するために付属のコードにフェライトコアがつくことがあります。
この場合、フェライトコアのついている側の端子をビデオカメラに接続してください。

フェライトコアの取り付けかた

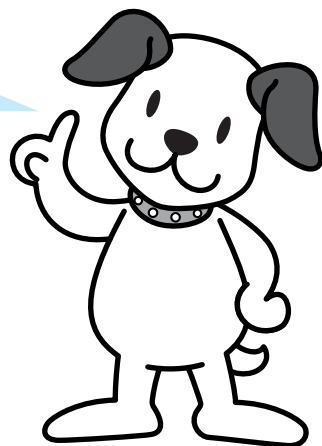
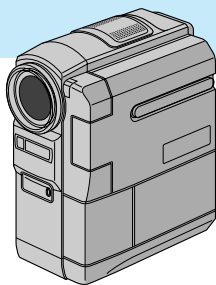
別売のDVコードをお使いになるときに取り付けてください。映像機器と接続したときにおきるノイズを軽減することができます。

1 両端のストッパーをはずして開く

2 フェライトコアにコードを 2 回巻く
- 端子から約 3cm の位置にフェライトコアを取り付けます。

3 コードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

■ 接続するときは、フェライトコアを取り付けた側の端子をビデオカメラに接続してください。

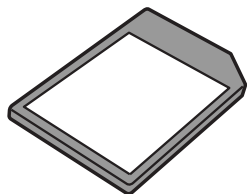
お楽しみガイド

　このデジタルビデオカメラの楽しみかたを、僕がご紹介します。
　便利な機能や、楽しい使いかたを覚えて、あなたのビデオライフをエンジョイしてくださいね。

この「お楽しみガイド」では、本機の使いかたの簡単操作ガイドや、ビデオライフの楽しみかたなどをご紹介しています。まずはじめにお読みください。

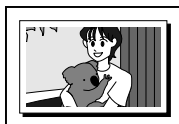
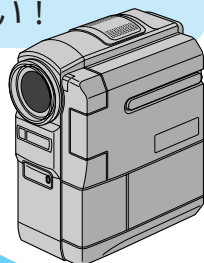
主な特長 ビクターのデジタル

パソコンで画像が遊べる「メモリーカード対応」

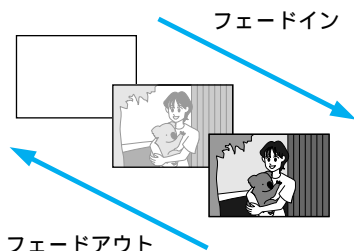
付属のCD-ROMとUSBケーブルを使うとメモリーカードに記録した静止画や動画を簡単にパソコンに取り込めます。

☞ 154ページ

記念日に、育児日記に「記念写真モード」

動画の中に、アクセントで静止画（記念写真）を入れることができます。

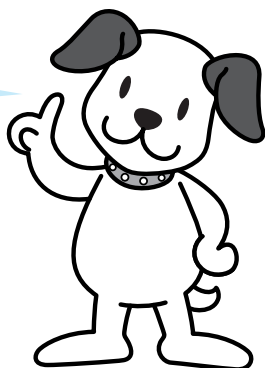
☞ 70ページ

このデジタルビデオカメラは、こんなに便利で楽しい機能がいっぱい！

映像に変化をつけて楽しめる「デジタル演出」

映像に変化をつけてさまざまな演出をほどこした録画や再生ができます。

☞ 128、130ページ

ビデオカメラで楽しさこんなに拡がる！

逆光でも簡単に補正できる「逆光補正」

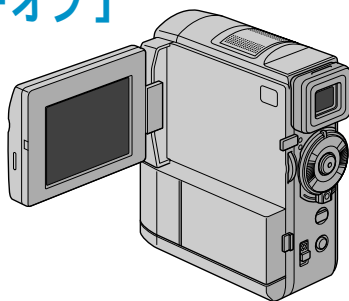
太陽などで背景が明るい場合に被写体が暗く写ります。逆光補正ボタンを押すだけで暗くならないように補正できます。

☞ 69ページ

メモリーカードに動画記録「動画メモリー」

メモリーカードにも動画を記録することができます。動画ファイルをパソコンに取り込めば、メールに添付して送ることができます。

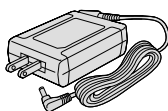
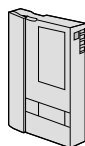
☞ 92ページ

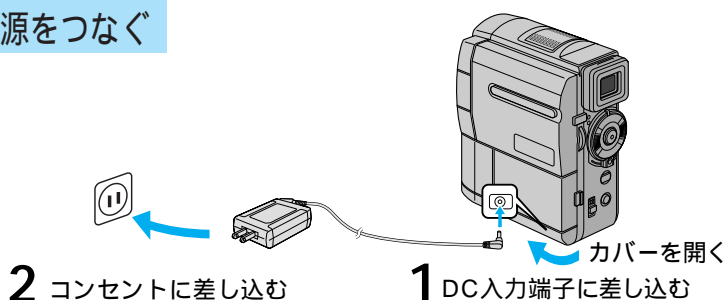
電源の切り忘れを防ぐ「クイックパワーオフ」

電源ダイヤルが「撮影」または「M」のときに液晶画面を開く／閉じる、またはファインダーを引き出す／戻すだけで電源の入／切ができます。

カセットテープにいますぐ撮影してみよう

さっそくカセットテープに撮影してみよう！

必要なもの

本体

ACアダプター

Mini DV（ミニ）
カセットテープ（別売）

1 電源をつなぐ

2 カセットテープを入れる

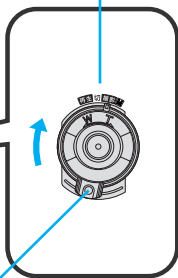
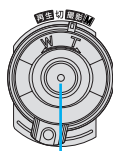
3 電源を入れる

1 液晶画面を開く

2 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

3 ロック解除ボタンを押しながら

4 電源ダイヤルを「撮影」に合わせる
電源ランプが点灯し、画面に被写体が映ります。

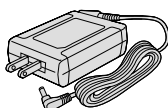
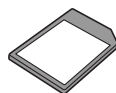
4 撮る

1 撮影ボタンを押す
・撮影が始まります。（画面表示: 録画）
・撮影中ランプが点灯します。

2 再度撮影ボタンを押すと、撮影一時停止になります。

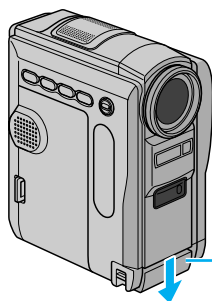
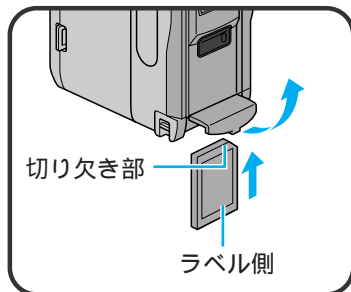
簡単だから、誰にでも操作できるよ！

メモリーカードにいますぐ撮影してみよう

さっそく静止画をメモリーカードに撮影してみよう！

必要なもの

本体

ACアダプター

メモリーカード

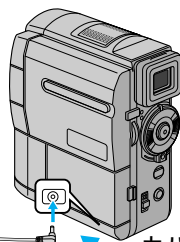
1 メモリーカードを入れる

1 メモリーカードカバーを開く

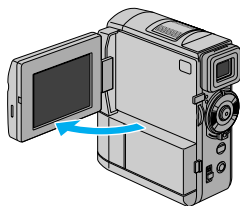
2 メモリーカードを入れる

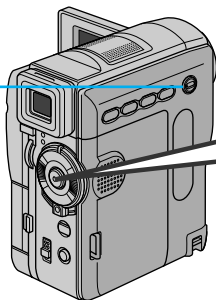
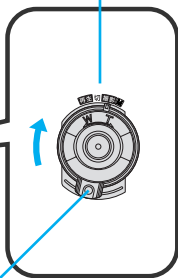
3 メモリーカードカバーを閉じる

2 電源をつなぐ

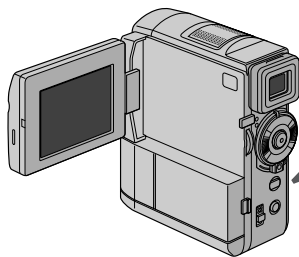
カバーを開く

2 コンセントに差し込む

1 DC入力端子に差し込む

3 電源を入れる

1 液晶画面を開く

4 電源ダイヤルを「撮影」に合わせる
電源ランプが点灯し、画面に被写体が映ります。

2 ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

3 ロック解除ボタンを押しながら

4 撮る

1 静止画ボタンを押す
静止画像がメモリーカードに記録されます。

簡単だから、誰にでも操作できるよ！

いますぐ見てみよう

カセットテープの映像を再生して見てみよう!

カセットテープを再生する

1 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

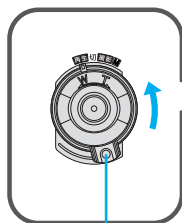
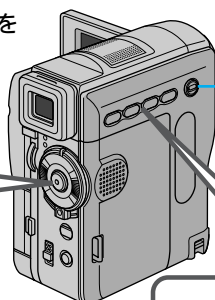
2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

ロック解除ボタン

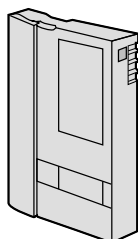
停止ボタン

サウンド　フォーカス　逆光補正　ナイトアイ

■　◀◀　▶/❚❚　▶▶

セレクト

3 巻戻しボタン(◀◀)を押してテープを巻戻す

4 再生ボタン(▶/❚❚)を押す

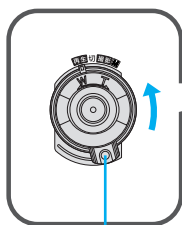
再生をやめたいときは、停止ボタン(■)を押します。

メモリーカードの画像を再生して見てみよう!

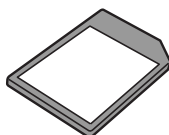
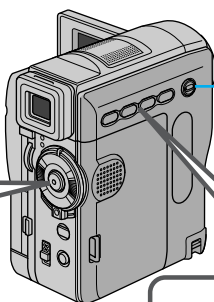
メモリーカードを再生する

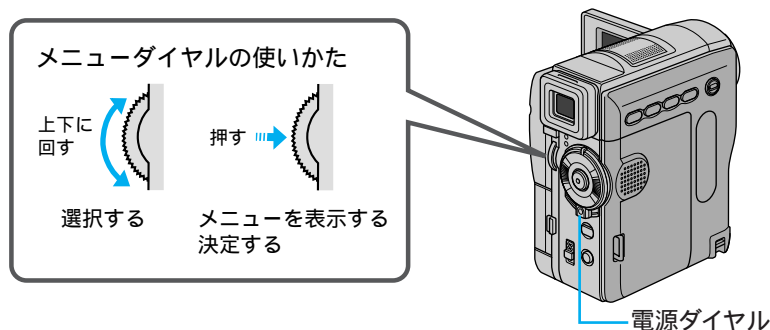
1 ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる
静止画像が表示されます。

ロック解除ボタン

サウンド セレクト　フォーカス　逆光補正　ナイトアイ

3 巻戻しボタン(◀◀)を押して前の静止画を見る

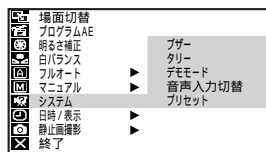
4 早送りボタン(▶▶)を押して次の静止画を見る

デモンストレーションを見てみよう

本機には、演出効果などの機能を確認するための実演（デモンストレーション）モードがあります。ビデオカメラをお使いになる前に、是非一度ご覧になってください。
お買い上げ時は、「デモモード」の設定が「入」になっていますので、カセットテープを入れずに電源ダイヤルを「撮影」、または「M」に合わせてから約3分間なんの操作もしないと自動的にデモモードが始まります。
デモモードを見終わったら、以下の手順で設定を「切」にしてください。

1 液晶画面を開く

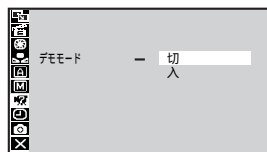
2 ロックを解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニュー画面が表示されます。

3 メニューダイヤルを回して「 システム」を選び、ダイヤルを押す

●システム設定メニューが表示されます。

4 メニューダイヤルを回して「デモモード」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。

5 メニューダイヤルを回して「切」を選び、ダイヤルを押す

6 メニューダイヤルを２回押す

●メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

■デモモード表示中にズームダイヤルを動かすなどの操作をすると、デモモードを一時的に中断します。その後約3分間、なんの操作もしないとデモモードが再開します。

撮影の基本（上手に撮るコツ）

ブレなくてキレイな映像を
撮影することができるよ！

わきをしめる

わきをしめて、左手もビデオカメラにそえる。

カメラを安定させる

壁や柱によりかかり、安定させる。

両手でカメラを持つ

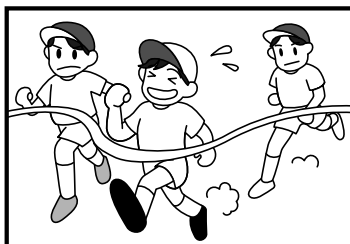
低い姿勢で撮影するときも、わきをしめて、両手でビデオカメラを持つ。液晶画面を上に向けて撮影すれば地面に咲いている花なども撮影できます。子供を撮るときは低い姿勢で子供の目線で撮りましょう。

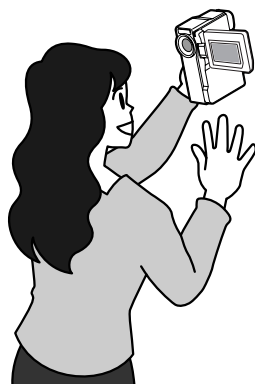
高い位置からの撮影

　高い位置から撮影する場合は、液晶画面を下に向けて、撮影する。

ビデオカメラを動かさない

　安定した映像で撮影するためには、ビデオカメラを固定して撮ります。

　左右に動かすとき（パンニング）や上下に動かすとき（チルディング）は、ゆっくり動かします。撮り始めと撮り終わりは、ピタッと止めます。

液晶画面を回転させる

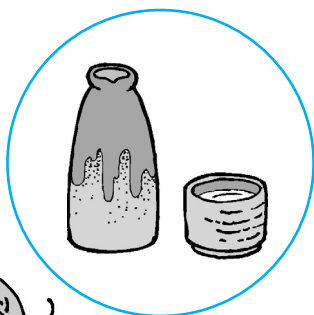
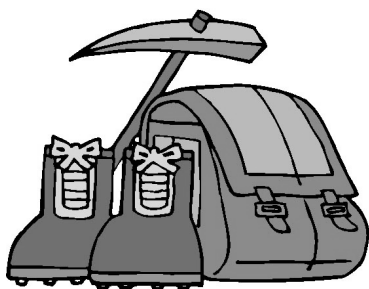
　液晶画面は上に180°、下に90°回転します。液晶画面にご自分を映し、映り具合を見ながら撮影することもできます。液晶画面を開いて180°回転させ前に向けてください。レンズをご自分に向ければ、ビデオ日記などを撮影するときに役立ちます。

三脚を使う

　三脚（別売）に取り付けると、安定した撮影ができます。

わたしの楽しいビデオライフ

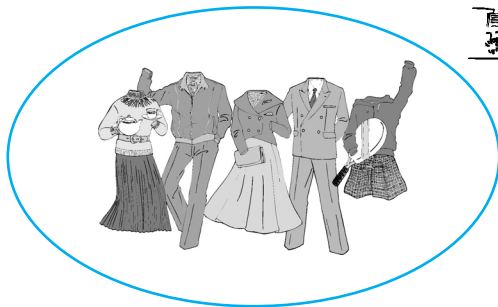
あるご家庭のビデオライフをご紹介しましょう！

お父さんはアウトドア派
四季の自然を撮るのが趣味

　私は、山登りをしたり、バードウォッチングが趣味なんです。四季折々の自然を撮影して、自宅でのんびり見る時間が一番楽しいです。

お母さんは陶芸の作品集づくり

　2年前から陶芸教室に通っています。焼き上げた作品は、出来がいいほど知人にプレゼントしたりすることが多いので、手元に残らないんです。だから、デジタルビデオカメラで作品集を作っているんです。将来、陶芸教室の仲間と個展を開くのが夢です。

長女は海外旅行の思い出を

　私は、海外旅行が大好き。この間はヨーロッパへ友達3人と行ってきました。現地の人の服装やお店のショーウインドウを撮ると面白いんですよね。撮影した映像（画像）は、メールで友人に送ったり、ホームページにアップロードして楽しんでいます。

長男は、撮ってもらうのが大好き！

　僕は小学校の運動会や、発表会などをお父さんやお母さんに撮ってもらうのが大好き。後で見ると、友達のおもしろい顔が映っていて楽しい！

みなさんも、デジタルビデオカメラをいろんなところで使って楽しんでね！

いつでもどこでもどんなときでも楽しめる!

こんな機能を使えば、素敵なシーンがたくさん撮れるよ！

照明を点灯させなくても撮影できる！

照明を点灯させたくない暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。

操作方法:

①ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」に合わせる

②ナイトアイボタンを押す

☞ 132ページ

こんなとき

暗い場所で眠っている赤ちゃんやペットをそっと撮影したいときに最適です。照明をつけないから、眠りの邪魔をしません。

逆光でも簡単に補正できる！

太陽などで背景が明るい場合に被写体が暗く写ります。逆光補正ボタンを押すだけで暗くならないように補正できます。

操作方法:

①ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる

②逆光補正ボタンを押す

☞ 69ページ

こんなとき

運動会など被写体が移動して、逆光でも映したいときに便利です。

ビデオで記念写真が撮れる！

静止画を3つのモード（フレーム、フル、ピンナップ）で撮影できます。

操作方法：

①ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる
②ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」または「撮影」に合わせる
③静止画ボタンを押す
■モードの選択は、メニュー画面で行います。

☞ 70ページ

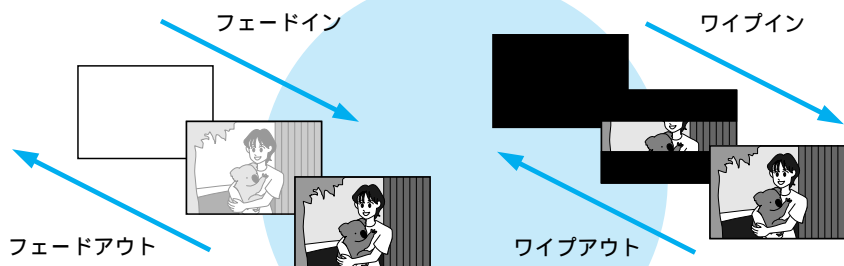
こんなとき

遊園地での素敵な笑顔や、旅行先でのスナップを動画の中に入れておくと、再生したときに楽しめます。もちろん、メモリーカードにも静止画を撮影することができます。ただし、フルモードでのみの撮影となります。

いろいろな場面でこの機能を使ってみてね！

あなたも今日から映画監督

ワンランク上のテクニックを使ってドラマチックな映像に!

フェードイン、フェードアウトで場面をつなごう!

場面と場面のつなぎ目に変化を入れることによって、映画やドラマのような映像を楽しむことができます。

操作方法:

①ビデオ/メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる
②ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す
③メニューダイヤルで「場面切替」を選び、ダイヤルを押す
④メニューダイヤルでお好みの場面切替を選ぶ
⑤メニューダイヤルを2回押す
⑥撮影する

☞ 128ページ

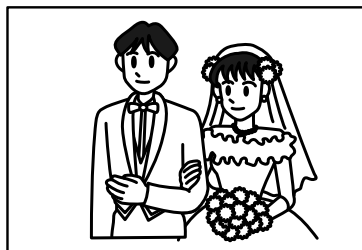
こんなとき

結婚式や紹介ビデオなどの、はじまりや終わりにはフェードを、日付や場所が変更になったところでワイプを使うと素敵な演出ができます。

映像に変化をつけて楽しもう！

被写体をセピア色で撮影したり、コマ落としの効果をつけて撮影することなどができます。

操作方法:

①ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」に合わせる
②メニューダイヤルを押す
③メニューダイヤルで「プログラムAE」を選び、ダイヤルを押す
④メニューダイヤルでお好みのモードを選ぶ
⑤メニューダイヤルを2回押す
⑥撮影する

セピア

スポット
ライト

B/W　B/W
白黒

映画効果

夜景

☞ 130ページ

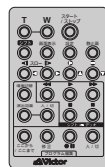
こんなとき

ビデオレターを作るときなどに、映像の途中で画面をセピア色にしたり、白黒にしたりすることによって、個性的な演出が楽しめます。

ズームしたり、演出をしながら再生しよう！

付属のリモコンを使うと、テープを再生しているときに、画面をズームしたり、映像に演出効果を加えることができます。

操作方法:

ズーム

①再生中にリモコンの「T」ボタンを押す
②拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押しながら上下左右ボタンを押す

☞ 84ページ

演出効果

①再生中にリモコンの演出効果ボタンを押す
②演出効果ボタンを押して演出効果を選ぶ

☞ 85ページ

運動会や結婚式のビデオを家族やお友達と見るときなどに最適です。

撮影した映像を編集して楽しもう!

ダビングしたり、声や映像を入れ替えて楽しもう！

ダビングして両親や友人に見せよう！

ビデオデッキと本機を使ってダビングすることができます。また、DV端子付きのビデオ機器でデジタルダビングも可能です。

操作方法：

ダビング

①電源を入れない状態で、本機のAV入力／出力端子とビデオデッキの映像／音声入力端子を映像／音声コードで接続する

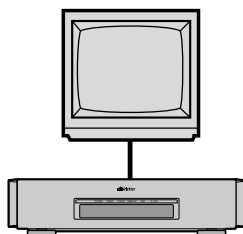
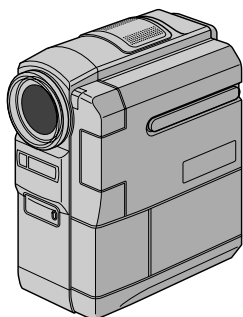
②本機を再生し、ダビングしたいところで、ビデオデッキの録画ボタンを押す

☞134ページ

デジタルダビング

①電源を入れない状態で、本機のDV入力／出力端子とDV端子付ビデオ機器をDVコードで接続する

②本機を再生し、ダビングしたいところで、DV端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

☞136ページ

撮影したテープにナレーションなどを入れよう！（アフレコ編集）

録画モードSPで、音声モードを12BITで撮影しておくと、後でオリジナルテープにナレーションなどを追加することができます。

操作方法:

①テープを再生し、アフレコ編集したい場面でビデオカメラを一時停止する

②リモコンのアフレコボタン（⊖）を押しながら、一時停止ボタン（❚❚）を押す

③再生ボタン（▶）を押し、ビデオカメラのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む

④停止ボタン（■）を押して、アフレコ編集を終了する

☞138ページ

タイトルなどを入れて編集しよう！（インサート編集）

録画モードSPで撮影済みのテープに、後でタイトルなどの別の場面を挿入することができます。

操作方法:

①テープを再生し、インサート編集を終える場面でビデオカメラを一時停止する

・タイムコードを確認してください。

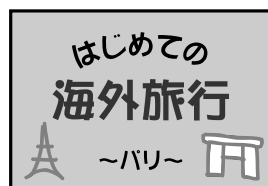
②インサート編集を開始する場面までビデオカメラを巻き戻し、一時停止ボタン（❚❚）を押す

③リモコンのインサートボタン（▶）を押しながら、一時停止ボタンを押す

④インサートするタイトルなどをカメラに映るようにしてリモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押す

⑤リモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押して、手順①で確認したタイムコードの位置でインサート編集を終了する

⑥リモコンの停止ボタン（■）を押して、インサート編集を終了する

☞142ページ

パソコンにつなげて楽しもう！

静止画や動画をパソコンに取り込もう！

まずはパソコンにつなげよう！

付属のパソコン接続キットを使用すると、メモリーカードに記録した静止画や動画をパソコンに取り込むことができます。

オリジナルアルバムを作って楽しもう！

パソコンに取り込んだ静止画は、日付や内容で分類したり、お気に入り画像をまとめたりして、楽しいオリジナルアルバムを作りましょう。

別冊のソフトウェア取扱説明書も見てね！

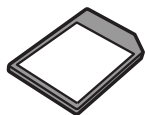
パソコンに取り込んで静止画を編集しよう!

パソコンに取り込んだ静止画は、付属のソフトウェアImageMixerを使って、明るさやコントラストを調整したり、必要な部分だけをトリミングしたり、さまざまなレタッチができます。文字や模様、図形を加えて、オリジナルのカードやラベルなどを作って楽しめます。

USBケーブルで直接パソコンに記録しよう!

USBケーブルでパソコンに接続すれば、ビデオカメラのテープの代わりにパソコンのハードディスクへリアルタイムで映像を取り込めます。
取り込んだ映像をつなげたり、加工したりすることもできます。

詳しくは、付属のソフトウェアImageMixerのオンラインヘルプをご覧ください。

メモリーカードに記録した動画をパソコンに取り込もう！

メモリーカードに動画が記録できる！

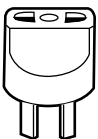
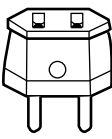
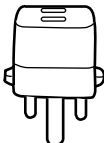
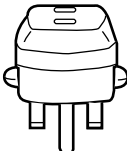
テープに録画した映像をメモリーカードに記録できるだけではなく、カメラ映像を直接メモリーカードに動画記録することも可能です。付属の8MBのメモリーカードなら、トータルで約5分の記録ができます。

☞ 92ページ

ムービーメールで楽しもう！

メモリーカードに記録したMPEG4動画をパソコンと専用作成ソフトを使って、au携帯電話（ezmovie対応機種）に送ることができます。
詳しくは、auの各地域ホームページ http://www.au.kddi.com/ をご覧ください。

動画をメールで送ったり、ホームページで使ったりと楽しみが拡がるよ！

お客様Q＆Aコーナー

Q
海外旅行にビデオカメラを持って行きたいのですが、付属のACアダプターは海外でも使えますか？

付属のACアダプターは海外でも使用可能です。バッテリーをビデオカメラに取り付けて充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口（☞188ページ）にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

お客様 Q & A コーナー

子供の運動会があり、朝から夕方まで撮影し続けたいのですが、長時間撮影ができるバッテリーはありますか？

長時間の撮影を可能にするベルトホルダータイプのバッテリーキットVU-V840KITとVU-V856KITの2種類があります（別売）。バッテリーキットには、バッテリー、充電器、バッテリーポーチが付属されています。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。

VU-V840KIT

VU-V856KIT

連続撮影時間の目安

バッテリーキット	ファインダー使用時	液晶画面使用時
VU-V840KIT	約5時間40分	約4時間50分
VU-V856KIT	約8時間35分	約7時間20分

実撮影時間の目安

バッテリーキット	ファインダー使用時	液晶画面使用時
VU-V840KIT	約2時間50分	約2時間25分
VU-V856KIT	約4時間15分	約3時間40分

連続撮影時間はズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。
実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際はこれよりも短くなることがあります。

バッテリーキットをお買い求めの際は、専用のDCコード VC-VBN856も合わせてお買い求めください。

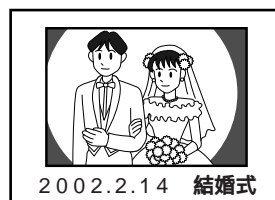
Q **子供が小さいので、頻繁に撮影しています。でも、ビデオテープがたくさんたまり、整理に困っています。何かよい整理方法はありますか？**

テープには内容を書いたラベルを貼る

撮影したテープには、例えば「2002.10.10美奈の運動会（ビクター小学校）」など、日付と内容などを書いたラベルを貼っておきましょう。

2002.10.10
美奈の運動会
（ビクター小学校）

画像をプリントして貼り付ける

1年、2年と経過すると、テープのラベルを見ただけでは、収録内容を思い出せなくなります。そこで、静止画をパソコンに取り込んでプリントしたり、ビデオプリンター（別売）で象徴的なシーンをシール紙にプリントし、ケースに貼り付けておくと、中身がわかりやすくなります。

⚠ 安全に使っていただくために

安全のために必ずお守りください

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。

●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

高温に注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

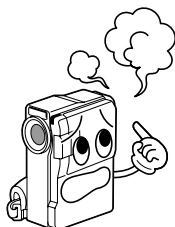
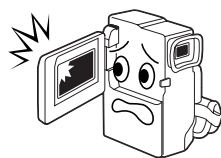
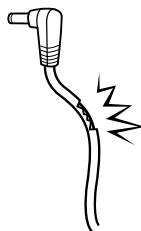
水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

こんなときはバッテリーをはずすか、電源プラグを抜いてください。

煙が出たり、へんな臭いがするとき	落としたり、壊れたとき
内部に水や異物が入った	AC アダプターのコードが傷んだとき

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

175 ～ 181 ページの「安全上のご注意」もお読みください。

ご使用の前に

大切な撮影の前に

- 本機はデジタルビデオカメラとデジタルスチルカメラの機能を搭載しています。
  （ Mini DV ）マークの付いたデジタルビデオテープをご使用ください。
  （MultiMediaCard）マーク、または（ SD ）マークのついたメモリーカード（マルチメディアカードまたは SD メモリーカード）をご使用ください。
- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、デジタルビデオカメラ、テープ等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機のマイクやカメラセンサー部分に手や指をかけないようにしてください。雑音が入ったり正しい明るさで撮影できなかったりすることがあります。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。）

アイコンの見方

操作上の注意などが書かれています。

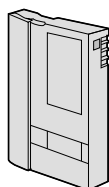
知っているとちょっと便利な内容が書かれています。

機能や操作の補足説明などが書かれています。

できない機能を説明しています。

準備

撮影する前に準備しましょう

ミニDVカセットテープを用意しましょう！（別売）

バッテリーを充電しておきましょう！

各部のなまえとはたらき

ビデオカメラ本体

カメラセンサー
撮影に必要なセンサーが入っています。指などでふさがないようにしてください。

USB端子
付属のUSBケーブルでパソコンに接続します。
使用するときは端子カバーを開きます。
(☞154ページ)

フラッシュ
静止画を撮るときに発光します。
(☞122ページ)

リモコン受光部
リモコンからの操作信号を受信します。ここにリモコンを向けて操作してください。
(☞48ページ)

撮影中ランプ
テープに撮影中、点灯します。
(☞66ページ)

S2入力／出力端子
S映像コードでS端子付きのビデオ機器に接続します。
使用するときは端子カバーを開きます。
(☞76、134、146ページ)

ヘッドホン端子
付属の中継コードを使って別売のヘッドホンを接続します。(☞39ページ)
音量調整つきのヘッドホンは使用できません。

ステレオマイク
音声がステレオで入力されます。また、アフレコ編集で音声を吹き込みます。
(☞138ページ)

DV入力/出力端子(i-LINK*)
DV端子付きのビデオ機器と接続します。
使用するときは端子カバーを開きます。
(☞136ページ)
*：i-LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。
i はi-LINKに準拠した商品につけられるロゴマークです。

バッテリー取り付け部
バッテリーを取り付けます。
(☞52ページ)

DC入力端子
ACアダプターのDCプラグを接続します。
使用するときは端子カバーを開きます。
(☞52、54ページ)

AV入力／出力端子
付属の映像／音声コードでテレビやビデオデッキに接続します。
使用するときは端子カバーを開きます。
(☞76、134、146ページ)

編集端子
・付属の編集コードでリモコンに接続します。
使用するときは端子カバーを開きます。
(☞146ページ)

中継コードの使いかた

別売のヘッドホンをお使いになるときは、付属の中継コードをヘッドホンに接続して、中継コードをビデオカメラのヘッドホン端子に接続してください。接続したときにおきるノイズをフェライトコアが軽減します。

端子カバーを開く
ヘッドホン
フェライトコア
ヘッドホン端子へ
中継コード

各部のなまえとはたらき

再生/一時停止／逆光補正ボタン
- テープを再生または再生一時停止（静止）します。
- メモリーカードの再生時、オートプレイを開始します。
- 撮影時の逆光補正に使用します。

（☞69、74、90ページ）

ファインダー

撮影中、再生中に引き出すと映像が映ります。
（☞63ページ）

早送り/ナイトアイボタン
- テープを早送りします。
- メモリーカードの再生時、次の静止画を再生します。
- ナイトアイモードで撮影するときに使用します。

（☞74、90、132ページ）

ビデオ／メモリースイッチ

本機をビデオカメラまたはデジタルスチルカメラのどちらで使用するかを選択します。

巻戻し/フォーカスボタン
- テープを巻き戻します。
- メモリーカードの再生時、前の静止画を再生します。
- ピント合わせに使用します。

（☞74、90、124ページ）

停止/サウンド/セレクトボタン
- テープを停止します。
- メモリーカードの再生時、オートプレイを停止します。
- 撮影中に効果音を挿入します。
- メモリーカード内の静止画、動画、効果音のどれを再生するかを選択するときに使用します。

（☞74、90、91、99ページ）

スピーカー

テープを再生すると音声が出ます。ただし映像／音声コードまたはヘッドホン接続時は音は出ません。
（☞74ページ）

カセットカバー

（☞55ページ）

グリップベルト取り付け部

グリップベルトを取り付けます。
（☞50ページ）

ズーム／音量ダイヤル
- 映像のズームを行います。
- テープの再生中にスピーカー音量を調節します。

（☞68、75ページ）

撮影ボタン
- ビデオ撮影の開始、一時停止をします。

（☞66ページ）

ロック解除ボタン

ボタンを押しながら、電源ダイヤルのモードを切り替えます。

電源ダイヤル

M **マニュアル撮影モード**
撮影方法を細かく設定できます。**（☞121、155ページ）**

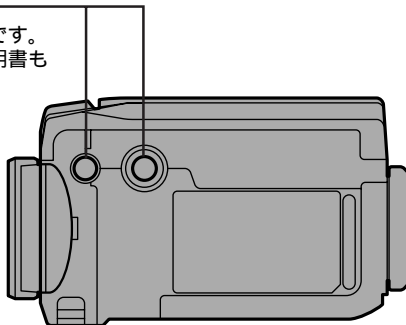
撮影 **フルオート撮影モード**
全自動で撮影ができます。
（☞66ページ）

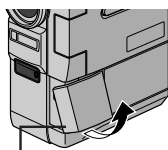
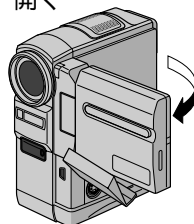
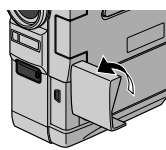
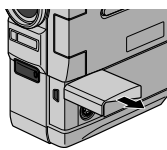
切 **電源が切れます。**

再生 **再生モード**
撮った映像を見るときに、切り替えます。
（☞74ページ）

三脚取り付けネジ穴

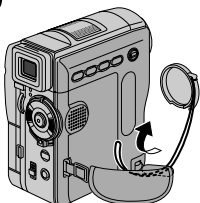
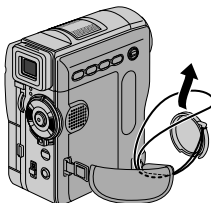
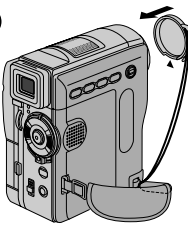
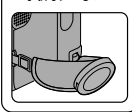
三脚に取り付けるための穴です。
ご使用になる三脚の取扱説明書もご覧ください。

準備

Ｓ２入力／出力端子およびＤＶ入力／出力端子用の端子カバーを開いた状態で液晶画面を開くときは

❶ 端子カバーを開く
❷ 端子カバーを引き出す
❸ 端子カバーを左に90度回転する
❹ 液晶画面を開く

切り欠き部にツメなどを引っかけて開いてください。

レンズキャップの取り付けかた
レンズ保護のために付属のレンズキャップを取り付けてください。

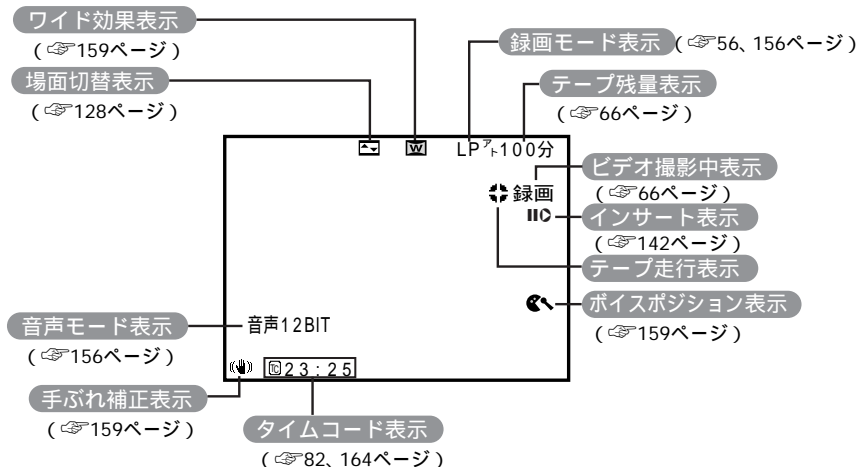
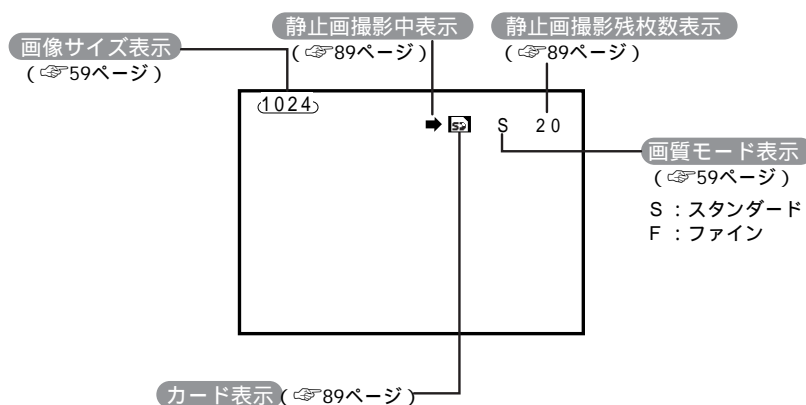
❶

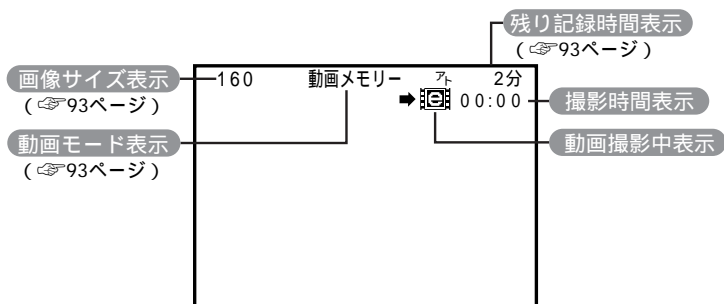
❷

❸

<撮影時は>

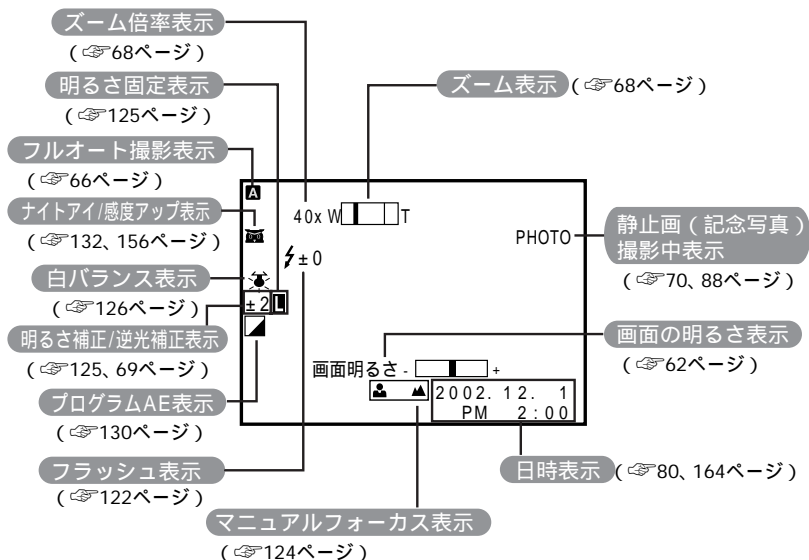
液晶画面とファインダー表示

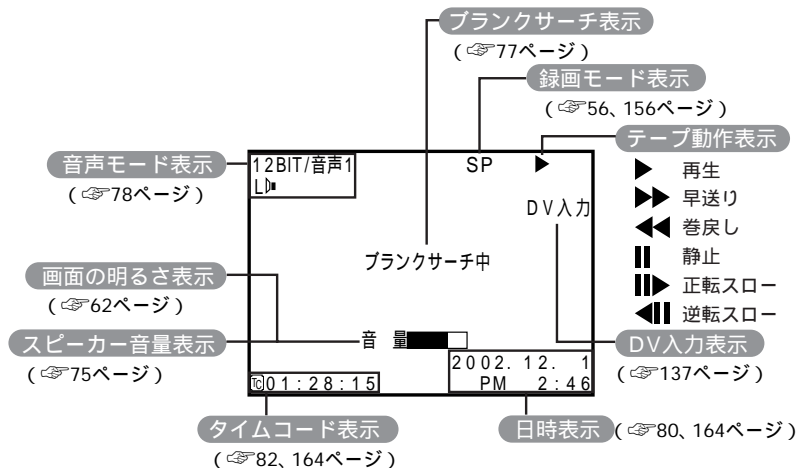
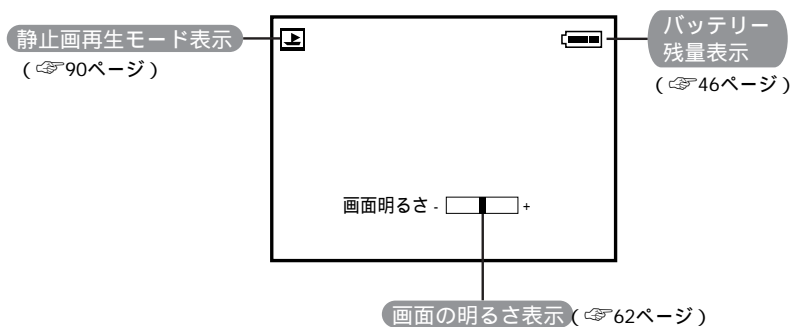
ー撮影時の表示ー

（テープに撮影するときの表示［ビデオ撮影表示]）

（メモリーカードに静止画を撮影するときの表示［静止画撮影表示]）

- カードが入っていないと点滅します。
  - ：SDメモリーカードを入れたとき
  - ：マルチメディアカードを入れたとき
- カード情報を読み込んでいるときは、黄色く点滅します。

（メモリーカードに動画を撮影するときの表示［動画撮影表示］）

（ビデオ／静止画／動画撮影時共通の表示）

※動画撮影時は表示されません。

準備

ー再生時の表示ー

（テープ再生画面）

（メモリーカードの静止画再生画面）

（メモリーカードの動画再生画面）

（メモリーカードの効果音再生画面）

準備

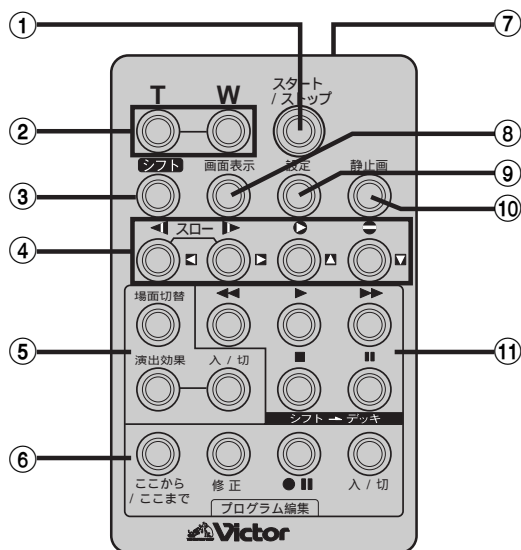
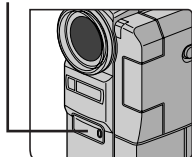
お知らせ表示

表示	表示内容	参照
[battery icon]	バッテリーの残量を表示します。 残量多い　残量なし [battery icons] → → → バッテリーが少なくなると [empty battery icon] が点滅します。 バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます。	☞67
[tape icon]	テープが入っていないときや、テープの誤消去防止用ツマミが「SAVE」側にあるときに表示されます	☞183
テープを入れて下さい！	テープが入っていないときに撮影ボタンや静止画ボタンを押すと表示されます。	—
テープおわり	録画や再生中に、テープが終わると表示されます。	—
レンズキャップ	レンズキャップがレンズについていると表示されます。	—
日時を設定して下さい	内蔵の時計用電池の容量がなくなり、日時情報が失われると表示されます。ビデオカメラにバッテリーやACアダプターなどの電源を24時間以上接続してください。時計用電池が充電されます。その後に日時を設定しなおしてください。	☞164 ☞165
テープがちがいます!	異なるフォーマットのテープを入れたときに表示されます。	—
テープへ記録できません テープのツマミを確認して下さい	誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープで録画しようとしたときに表示されます。	☞183
コピーガードがかかっています	コピーガードがかかった信号を本機でダビング（録画）しようとしたときに表示されます。	—
音声16BIT (12BIT)	電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせて電源が入ると、音声モードが約5秒間表示されます。	—
DV入力	DV入力状態で録画一時停止または録画中に表示されます。	☞137
メモリーカードを入れて下さい! （メモリーカードがありません）	メモリーカードが入っていないときに静止画ボタンを押したときや再生したときに表示されます。	—
メモリーがいっぱいです	メモリーカードのメモリー（容量）がいっぱいになったときに表示されます。	—
カードエラー	メモリーカードの認識を60秒以内にできなかったときに表示されます。メモリーカードを入れなおしてください。数回くり返しても表示が消えないときはメモリーカードのデータがこわれています。	—
静止画（動画／効果音）がありません	静止画、動画または効果音が記録されていないメモリーカードを再生したときに表示されます。	—

表示	表示内容	参照
メモリーカードへ記録できません	テープからメモリーカードへ静止画をコピーするとき、メモリーカードが入っていない、メモリーカードの容量がない、メモリーカードがフォーマットされていない、またはSDメモリカードのライトプロテクトがかかっているときに表示されます。	☞110
メモリーカードをフォーマットして下さい! （未フォーマット）	フォーマットされていないメモリーカードを入れたときに表示されます。	☞118
ライトプロテクトがかかっています	ライトプロテクトのかかったSDメモリカードで撮影しようとしたときに表示されます。	—
サポートされていません	本機で再生できない形式のファイルを再生したときに表示されます。	—
音声アフレコできません	テープの無記録部分でアフレコ編集しようとしたときに表示されます。	☞138
音声ｱﾌﾚｺできません <LPモードで記録されています> <16BITで記録されています> <テープのツマミを確認して下さい>	• LPモードで記録されたテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。LPモードで記録されたテープにはアフレコ編集できません。 • 16BIT音声で録音されたテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。16BIT音声で録音されたテープにはアフレコ編集できません。 • 誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。	☞138
インサート録画できません	テープの無記録部分でインサート編集しようとしたときに表示されます。	☞142
インサート録画できません <LPモードで記録されています> <テープのツマミを確認して下さい>	• LPモードで記録されたテープでインサート編集しようとしたときに表示されます。LPモードで記録されたテープにはインサート編集できません。 • 誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープでインサート編集しようとしたときに表示されます。	☞142
E01、E02、E06 セーフティーが働きました バッテリーを外して付け直して下さい	ビデオカメラに生じたトラブルを判断するための表示です。 バッテリーと電源をはずして付けなおしてください。 動作させて同じメッセージが表示されなければ問題ありません。 2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口（☞188）にご相談ください。	—
E03、E04　セーフティーが働きました テープを取り出し、入れ直して下さい	ビデオカメラに生じたトラブルを判断するための表示です。 テープを取り出して入れなおしてください。 動作させて同じメッセージが表示されなければ問題ありません。 2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口（☞188）にご相談ください。	—
ヘッドが汚れています クリーニングカセットをためして下さい	ヘッドが汚れているときに表示されます。 クリーニングカセットを再生して、ヘッドを清掃してください。	☞173
ツユが付きました しばらくお待ち下さい	つゆつきが発生したときに表示されます。 表示が消えるまで1時間以上お待ちください。	☞174

各部のなまえとはたらき

リモコン

付属のリモコンを使って、ビデオカメラをリモートコントロールすることができます。ビデオカメラのリモコン受光部に向けて使用します。

リモコンの操作方法

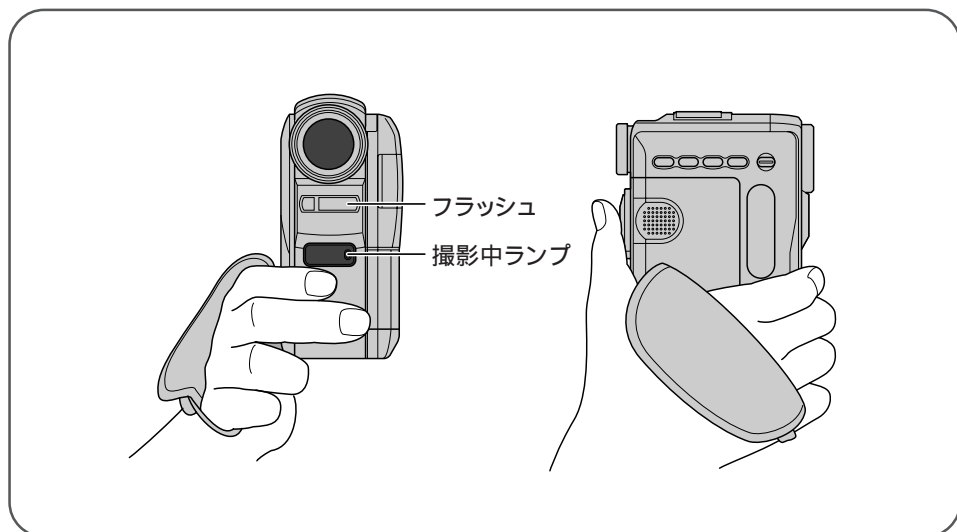
操作範囲は屋内で約 5m です。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。また、ビデオカメラのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たるとビデオカメラが誤動作したり、動作しないことがあります。

リモコン電池の入れかた

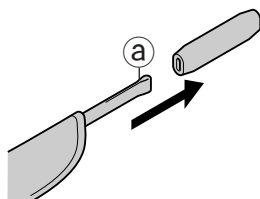
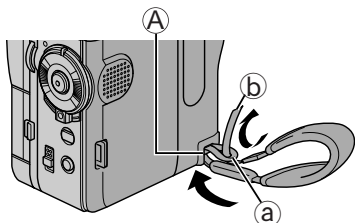
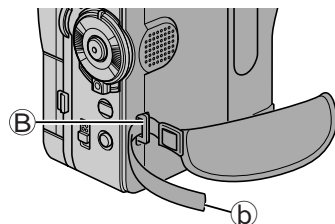
（リモコンの裏側）

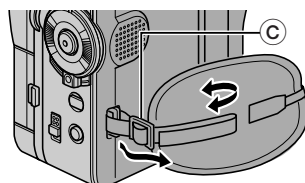
ボタン名			ボタンの機能	参照ページ
①		スタート/ストップボタン	撮影をスタートまたはストップする。	–
②	T	ズームボタン	映像が大きくなる。	68、84
	W	ズームボタン	大きくした映像が元に戻る。	
③		シフトボタン	拡大した再生映像を上下左右に動かす。	84、144
④	◀▮	スロー(逆転)ボタン/左ボタン	テープをスローで巻き戻し再生する。 再生ズームした映像を左に動かす。	75、84
	▮▶	スロー(正転)ボタン/右ボタン	テープをスローで再生する。 再生ズームした映像を右に動かす。	75、84
	▶	インサートボタン/上ボタン	インサート編集を行う。 再生ズームした映像を上に動かす。	84、142
	⊖	アフレコボタン/下ボタン	アフレコ編集を行う。 再生ズームした映像を下に動かす。	84、138
⑤		場面切替ボタン	自動編集中、場面切替効果を選択する。	146、147
		演出効果ボタン	再生中や自動編集中、演出効果を選択する。	85、147
		演出効果 入/切ボタン	再生映像に演出効果を加える。	85
⑥		ここから/ここまでボタン	自動編集の開始と終了を指定する。	146、147
		修正ボタン	自動編集を修正する。	149
	●❚❚	ビデオ準備ボタン	自動編集でビデオデッキを録画一時停止にする。	148
		入/切ボタン	自動編集表示画面を表示する。	146
⑦		リモートポーズ（入力） 端子	編集コードを接続する。	146
⑧		画面表示ボタン	テレビに出てくる日時表示を出したり、消したりする。	134、164
⑨		設定ボタン	編集に使用するビデオデッキのメーカーを設定する。	144
⑩		静止画ボタン	静止画を撮影する。	–
⑪	◀◀	巻戻しボタン	テープを巻き戻す。 前の静止画を再生する。	75、90
	▶	再生ボタン	テープを再生する。 オートプレイを開始する。	75、90
	▶▶	早送りボタン	テープを早送りする。 次の静止画を再生する。	75、90
	■	停止ボタン	テープを停止する。 オートプレイを停止する。	75、90
	❚❚	一時停止ボタン	テープを一時停止する。	75

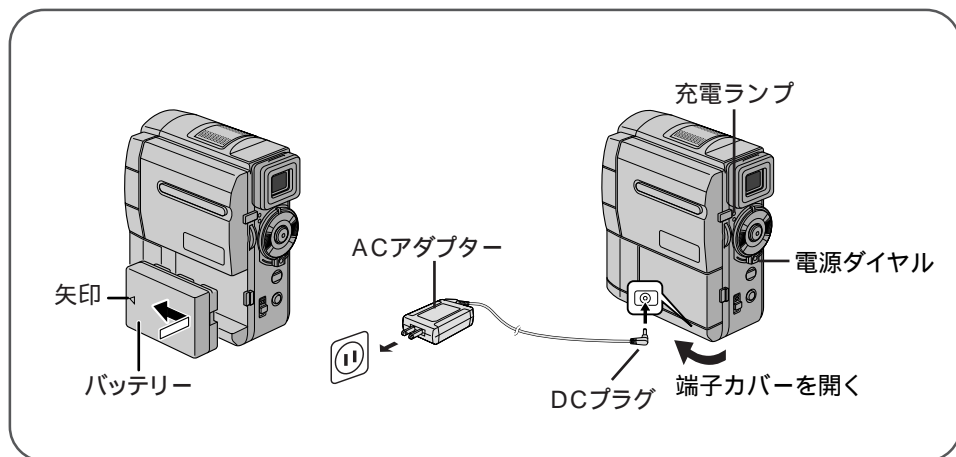
グリップベルトを取り付ける

撮影時などにビデオカメラを落とさないようにするため、付属のグリップベルトを取り付けます。

1 グリップベルトのストラップ ⓐ をスリーブに通す

ご注意

- 指で撮影中ランプとフラッシュをふさがないようにするためにスリーブを使用します。スリーブを使用しなくてもグリップベルトをビデオカメラに取り付けることができます。この場合、指で撮影中ランプとフラッシュをふさがないように注意してください。

2 ストラップⓐをグリップベルト取り付け部Ⓐに通し、グリップベルトのベルト ⓑ とパッドをストラップ ⓐ に通す

❸ ベルト ⓑ をグリップベルト取り付け部Ⓑに通す

❹ 長さ調節用の止め具 ⓒ にベルトを通し、パッドを開いて長さを調節してからパッドをはりつける

- 手を入れて撮影ボタンとズームダイヤルが操作しやすいように調整してください。

バッテリーを充電する

バッテリーをビデオカメラに取り付け、AC アダプターを使用して充電します。
バッテリーをビデオカメラに取り付けるときは、バッテリーのキャップをはずしてください。
また、ビデオカメラに取り付けられて出荷されているバッテリー端子カバー（☞6ページ）も取りはずしてください。取りはずしかたはバッテリーと同じです。（☞53 ページ）

1 バッテリーを取りつける

● バッテリーの矢印を左向きにしてビデオカメラに押しつけるようにしながら左にスライドさせます。

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「切」に合わせる

❸ AC アダプターの DC プラグをビデオカメラの DC 入力端子に差し込む

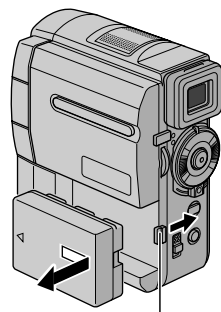
❹ AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電ランプが点滅します。
- 点滅から点灯に変わったら充電完了です。AC アダプターをはずしてください。

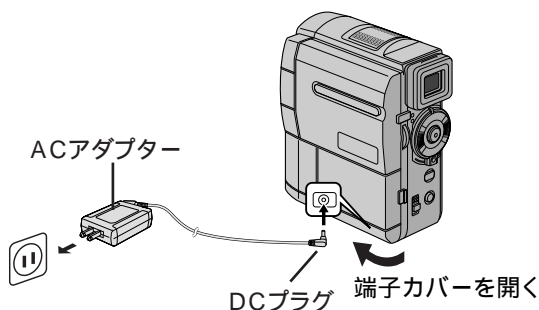
準備

バッテリーの取りはずし

バッテリー取外しスイッチをスライドさせたまま、バッテリーを取りはずす

●バッテリーを左から右へスライドさせて手前に引いて取りはずしてください。

- **充電時間の目安（室温 10℃～ 35℃）** ➡ バッテリー（BN-V306：付属）で約 1 時間 30 分
  バッテリー（BN-V312：別売）で約 2 時間 40 分
- **充電しても撮影時間が短い** ➡ 寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
- **充電できない** ➡ 電源が入っているときは、充電できません。
- **バッテリーについて** ➡ 184 ページもご覧ください。
- **バッテリー端子カバーについて** ➡ ビデオカメラのバッテリー端子を保護するためのカバーです。
  ビデオカメラを使用しないときはバッテリーを取りはずしてバッテリー端子カバーを取り付けてください。

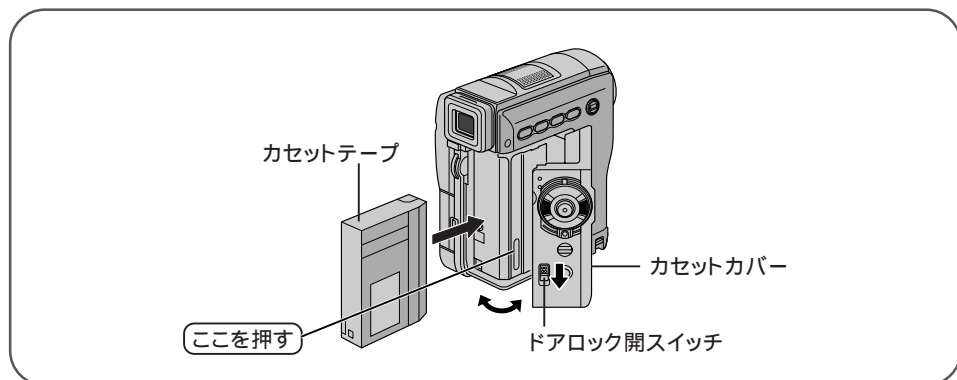
コンセントの電源でビデオカメラを動かす

室内で使うときは、ACアダプター（付属）を使ってコンセントから電源をとると便利です。変換プラグを使用するとと海外でもご利用できます。**（☞186 ページ）**

1 **DCプラグをビデオカメラのDC入力端子に差し込む**

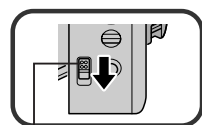
2 **電源プラグをコンセントに差し込む**

● AC アダプターが、温かくなることがあります。

カセットテープを入れる・取り出す

電源（バッテリーまたは AC アダプター）がつながれていれば、電源ダイヤルが「切」のままでもホルダーを開けることができます。

❶ ドアロック開スイッチを矢印方向にスライドさせて、カセットカバーを開く

● 自動的に、ホルダーが開きます。
● カセットカバーは最後まで確実に開いてください。

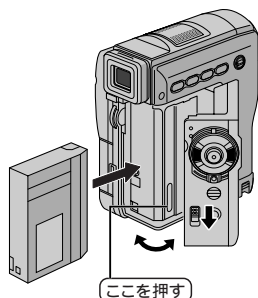
●内部の部品を直接手でさわらないでください。

❷ カセットテープをホルダーに入れ ここを押す を押す

● カセットテープは奥まで確実に入れてください。
● 自動的にテープが収納されます。

● ここを押す 以外は押さないでください。

❸ カセットカバーを「カチッ」と音がするまで閉める

● テープが収納されない場合は、カセットカバーを一度完全に開いて、カセットを取り出し、少し待ってからカセットを入れ直してください。

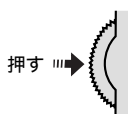
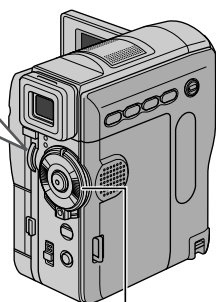
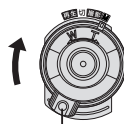
●ホルダーに指をはさまないようにご注意ください。
●テープがからまるなど、一度トラブルのあったテープをご使用になると、ビデオカメラの故障の原因となりますので、使用しないでください。

カセットテープを取り出す

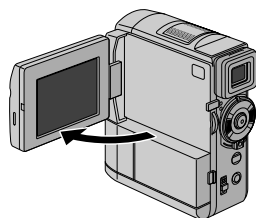
上の手順 ❶ のあとでカセットテープを引き出して取り出す

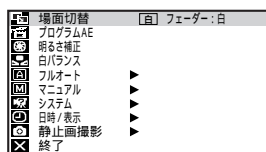
テープへ記録する録画モードを選ぶ

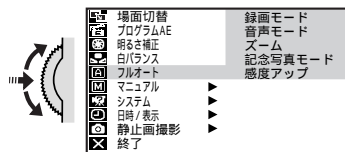
録画モードとは

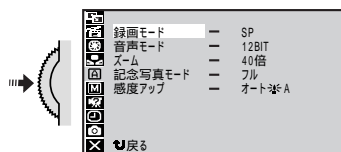
● SP モード：標準、LP モード：1.5 倍

SP モードと LP モードの 2 種類の録画モードがあります。LP モードでは SP モードに比べ 1.5 倍長く撮影することができます。ただし LP モードにするとアフレコ編集（☞138 ページ）とインサート編集（☞142 ページ）ができなくなります。

1 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせる

2 液晶画面を開く

● 電源ランプが点灯し電源が入ります。

3 メニューダイヤルを押す

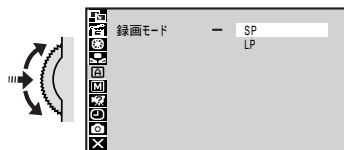
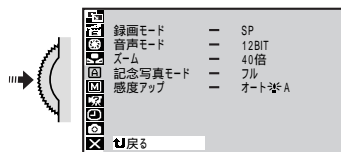
● メニュー画面が表示されます。

❹ メニューダイヤルを回して「Aフルオート」を選び、ダイヤルを押す

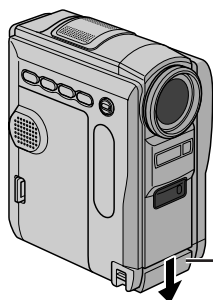
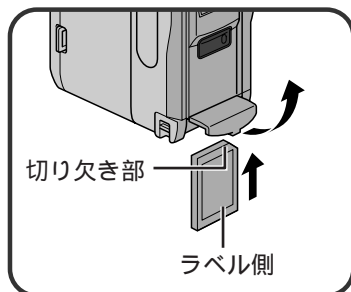
●「録画モード」が選択されます。

❺ メニューダイヤルを押す

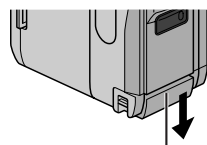
●「SP」と「LP」が表示されます。

❻ メニューダイヤルを回して「SP」または「LP」を選び、ダイヤルを押す

❼ メニューダイヤルを 2 回押す

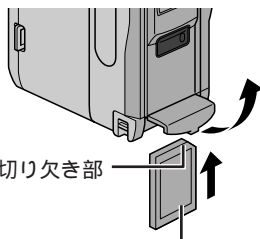
● 撮影画面に戻ります。

準備

メモリーカードを入れる・取り出す

本機をデジタルスチルカメラとして使用するときは、メモリーカードを使用します。

1 メモリーカードカバーを開く

● メモリーカードカバーをスライドさせて開きます。

2 メモリーカードを入れる

● 奥までしっかり入れてください。

- **必ず電源を切ってから入れてください。**
- **電極に手を触れないでください。**

3 メモリーカードカバーを閉める

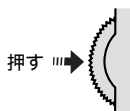
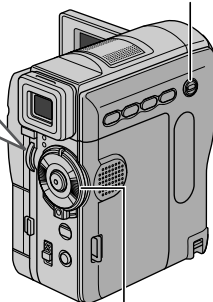
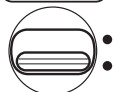
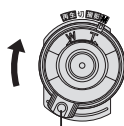
● メモリーカードが正しく入っていても、本機がカードを認識するまでに多少時間がかかることがあります。

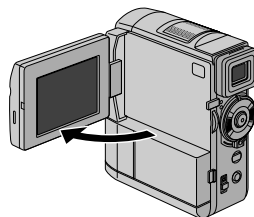
メモリーカードを取り出す

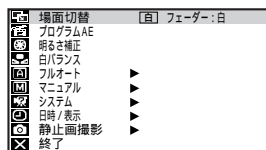
上の手順 1 のあとでメモリーカードを押すと出てきます

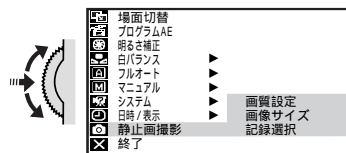
- **メモリカードはマルチメディアカード（MultiMediaCard）、またはSDメモリーカード（SD Memory Card）をご使用ください。**
- **新たに購入したメモリーカードを使用するときは、本機で初期化してください。**（☞118 ページ）

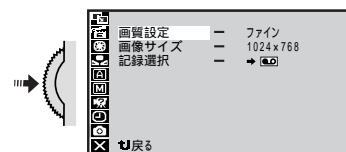
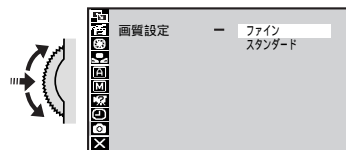
メモリーカードへ記録する画質／サイズを選ぶ

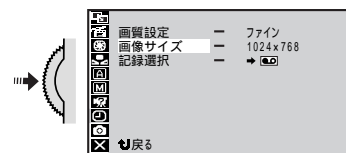
メモリーカードに記録する静止画の使用目的に応じて画質と画像サイズを選ぶことができます。画質は良い順にファイン、スタンダードの 2 種類があります。
画像サイズは大きい順に 1280 × 960 ドット、1024 × 768 ドット、640 × 480 ドットの 3 種類があります。

1 ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせる

3 液晶画面を開く

● 電源ランプが点灯し電源が入ります。

4 メニューダイヤルを押す

● メニュー画面が表示されます。

5 メニューダイヤルを回して「静止画撮影」を選び、ダイヤルを押す

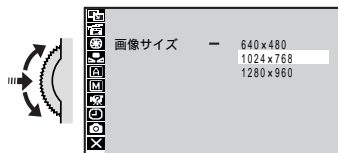
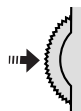
●「画質設定」が選択されます。

6 メニューダイヤルを押す

●「スタンダード」と「ファイン」が表示されます。

7 メニューダイヤルを回して「スタンダード」または「ファイン」を選び、ダイヤルを押す

8 メニューダイヤルを回して「画像サイズ」を選び、ダイヤルを押す

●「640×480」、「1024×768」、「1280×960」が表示されます。

❾ メニューダイヤルを回して「640 × 480」、「1024 × 768」または「1280×960」を選び、ダイヤルを押す

❿ メニューダイヤルを 2 回押す

● 撮影画面に戻ります。

準備

撮影可能枚数の目安

画像サイズ	画　質	マルチメディアカード			SDメモリーカード				
		8MB(別売)	16MB(別売)	32MB(市販)	8MB※(付属)	8MB(市販)	16MB(市販)	32MB(市販)	64MB(市販)
1280 x 960	ファイン	約16枚	約32枚	約64枚	約11枚	約12枚	約28枚	約62枚	約120枚
	スタンダード	約50枚	約100枚	約200枚	約37枚	約44枚	約98枚	約205枚	約405枚
1024×768	ファイン	約25枚	約50枚	約100枚	約17枚	約20枚	約46枚	約98枚	約190枚
	スタンダード	約80枚	約160枚	約320枚	約55枚	約66枚	約145枚	約310枚	約605枚
640×480	ファイン	約50枚	約105枚	約210枚	約39枚	約46枚	約98枚	約205枚	約405枚
	スタンダード	約160枚	約320枚	約640枚	約134枚	約150枚	約295枚	約625枚	約1215枚

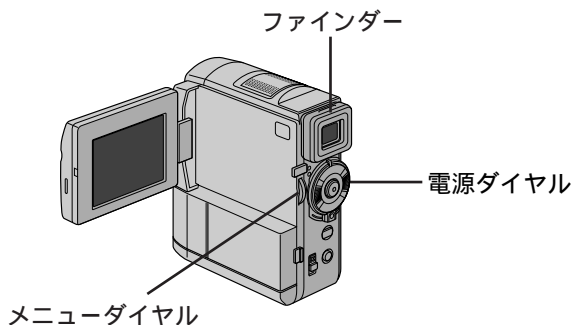
※付属のメモリーカードには、出荷時に効果音ファイルが記録されています。(☞96 ページ)
このため、撮影可能枚数は若干少なくなります。

- 使用するメモリーカードや撮影する被写体の画像内容などによって撮影可能枚数は変化します。
- 撮影画面では、ファインモードは「F」、スタンダードモードは「S」と表示されます。
- 1280 × 960 モードでは、撮影した画像をデータ変換して保存しています。

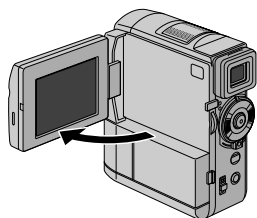
- **メモリカードはマルチメディアカード(MultiMediaCard)、またはSDメモリーカード(SD Memory Card)をご使用ください。**

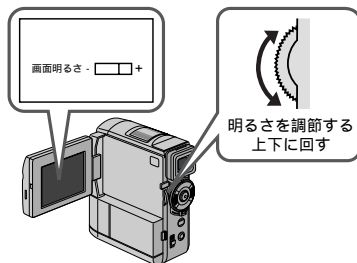
画面の明るさを調節する

液晶画面やファインダーの明るさを調節してから、撮影や再生を行います。

操作はココ！

1 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる

2 液晶画面を開く

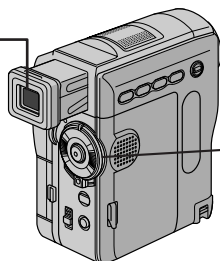
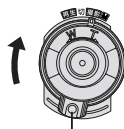
- 電源ランプが点灯し電源が入ります。

3 メニューダイヤルを回す

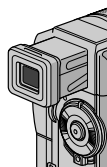
- 画面の明るさを調節します。

ファインダーの明るさ調節

ファインダーを引き出して手順 3 を行う

ファインダーを調節する

●視力とファインダー表示が合わないとき

ファインダー内の表示が見やすくなるように調節します。

1 **ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる**

2 **ファインダーを引き出す**

● 電源ランプが点灯し電源が入ります。

3 **ファインダーをのぞいてレバーを動かす**

● ファインダー内の表示が良く見えるように調節します。

準備

知って得する ビデオ撮影のコツ

楽しいビデオアルバムを作りましょう

ポイント 1

楽しいビデオアルバムを作るには、撮影前にシナリオを考えておきます。

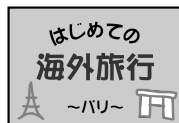
ポイント 2

ズームイン・アウトをうまく使ってメリハリを。

ポイント 3

人物だけではなく、周囲の様子も撮影して、雰囲気を残しましょう。

海外旅行編

1 タイトルを作る

これから撮影するビデオのタイトルをつくり、５秒程度撮影します。

2 旅行前の様子

旅行用ビデオのシナリオを考えます。旅行のポイントを押さえておきます。

3 出国／入国

出国・入国の際には、ビデオカメラの日時を現地時間に設定しましょう。

4 名所

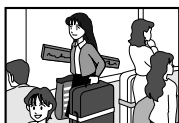
名所の前で記念写真を撮影。ズームインして、迫力をもたせます。

5 ディナーも記念に

旅行先での豪華な食事。接写してもきれいに撮影できます。

6 買い物風景

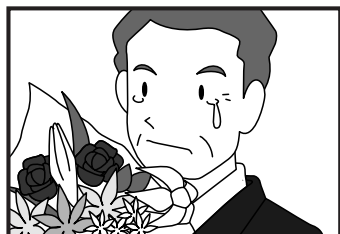
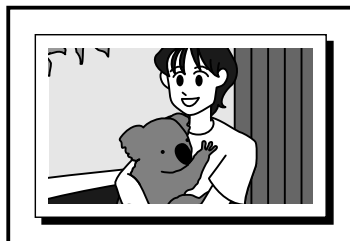
ストリートショップでおみやげを購入。撮影禁止場所に注意しましょう。

7 帰国

帰国した様子を最後とし、シナリオを締めくくりましょう。

・「海外でお使いになるときは」（186 ページ）もお読みください。

撮影

撮りたいものを撮ってみよう！

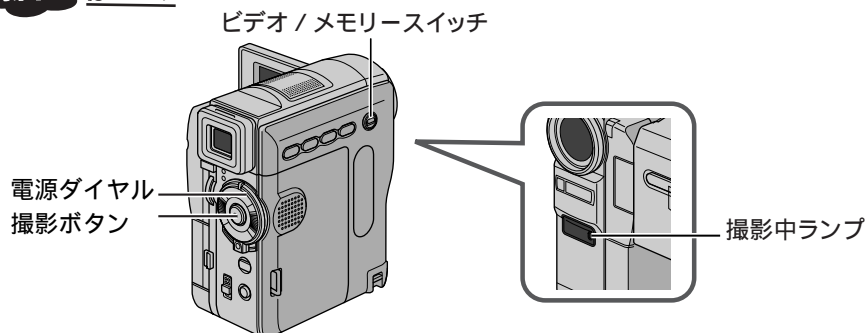
ズーム撮影で、迫力ある映像を撮ろう！

記念写真モードで撮って被写体に変化をつけてみよう！

逆光でも、暗くならないので場所を気にしないで撮ろう！

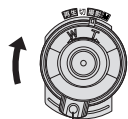
暗い

明るい

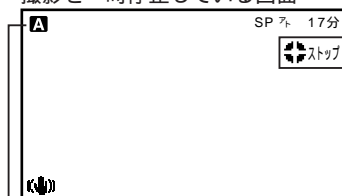
録画モード設定は☞56ページ、日時表示設定は☞165ページ

テープに撮影する

ピントや露出合わせも自動（フルオートモード）で、簡単に撮影できます。

1 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」に合わせる

3 液晶画面を開く

- 電源ランプが点灯し電源が入ります。
- 撮りたい被写体に合わせます。

撮影を一時停止している画面

電源ダイヤルが「撮影」のときのみ表示されます。

4 撮影ボタンを押す

- 録画が始まります。
- 撮影中ランプが点灯します。
- 再度押すと録画一時停止になり、ストップ表示がでます。

撮影中の画面

A　SP ｱﾄ 18分　録画

連続撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V306（付属）	約55分	約45分
BN-V312（別売）	約2時間	約1時間40分
VU-V840KIT*（別売）	約5時間40分	約4時間50分
VU-V856KIT*（別売）	約8時間35分	約7時間20分

＊ VU-V840KITおよびVU-V856KITは、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、DCコードでバッテリーポーチと本体を接続して使用します。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。

実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V306（付属）	約25分	約20分
BN-V312（別売）	約1時間	約50分
VU-V840KIT*（別売）	約2時間50分	約2時間25分
VU-V856KIT*（別売）	約4時間15分	約3時間40分

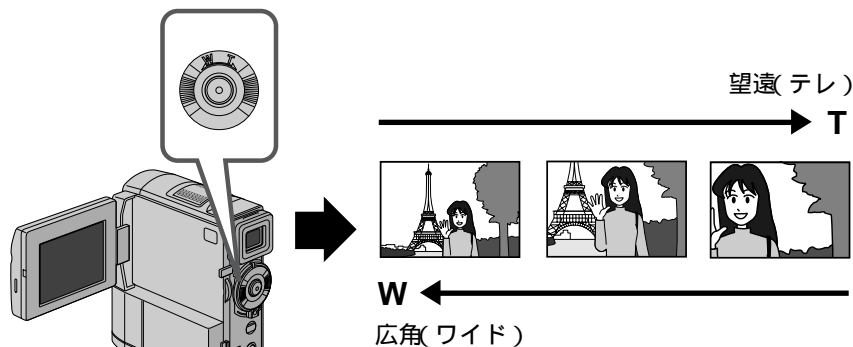
撮影

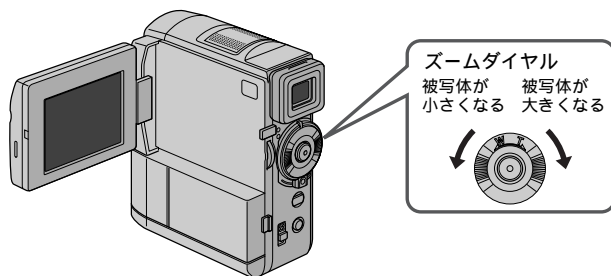
連続撮影時間は、ズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約3倍分をご用意されることをおすすめします。
実撮影時間は撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際にはこれよりも短くなることがあります。

- **5分以上撮影を一時停止したときは**
  ビデオカメラの節電とテープ保護のため、自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、液晶画面を一度閉じて再び開いてください。または、ファインダーを一度入れ、再び引き出してください。
- **液晶画面が見づらいときは**
  光の反射などで液晶画面が見づらいときは、液晶画面を閉じてファインダーをのぞいて撮影することをおすすめします。液晶画面とファインダーは同時に使用できません。
- **テープの残量を確認するには**
  撮影中は、自動的にテープの残量が表示されます。テープ残量は目安としてお使いください。使用するテープによっては正しく表示されないことがあります。また、80分テープの巻き始めでは、正しい残量表示をするまでに時間がかかったりすることがあります。テープの残量が残り2分となると表示が点滅し、テープが終わると「テープおわり」と表示されます。
- **バッテリー残量表示（ ）が点滅したら**
  バッテリーの残量が少なくなっています。バッテリーの残量がなくなると自動的に電源が切れます。電源が切れる前にバッテリーを交換してください。
- **正常に録画できない**
  ビデオヘッドが汚れているかもしれません（☞173ページ）。大切な撮影の前には試し撮りをして、正常に録画、録音されていることをご確認してください。

ズームして撮影する

●被写体が遠いところにいるときや、画面に変化をつけたいとき

被写体をズームして撮影することができます。

1 ズームダイヤルを回す

● 少し回すとゆっくりズームし、いっぱいまで回すと早くズームします。

●最大ズーム倍率 ➡ 何倍までズームを可能にするか変更できます。（☞156 ページ）

●接写したいとき（マクロ撮影） ➡ W 側にいっぱいまで回すとレンズから約 5cm まで被写体に近づいて撮影可能
T 側のときは、約 1m、（テレマクロ“入”のときは約 60cm）（ピントが合わない距離では、▲▲、▲、▼、👤 が点滅して自動的にズームが W 側になります。）

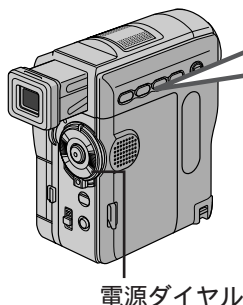
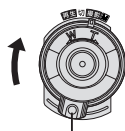
●10 倍以上のズーム（デジタルズーム） ➡ 10 倍までの映像に比べて多少映像品質が劣化します。（デジタル処理をするため）

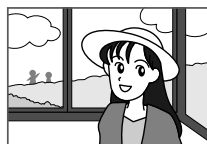
できません

●10 倍以上のズームが使用できない ➡ ・映像をデジタル処理する機能との併用はできません。
・ビデオ／メモリースイッチが「メモリー」のときは使用できません。

逆光を補正する

●太陽などで背景が明るすぎて被写体が暗くなるとき

逆光補正ボタンで被写体が暗くならないように補正します。

❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる

❷ 逆光補正ボタンを押す

- 画面に逆光補正マークが表示されます。
- 再度押すと、逆光補正を解除します。

●逆光補正ボタンを使うと
被写体の周囲が明るくなりすぎて白くなることがあります。

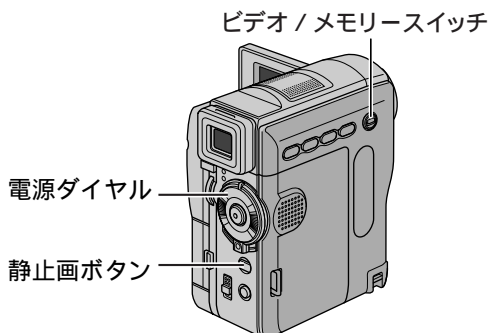
●より適切な明るさに調節するときは
手動で明るさ補正してください。
（☞125 ページ）

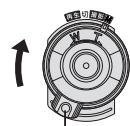
●手動で明るさ補正しているときは、逆光補正ボタンは、使えません。

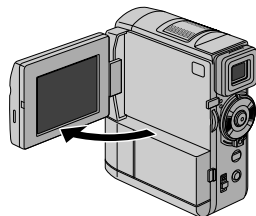
撮影

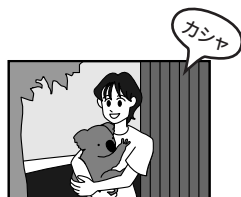
テープに静止画（記念写真）を撮る

●被写体の表情などをワンポイントで記録したいとき

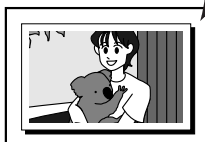
ビデオテープの中に写真のような静止画映像を挿入することができます。

1 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる

3 液晶画面を開く

● 電源ランプが点灯して電源が入ります。

静止画ボタンを押す

- 静止画像が約 6 秒間記録されます。
- 押し続けると静止画像が約 1 秒ごとに連写されます。
- 画面に「⚡」が表示されているときは、フラッシュが発光します。（☞122 ページ）

静止画ボタン

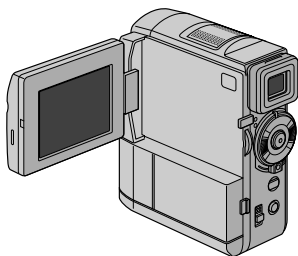
記念写真（静止画）モードについて

記念写真モードには、3 つのモードがあります。これらのモードはメニュー画面で選択することができます。（☞156 ページ）

- **撮影中に記念写真を撮影したときは**
  静止画像が約 6 秒間記録され通常の撮影に戻ります。
- **記念写真撮影ができないときは**
  静止画ボタンを押したとき画面に「PHOTO」が点滅してお知らせします。
- **AV 端子またはヘッドホン端子にコードが接続されているときは**
  「カシャ」音は出ません。ただし、テープには記録されます。
- **「静止画撮影」メニューの「記録選択」が「➡ 📼／➡ Ⓜ」のときは**
  テープだけでなくメモリーカードにも静止画が記録されます。テープが入っていないときは、メモリーカードにのみ記録されます。また、連写はできません。
  （☞166 ページ）

- 演出効果を設定していても記念写真撮影時に働かないものがあります。
  このようなときは、演出効果アイコンが点滅してお知らせします。
- **再生中も記念写真モードを使えます**
  「ビデオ再生モード」メニューの「📼 ➡ Ⓜ コピー」を「切」にしてご使用ください。（☞193 ページ）
  「カシャ」音は出ません。

再生

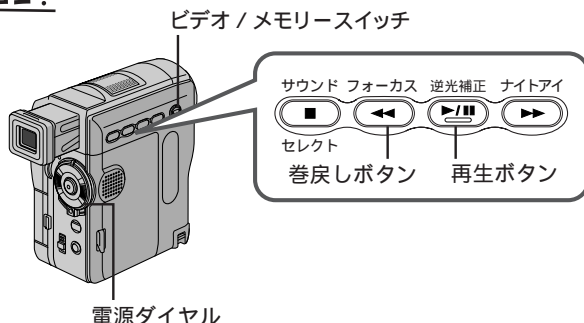
撮った映像を見てみよう！

撮ったその場で すぐ映像をチェック！

テレビやビデオデッキにつないで 家族や友達と見よう！

ズームして再生すれば 迫力満点の映像に！

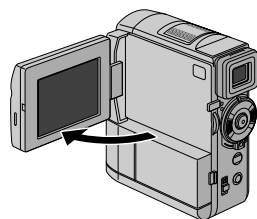
ビデオカメラの画面で見る

●撮ったその場で映像を確認したいとき

ビデオカメラの液晶画面で再生映像を見ることができます。

1 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

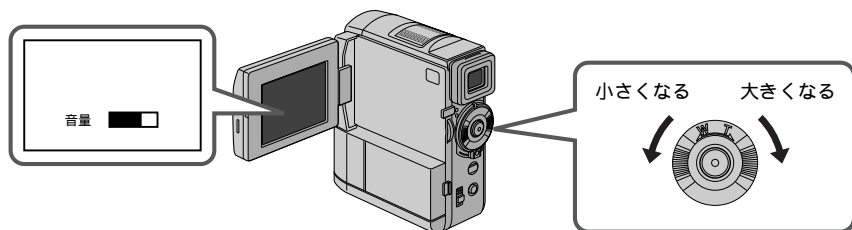
● 電源ランプが点灯し、電源が入ります。

3 液晶画面を開く

4 巻戻しボタン（◀◀）を押してテープを巻戻す

5 再生ボタン（▶/II）を押す

● 画面に再生映像が映り、音声がスピーカーから出ます。ただし､映像／音声コードまたはヘッドホンコード接続時は音声が出ません。

● 再生をやめたいときは、停止ボタン（■）を押します。

音量調節するには

色々な再生

こうして見たい	このボタンを押す		ふつうの再生に戻す
・画面を見ながら早送りして探し見したい（早送り再生）9倍速	再生中に ▶▶	1度ポンと押す	▶/❚❚ 再生ボタンを押す
		押し続ける	指を離す
・画面を見ながら巻戻しして探し見したい（巻戻し再生）9倍速	再生中に ◀◀	1度ポンと押す	▶/❚❚ 再生ボタンを押す
		押し続ける	指を離す
・画面を一時停止させて見たい（静止画再生）	再生中に ▶/❚❚		▶/❚❚ 再生ボタンを押す
・スローで再生したい（スロー再生）	通常再生または静止画再生中に（リモコンで操作） ◀❚ スロー ❚▶ どちらか一方を2秒以上押す		▶/❚❚ ▶ ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す 正転スロー再生を約2分、または逆転スロー再生を約1分続けると自動的に通常再生に戻ります。
・コマ送りで再生したい（コマ送り再生）	通常再生または静止画再生中に（リモコンで操作） ◀❚ スロー ❚▶ どちらか一方を押すたびにコマ送りします または静止画再生中にメニューダイヤルを回します。（＋側:正転、－側:逆転）		▶/❚❚ ▶ ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す

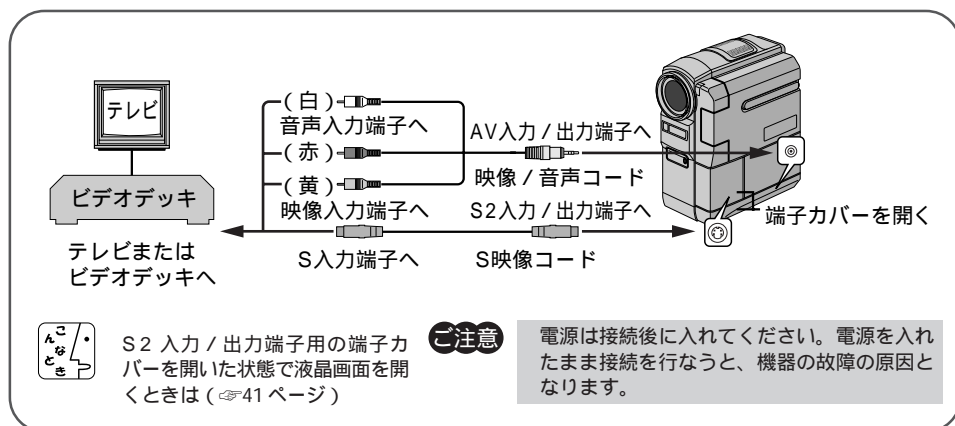
- 静止画再生（再生一時停止）を約３分以上続けると自動的に停止します。
- 高速再生、スロー再生中は多少モザイクのかかったような映像になります。また、音声は出ません。
- スローボタンを押すと数秒間静止画になり、その後青い静止画（ブルーバック）が数秒間表示されるときがあります。故障ではありません。
- 停止状態を５分以上続けると電源が自動的に切れます。ただし、電源ダイヤルが「再生」で、ACアダプターからの電源供給時は、電源が切れません。
- 静止画にするために ▶/❚❚（またはリモコンの ▶）を押しても映像が静止するまでに多少時間がかかることがあります。
- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください。（☞173ページ）

テレビまたはビデオデッキにつないで見る

みんな揃ってビデオを楽しみたいときなど、ビデオカメラをご家庭のテレビやビデオデッキにつないで再生することができます。S映像端子付きのテレビまたはビデオデッキと本機をS映像コードを使ってつなぐと、より高画質の映像をお楽しみいただけます。

●S2入力／出力端子用の端子カバーを開いた状態で液晶画面を開くときは（☞41ページ）

ご注意

●電源は接続後に入れてください。電源を入れたまま接続を行なうと、機器の故障の原因となります。

1 ビデオカメラをテレビまたはビデオデッキに接続する

2 テレビ、またはビデオデッキの電源を入れる

3 テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを設定する

● ビデオカメラをテレビに接続したとき
テレビの入力モードをビデオカメラを接続した端子に切り替えます。
（例えば「ビデオ 1、ビデオ 2、ムービー」など）。

● ビデオカメラをビデオデッキに接続したとき
テレビをビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に切り替えます。

4 再生する（☞74 ページ）

●ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書を参照してください。

●テレビから「ピー」「ウワーン」というノイズ音が出るときは、テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。

●再生時のメッセージ表示を消すには
（☞80、82、164ページ）

●テレビに映像／音声が出ないときは
ビデオ再生モードメニューで「アナログ入力」を「切」にしてください。
（☞193ページ）

テープの録画されていない部分を探す（ブランクサーチ）

●テープの途中から撮影したいとき

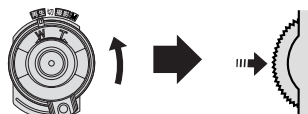
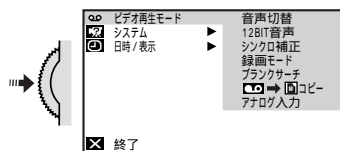
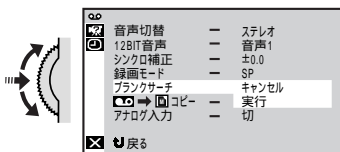
ビデオテープの中にある5秒間以上録画されていない部分を探します。途中まで記録したビデオテープを取り出したり、再生したあとなどに撮影開始点を効率よく見つけることができます。

1 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

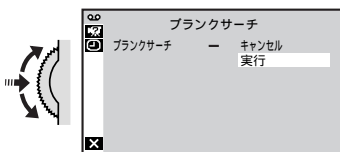
2 電源ダイヤルを「 再生 」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニュー画面が表示されます。

3 メニューダイヤルを押す

ビデオ再生モード
システム ▶
日時／表示 ▶
音声切替
12BIT音声
シンクロ補正
録画モード
ブランクサーチ
→ コピー
アナログ入力
終了

4 メニューダイヤルで「ブランクサーチ」を選び、ダイヤルを押す

5 メニューダイヤルで「実行」を選び、ダイヤルを押す

● ブランクサーチがスタートします。
5秒間以上の録画されていない部分を見つけると、約3秒手前で自動的に停止します。

● ブランクサーチを中止するには、停止ボタン（■）を押します。

● すでに映像が記録されている部分でも、5秒間以上の録画されていない部分があると停止します。停止した位置以降に記録されている部分がないか、録画を開始する前によく確認してください。

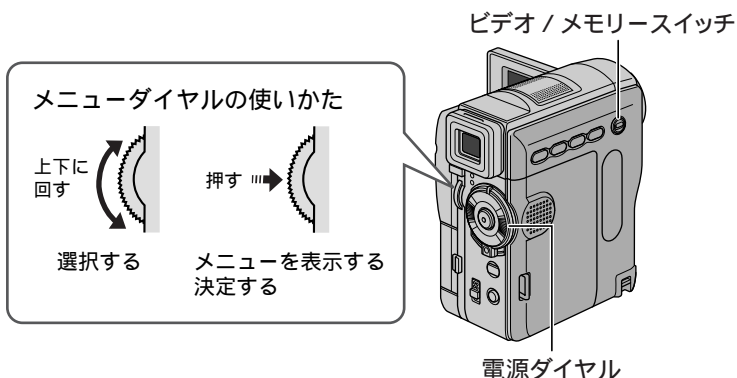
● 録画されていない部分から約3秒手前まで巻き戻して停止しますので、そこから録画をスタートすると、約3秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、スタート位置を確認してください。

● ブランクサーチを映像の記録された部分からスタートすると早送り方向に、録画されていない部分からスタートすると巻き戻し方向にブランクサーチを行います。

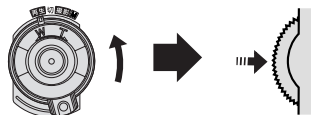
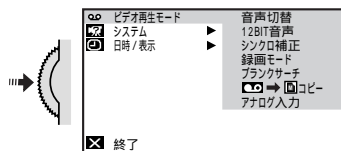
再生

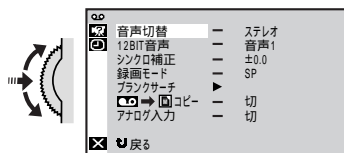
再生音声を切り替える

- テープを再生するとき、ステレオ音声または左右どちらかの音声のみで再生するか設定するとき（音声切替）
- アフレコ編集したテープを再生するとき、撮影時の音声を再生するか、アフレコ音声を再生するか設定するとき（12BIT 音声）

アフレコ編集（☞138ページ）したテープでは、撮影時の音声とアフレコ時に録音した音声（アフレコ音声）のどちらを再生するか選択できます。また、ビデオカメラは常にステレオ音声で録音しますが、片方のスピーカの音声のみを再生することもできます。

1 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

2 電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

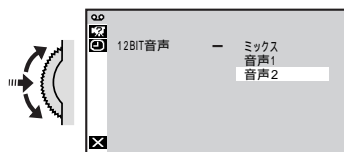
- メニュー画面が表示されます。

3 メニューダイヤルを押す

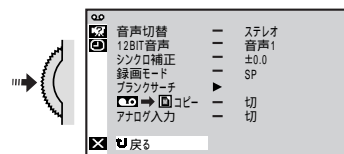
❹ メニューダイヤルで「音声切替」、または「12BIT 音声」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルでお好みのモードを選び、ダイヤルを押す

- 「音声切替」のモードについて

ステレオ	：	ステレオ音声で聞きたいとき
音声 L	：	左の音声のみ聞きたいとき
音声 R	：	右の音声のみ聞きたいとき

- 「12BIT 音声」のモードについて

ミックス	：	撮影時の音声とアフレコ音声を同時に聞きたいとき
音声 1	：	撮影時の音声を聞きたいとき
音声 2	：	アフレコ音声を聞きたいとき

❻ メニューダイヤルを２回押す

- メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

- **再生中の音声モード（12BIT/16BIT）を確認するには**
  ビデオカメラは、ビデオの音声モードを自動判別して再生します。ビデオを再生すると、画面の左上端に再生中の音声モードが表示されます（早送り / 巻戻し再生中は自動判別できません）。

- **12BIT/16BIT 音声について**
  従来のビクター製ビデオカメラでは、12BIT 音声を 32kHz 音声、16BIT 音声を 48kHz 音声と表現しています。

再生

日時表示を切り替える

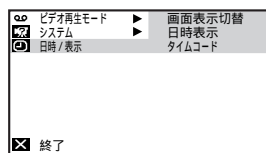
●日時表示を出したり、消したりしたいとき

テープに撮影すると、撮影した日時が自動的にテープに記録されます。テープを再生するときに日時表示を出したり消したりすることができます。

❶ **ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる**

❷ **電源ダイヤルを「 再生 」に合わせ、メニューダイヤルを押す**

● メニュー画面が表示されます。

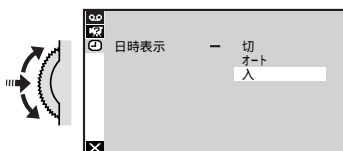
❸ **メニューダイヤルで「 日時／表示」を選び、ダイヤルを押す**

❹ メニューダイヤルで「日時表示」を選び、ダイヤルを押す

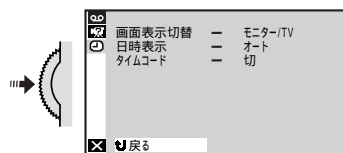
❺ メニューダイヤルで「お好みのモード」を選び、ダイヤルを押す

- 「日時表示」のモードについて

  切　　：日時表示を出したくないとき

  オート：日時表示を再生開始から 5 秒間のみ出したいとき
  （撮影された日時が表示されます。）

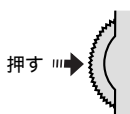
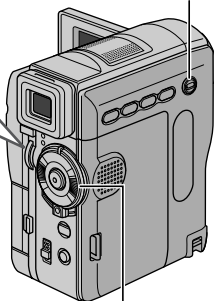
  入　　：常に日時表示を出したいとき

❻ メニューダイヤルを２回押す

- メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

- 日時表示メニューは、電源ダイヤルが「M」のときも表示することができます。
  （☞164 ページ）
- 「オート」に設定すると電源ダイヤルを「撮影」または「M」にしたときも 5 秒間のみ日時表示が出ます。

再生

タイムコード表示を設定する

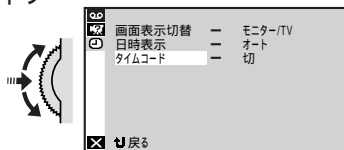
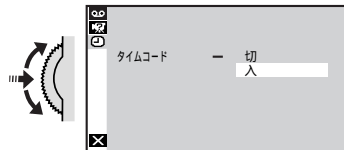
●テープの位置を確かめたいとき

テープに撮影すると、タイムコード（ビデオ撮影開始からの「分:秒:フレーム」）が自動的にテープに記録されます。ビデオの再生、編集、撮影の際にタイムコードを表示すると、テープの位置を確かめる目安となります。

例)「タイムコード」を「入」に設定する

1 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

2 電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

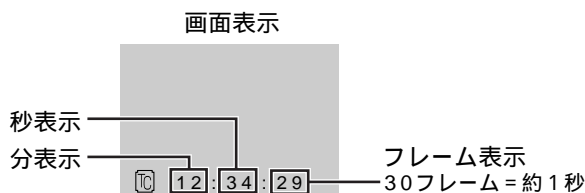
3 メニューダイヤルで「日時／表示」を選び、ダイヤルを押す

4 メニューダイヤルで「タイムコード」を選び、ダイヤルを押す

5 メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

6 メニューダイヤルを２回押す

- メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

日時表示メニューは
電源ダイヤルが「M」のときも表示することができます。（☞164 ページ）

タイムコードとは

撮影中、ビデオカメラはテープの１コマ１コマに「タイムコード」と呼ばれる数字を記録していきます。「タイムコード」はビデオの撮影、再生や編集の際に、映像の位置を確かめる目安になります。自動編集（☞144 ページ）などはタイムコードを利用して行います。

- 早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ビデオカメラがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。
- 撮影中は、分と秒のみ表示されます。

テープの途中に無記録部分があると誤動作の原因となります

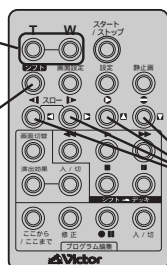
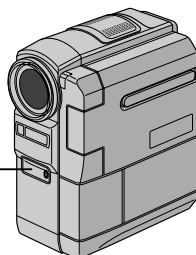
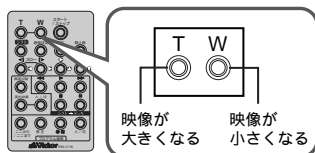
テープに何も記録されていない部分を無記録部分と言います。同じテープの中の何も記録されていない部分から撮影を開始すると、タイムコードは「00:00:00」（分:秒:フレーム）から新たにタイムコードを記録していきます。１本のテープの中に複数の同一タイムコードが記録されるため、自動編集などの誤動作の原因になります。

次のような場合は一度再生して、場面の終わりを確かめてから撮影してください。

- 撮影後に確認のため再生してみたテープで引き続き撮影するとき
- 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき
- 使い切っていないテープをビデオカメラから出し入れして撮影するとき
- 途中まで撮影したテープを使って撮影するとき
- テープの途中にある無記録部分に撮影したいとき
- 撮影後にテープのテープカバーを開閉した後で撮影するとき

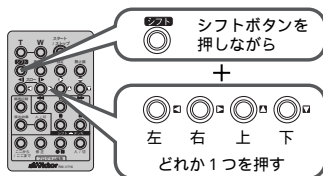
ズームして再生する

●再生中に画面をズームしたいとき

付属のリモコン（☞48ページ）を使うと、ビデオカメラでテープを再生しているときに、画面をズームすることができます。また、ズームした映像の中のお好きな場所に画面を移動させることができます。

1 再生中に画面をズームするには、リモコンの「T」ボタンを押す

通常再生

ズーム再生（20倍まで）

• 再生一時停止／スロー再生中もズームできます。

2 拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押しながら上下左右ボタンを押す

拡大再生

画面移動

●ズームをやめたいときは

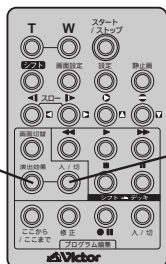
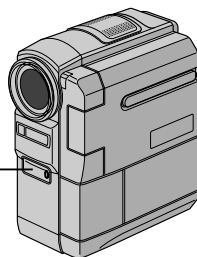
通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」を押します。または、リモコンの停止ボタンを押した後に再生ボタンを押します。

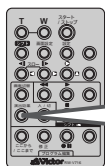
●ズームしたときの映像は

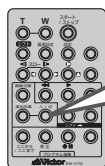
通常の再生画面よりも多少再生映像が粗くなります。

演出効果を加えて再生する

●再生中に効果を加えて楽しみたいとき

付属のリモコンを使うと、テープを再生しているときの映像に演出効果（プログラム AE ☞130 ページ）を加えることができます。

1 ビデオカメラの再生中にリモコンの演出効果ボタンを押す

2 演出効果ボタンを押して演出効果を選ぶ

●演出効果入／切ボタンで選んだ演出効果をいつでも入／切できます。

Column コラム 知って得する ビデオ撮影のコツ

お子様の元気な様子を鮮明に残しましょう

ポイント 1

プログラムは事前にチェックします。演技の順番や場所、スタートの位置を確認し、場所を選びます。

ポイント 2

運動会の当日だけではなく、前日の様子や始まる前、お昼休み中などの様子も撮影します。

ポイント 3

遠くから撮影する場合やオートでピントが合わないときは、手動で撮影する方法もあります。

運動会編

1 入場門

始まる前に、校舎やタレ幕、はしゃいでいる子供達の様子を撮ります。

2 入場行進

入場門の横で低い位置に構えて待ちます。人物の動きに合わせてゆっくり撮影。

3 玉入れ

空を一緒に撮ると、子供達が暗く写るので、高い位置からねらいます。

4 徒競走

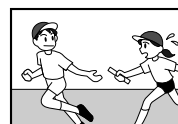
ゴールに近い位置からズームインし、ズームアウトしながらゴールを。

5 お昼の休憩

お弁当を食べている様子も撮りましょう。三脚を使うと全員入ります。

6 綱引き

まず全員をズームアウトして撮り、お子様の顔や勝利の瞬間をアップで。

7 リレー

バトンタッチの少し手前で構え、走っている様子を追いかけます。

8 表彰式

喜びの表情、くやしい表情など、子供達の表情や全体を撮ります。

メモリーカード

メモリーカードを使って楽しもう！

静止画や動画を一覧表示してお気に入りのファイルを探そう！

オートプレイを使えば簡単に試写会ができる！

たくさんの静止画や動画を撮ってメールやホームページを楽しもう！

静止画または動画をパソコンへ取り込むときは☞154ページ

メモリーカードに静止画を撮る

本機をデジタルスチルカメラとして使用することができます。撮影するとメモリーカードに静止画が記録されます。

❶ ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

❷ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」または「Ⓜ」に合わせる

❸ 液晶画面を開く

- 電源ランプが点灯して電源が入ります。

静止画ボタンを押す

- フルモードで静止画が記録されます。
- 記録中は ➡ が点滅します。
- 画面に「ϟ」が表示されているときは、フラッシュが発光します。（☞122 ページ）

静止画ボタン

●撮影可能枚数の目安は

画像サイズ	画　質	マルチメディアカード			SDメモリーカード				
		8MB(別売)	16MB(別売)	32MB(市販)	8MB※(付属)	8MB(市販)	16MB(市販)	32MB(市販)	64MB(市販)
1280 x 960	ファイン	約16枚	約32枚	約64枚	約11枚	約12枚	約28枚	約62枚	約120枚
	スタンダード	約50枚	約100枚	約200枚	約37枚	約44枚	約98枚	約205枚	約405枚
1024×768	ファイン	約25枚	約50枚	約100枚	約17枚	約20枚	約46枚	約98枚	約190枚
	スタンダード	約80枚	約160枚	約320枚	約55枚	約66枚	約145枚	約310枚	約605枚
640×480	ファイン	約50枚	約105枚	約210枚	約39枚	約46枚	約98枚	約205枚	約405枚
	スタンダード	約160枚	約320枚	約640枚	約134枚	約150枚	約295枚	約625枚	約1215枚

●演出効果を設定していても静止画撮影時に働かないものがあります。
このようなときは、演出効果アイコンが点滅してお知らせします。

●記録された静止画像ファイルは
DCF (Design rule for Camera File system) に対応しています。DCF対応していない機器とは互換性がありません。

●SD メモリーカードについて
大切な画像を消してしまわないように、メモリーカードへ記録できなくすること（ライトプロテクト）ができます。ライトプロテクトをかけるには、メモリーカード側面のスイッチを「LOCK」の位置に合わせてください（スイッチを戻すと、再び記録できます）。

●画質／サイズを変更したいときは（☞59 ページ）

●不要な静止画を削除したいときは（☞107 ページ）

●静止画撮影ができないときは
静止画ボタンを押したとき画面に「PHOTO」が点滅してお知らせします。

●映像をズームしたいときは（☞68ページ）

●逆光を補正したいときは（☞69 ページ）

●バッテリー使用時に 5 分以上撮影を一時停止したときは
ビデオカメラの節電のため、自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、液晶画面を一度閉じて再び開いてください。または、ファインダーを一度入れ、再び引き出してください。

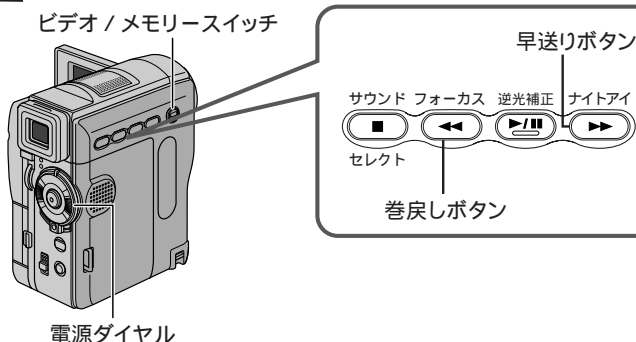
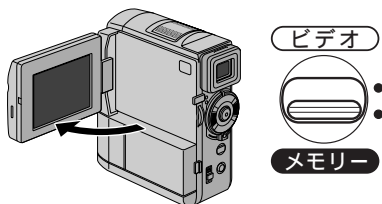
●AV端子またはヘッドホン端子にコードが接続されているときは
「カシャ」音は出ません。

静止画を再生する

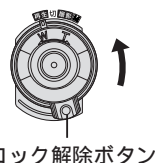
撮ったその場で静止画を確認することができます。

操作はココ！

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

ビデオ

メモリー

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

- 電源ランプが点灯し、電源が入ります。
- 静止画が表示されます。動画または効果音が再生されたときは（☞91 ページ）

ロック解除ボタン

3 早送りボタン（▶▶）を押す

- 次の静止画が表示されます。

巻戻しボタン（◀◀）を押す

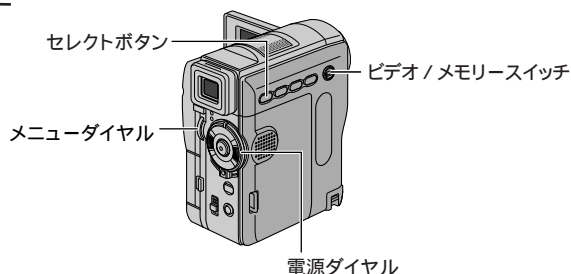
- 前の静止画が表示されます。

静止画を１枚ずつ自動で再生するには（オートプレイ）
再生ボタン（▶/❚❚）を押します
- 静止画が１枚ずつ自動で表示されます。
- オートプレイ中に巻戻しボタン（◀◀）を押すと逆方向のオートプレイを実行します。
- 止めたいときには、停止ボタン（■）を押します。

- **本機に対応していない画像サイズの静止画を再生したときは**
静止画が縮小されて表示されます。また、この静止画はパソコンに取り込めません。
- **DCF対応していない機器で記録された静止画を再生したときは**
「サポートされていません」と表示されます。
- **テレビにつないで静止画を見たいときは**
（☞76 ページ）

再生するファイルの種類を選択する

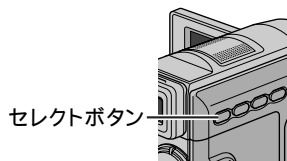
●再生したいファイル（種類）が表示されていないとき

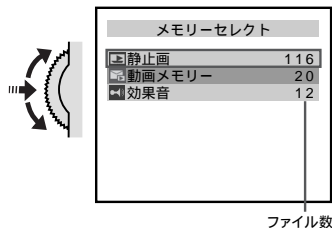
メモリーカードの再生モードにすると、最後に再生されたファイルの種類（静止画、動画または効果音）が表示されます。再生したいものが表示されていないときは、以下の手順で選択します。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

● 電源ランプが点灯し、電源が入ります。

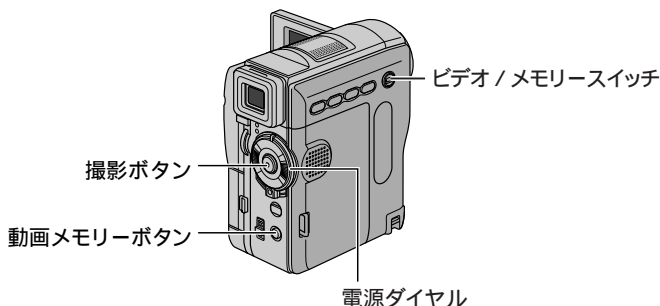
3 セレクトボタンを押す

● メモリーセレクト画面が表示されます。画面の数字はそれぞれのファイル数を表示しています。

4 メニューダイヤルで再生したいファイルの種類を選び、ダイヤルを押す

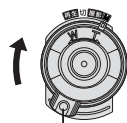
● 選んだファイルの種類が表示されます。

メモリーカード

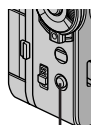
メモリーカードに動画を撮る（動画メモリー）

●動画をパソコンに取り込みメールに添付して送りたいときなど

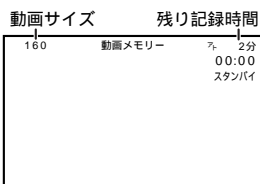
160×120ドットのサイズで動画をメモリーカードに記録することができます。テープに記録した映像だけでなく、カメラ映像を直接記録することもできます。

カメラ映像を直接メモリーカードに記録する

1 **液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる**

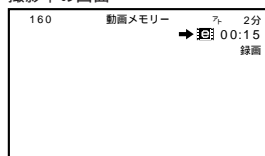
2 **ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる**

3 **動画メモリーボタンを押す**

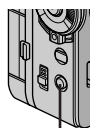
- 画面に「動画メモリー」が表示され、動画メモリーモードになります。
- 動画メモリーモードを中止するには、再度動画メモリーボタンを押します。

❹ 撮影ボタンを押す

● 記録がはじまります。
記録中は「→」表示が点滅します。

● 1 回の最大記録時間は約 3 分です。

❺ 記録をやめるには、再度撮影ボタンを押す

● 画面に「保存中」と表示され、手順❸の画面状態に戻ります。

撮影中の画面

❻ 動画メモリーモードを解除するには、動画メモリーボタンを押す

● 静止画の撮影モードに戻ります。

テープの映像をメモリーカードに記録する

❶ カセットテープを再生する

● 再生するには（☞74 ページ）

❷ 動画メモリーボタンを押す

● 画面に「動画メモリー」が表示され、動画メモリーモードになります。

● 動画メモリーモードを中止するには、再度動画メモリーボタンを押すか、停止ボタン（■）を押します。

❸ 記録を開始したい場面が表示されたら、撮影ボタンを押す

● 記録がはじまります。
記録中は「→」表示が点滅します。

● 1 回の最大記録時間は約 3 分です。

記録中の画面

次ページへつづく

メモリーカードに動画を撮る（動画メモリー）

❹ 記録をやめるには、再度撮影ボタンを押す

- 画面に「保存中」と表示され、手順❷の画面状態に戻ります。

❺ 動画メモリーモードを解除するには、動画メモリーボタンまたは停止ボタン（■）を押す

- ビデオの再生モードに戻ります。

- 動画圧縮形式はMPEG4に対応しており、Windows® Media™ Player（Windows 版、Macintosh版ともにVer6.4以降)を使用して再生できます。詳しくは別冊のソフトウェア取扱説明書をご覧ください。
  Windows® Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- メモリーカードには、タイムコードや日時表示などのメッセージ類は記録されません。
- テープの映像を記録するときに、映像を白黒やセピア色に変化させることもできます。
  リモコンを使って演出効果を加えてください。（☞85 ページ）

●動画撮影（記録）可能時間の目安

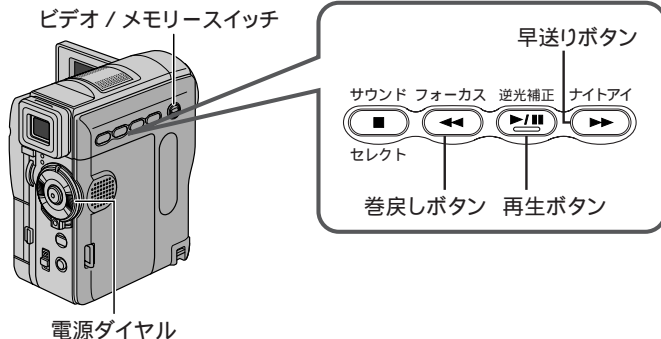
動画サイズ	SDメモリーカード	マルチメディアカード	
	8MB（付属）	8MB(別売)	16MB(別売)
160×120ドット	約5分40秒	約8分10秒	約16分20秒

1 回の最大記録可能時間は約 3 分です。

- **動画を再生したいときは**（☞95 ページ）
- **記録した動画をパソコンに取り込みたいときは**（☞154 ページ）
- **メモリーカードの残り記録時間がなくなったときは**
  自動的に記録を終了します。
- **カセットテープが終わりまでいったときは**
  自動的に記録を終了します。

動画を再生する

●パソコンに動画を取り込む前に確認したいときなど

メモリーカードに記録した動画を液晶画面またはファインダーで確認することができます。

ロック解除ボタン

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

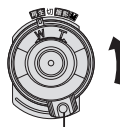
2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

3 動画ファイルが表示されていないときは、メモリーセレクト画面で選択する（☞91 ページ）

4 再生したい動画ファイルを選ぶ

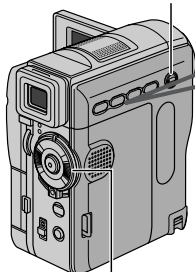
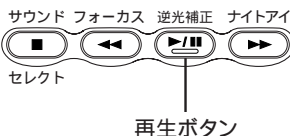
- 早送りボタン（▶▶）を押すと、次のファイルが表示されます。巻戻しボタン（◀◀）を押すと、前のファイルが表示されます。
- インデックス画面で選ぶこともできます。（☞100 ページ）

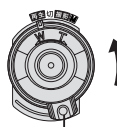
5 再生ボタン（▶ ／II）を押す

- 動画ファイルが再生されます。途中で止めたいときには停止ボタン（■）を押します。

効果音を再生する

●すべての効果音の内容を確認したいとき

付属のメモリーカードには、12 種類の効果音が記録されています。この効果音は、テープに撮影しているときに挿入することができます。ここでは、記録する前に効果音の内容を確認する方法を説明します。

1	ファンファーレ(FANFARE)	7	ワハハ(WAHAHA)
2	拍手(HAKUSHU)	8	ボカーン(BOKAAN)
3	カンセイ(KANSEI)	9	レースカー(RACE CAR)
4	ブー(BOO)	10	ジャーン(JAAAN)
5	ピンポーン(PINPON)	11	フォワーン(FOWAAAN)
6	サイレン(SAIREN)	12	ピロピロ(PIROPIRO)

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

3 効果音ファイルが表示されていないときは、メモリーセレクト画面で選択する
(☞91 ページ)

4 再生ボタン（▶／II）を押す

- 効果音ファイルが１つずつ自動で再生されます。止めたいときには停止ボタン（■）を押します。

●効果音再生画面で早送りボタン（▶▶）を押すと、次のファイルが選択されます。巻戻しボタン（◀◀）を押すと、前のファイルが選択されます。

●効果音をテープに挿入したいときは　**（☞98 ページ）**

●メモリーカードに効果音を追加するには

パソコンからメモリーカードに音声ファイルを取り込み、効果音として利用できます。効果音は、下記のビクターホームページからダウンロードしてご利用ください。また、付属の CD-ROM の DCSDフォルダには付属のメモリーカードに記録されている効果音が入っています。新たに購入したメモリーカードをお使いのときなどにコピーしてお使いください。詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書をご覧ください。

メモリーカード

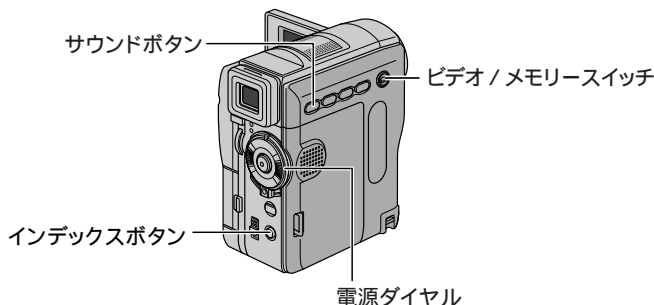
効果音ダウンロードページ

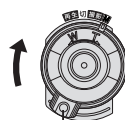
http://www.jvc-victor.co.jp/download/d-sound/index.html

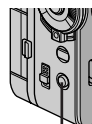
- パソコンからメモリーカードに効果音を取り込むときは、付属の USB ケーブルとビデオカメラを使用します（☞154 ページ）。
  また、別売の PC カードアダプター（CU-V51）やフロッピーアダプター（CU-V41）、USB リーダー／ライター（CU-V70）も使用できます。
- 効果音は、メモリーカードの DCSD\100JVCGR フォルダにコピーしてください。
- 効果音のファイル名には、DVC00001.mp3 から始まる連番を付けます。
  付属のメモリーカードをお使いの場合、DVC00001.mp3 から DVC00012.mp3 は、出荷時に記録されている効果音が使用しているため、DVC00013.mp3 から始まる連番のファイル名をお使いください。
- この機能を使って、市販の音楽 CD やインターネット上で流通している音声データを利用する場合、著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。
  利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者から許諾を受けている等の事情がないにも関わらず、この範囲を越えて複製、編集や複製物、編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することになり、著作権者等から損害賠償を請求されることになりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

テープ撮影中に効果音を挿入する

●拍手や歓声などの効果音によって映像（音声）に変化をつけたいとき

テープに撮影中、メモリーカードに記録されている効果音を挿入する方法を説明します。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる

3 インデックスボタンを押す

- 効果音インデックス画面に効果音の一覧が表示されます。
- メモリーカードに効果音がないときは、「効果音がありません」と表示されます。

4 メニューダイヤルでお好みの効果音を選び、ダイヤルを押す

- 撮影画面に戻ります。
- 選択した効果音を確認するには、サウンドボタンを押します。選択された効果音の名前が画面に表示されます。

インデックス

FANFARE
HAKUSHU
KANSEI
BOO
PINPON
SAIREN
WAHAHA

撮影中にサウンドボタンを押す

- 効果音が音声に挿入されます。効果音の名前の横にある「♫」マークの動作中は、効果音が挿入されています。
- 効果音の挿入を途中で止めるときは、再度サウンドボタンを押します。

- 効果音はアフレコ編集でも挿入できます。（☞140ページ）
- 画面に表示される効果音の名前は、録画されません。

●効果音挿入中は

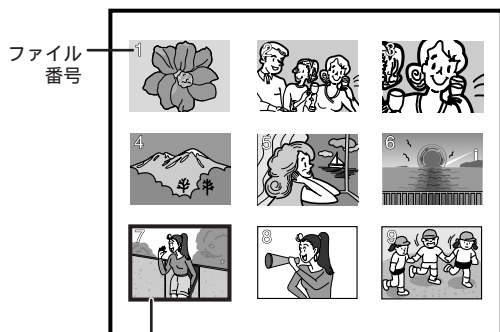
スピーカーから効果音は聞こえません。挿入時に効果音を聞きたいときは、ヘッドホンをご使用ください。

メモリーカード

メモリーカードの内容を一覧表示で見る（インデックス画面）

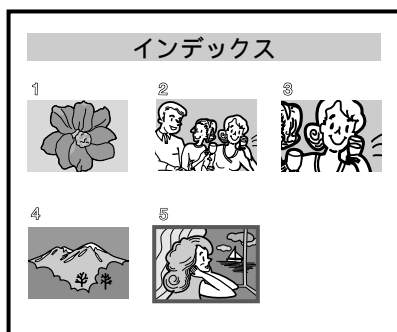
●見たい静止画／動画を探すとき、または記録したい効果音を探すとき

インデックス画面には「静止画」、「動画」、「効果音」の 3 つがあり、それぞれのファイルを一覧表示します。

静止画インデックス画面

動画インデックス画面

効果音インデックス画面

インデックス

FANFARE
HAKUSHU
KANSEI
BOO
PINPON
SAIREN
WAHAHA

1： ファイル番号

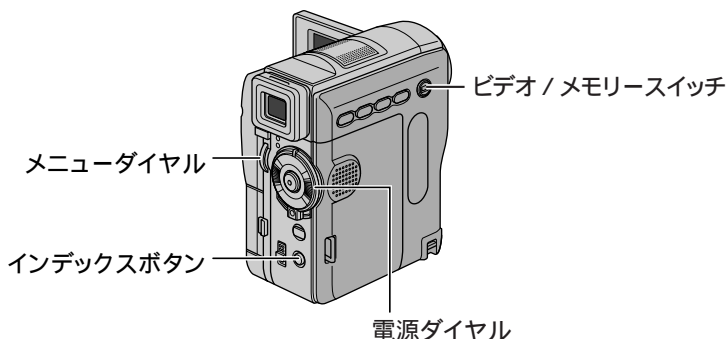
ファイル番号は記録された順に 1、2、3‥‥というように付けられます。ファイルが 1 から 10 の 10 ファイルあるとき、2、4、6 の 3 つのファイルを削除するとファイル番号は新しく付け直されて、1 から 7 までの 7 つのファイルになります。

選択枠

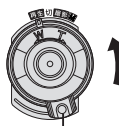
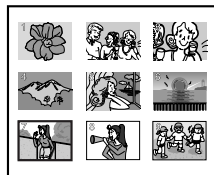
ファイルを選ぶときは、メニューダイヤルを回して、枠を選択したいファイルのところへ移動させます。
枠で囲まれたファイルが現在選択されているファイルです。

次ページへつづく

インデックス画面からファイルを選んで表示する（インデックス再生）

インデックス画面でファイルを選んでからメニューダイヤルを押せば、選んだファイルを表示することができます。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 電源ダイヤルを「再生」に合わせる

- 電源ランプが点灯し、電源が入ります。

3 インデックス画面を表示したいファイルの種類を選ぶ
（☞91 ページ）

4 インデックスボタンを押す

- インデックス画面が表示されます。
- 巻戻しボタン（◀◀）または早送りボタン（▶▶）を押すと、ページ単位で表示を切り替えることができます。

5 メニューダイヤルで表示したいファイルを選び、ダイヤルを押す

- 選択したファイルが表示されます。

メモリーカード

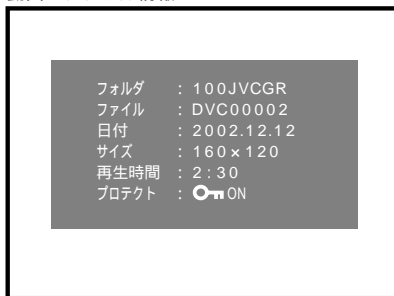
ファイル情報を見る

● 撮影した日付や画像サイズなどを確認したいとき

静止画、動画、または効果音を表示しているときに、ファイル情報（日付や画像サイズなど）を確認することができます。

静止画のファイル情報

動画のファイル情報

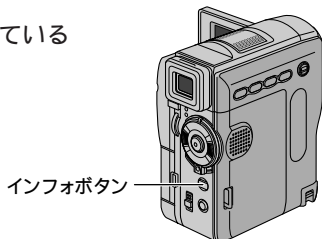
フォルダ	：100JVCGR
ファイル	：DVC00002
日付	：2002.12.12
サイズ	：160×120
再生時間	：2：30
プロテクト	：ON

DCF（静止画のみ）	**：**	**フォルダ番号とファイル番号が表示されます。**
フォルダ	**：**	**メモリーカード内のフォルダ名が表示されます。**
ファイル	**：**	**ファイル名が表示されます**
日付	**：**	**撮影した日付、またはファイルを作成した日付が表示されます。**
サイズ（効果音を除く）	**：**	**画像サイズが表示されます。（☞59 ページ）**
画質（静止画のみ）	**：**	**記録した静止画の画質が表示されます。（☞59 ページ）**
再生時間（動画、効果音のみ）	**：**	**ファイルを再生したときの再生時間が表示されます。**
プロテクト	**：**	**ファイルにプロテクトをかける（間違って削除しないようにする）と、「ON」が表示されます（☞104 ページ）**

●他の機器で撮影された静止画などの画質は「－－－」と表示されます。

ファイル情報を表示する

静止画、動画、効果音またはインデックス画面が表示されているときにインフォボタンを押す

● ファイル情報が表示されます。

● 表示を消すには、再度、インフォボタンを押します。

静止画の再生画面表示を変更する

静止画の再生時に表示されるモード表示（▶）やバッテリー表示（▭）を消すことができます。

1 **液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる**

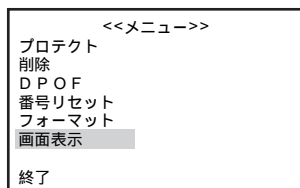
ビデオ
メモリー

2 **電源ダイヤルを「再生」に合わせる**

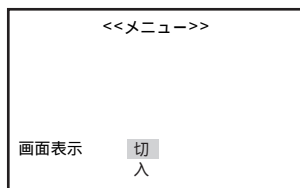
- 静止画が表示されていないときは、静止画を表示させてください。（☞91 ページ）

ロック解除ボタン

3 **メニューダイヤルを押す**

4 **メニューダイヤルで「画面表示」を選び、ダイヤルを押す**

5 **メニューダイヤルで「切」を選び、ダイヤルを押す**

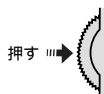
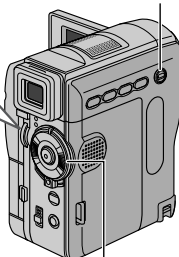
<<メニュー>>

画面表示　切
　　　　　入

メモリーカード

ファイルを削除できないようにする（プロテクト）

● 大切なファイルを削除したくないとき

間違えて削除しないように、大切なファイルにはプロテクトをかけることをおすすめします。プロテクトをかけたファイルは削除されません。メモリーカードに保存されている静止画、動画、効果音のそれぞれにプロテクトをかけることができます。ここでは、静止画にプロテクトをかける方法を例にとって説明します。

ファイルにプロテクトをかける

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 電源ダイヤルを「再生」に合わせる

- 静止画が表示されていないときは、静止画を表示させてください。（☞91 ページ）
- 動画または効果音にプロテクトをかけたいときは、動画または効果音を表示させてください。（☞91 ページ）

3 メニューダイヤルを押す

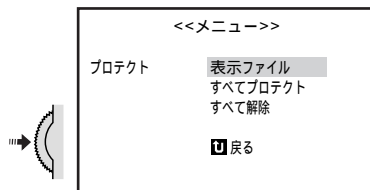
4 もう一度メニューダイヤルを押す

- 「表示ファイル」「すべてプロテクト」「すべて解除」が表示されます。

<<メニュー>>
プロテクト
削除
ＤＰＯＦ
番号リセット
フォーマット
画面表示

終了

❺ もう一度メニューダイヤルを押す

- プロテクト画面が表示されます。

❻ 「◀◀」または「▶▶」ボタンを押してプロテクトをかけるファイルを選ぶ

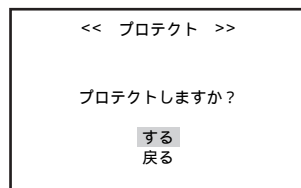
❼ メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

- ファイルがプロテクトされ、画面中央に「O┳」マークが表示されます。
- 他のファイルもプロテクトをかけたいときは、手順❻～❼を繰り返します。

<< プロテクト >>

プロテクトしますか？

する
戻る

メモリーカード

❽ メニューダイヤルを 3 回押す

- 再生画面に戻ります。

＜すべてのファイルをプロテクトしたいときは＞

手順❺で「すべてプロテクト」を選び、メニューダイヤルを押します。表示された画面で「する」を選び、ダイヤルを押すと、すべてのファイルがプロテクトされます。

- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、ファイルにプロテクトをかけることはできません。

- ファイルにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は削除されます。必要なファイルはパソコンに転送して保存してください。

ファイルのプロテクトをはずす

1 104、105**ページの手順❶～❺を行う**

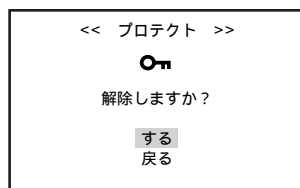
- プロテクト画面が表示されます。

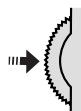
2 **プロテクトをはずしたいファイルを選んでから、メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す**

- 画面中央の「」マークが消えます。
- 他のファイルもプロテクトをはずしたいときは、手順❷を繰り返します。

<< プロテクト >>

解除しますか？

する
戻る

3 **メニューダイヤルを 3 回押す**

- 再生画面に戻ります。

<すべてのファイルのプロテクトをはずしたいときは>

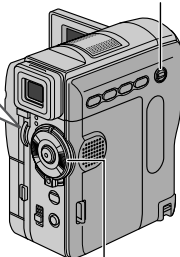
105ページの手順❺で「すべて解除」を選び、メニューダイヤルを押します。表示された画面で「する」を選び、ダイヤルを押すと、すべてのファイルのプロテクトがはずれます。

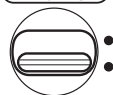
- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、ファイルのプロテクトをはずすことはできません。

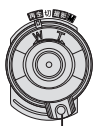
ファイルを削除する

●不要なファイルを削除したいとき

メモリーカードに空きがなくなると静止画や動画を撮れなくなります。不要なファイルを削除してください。メモリーカードに保存されている静止画、動画、効果音のそれぞれを削除することができます。ここでは、静止画を削除する方法を例にとって説明します。

ファイルを選択して削除する

メモリーカード

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 電源ダイヤルを「再生」に合わせる

- 静止画が表示されていないときは、静止画を表示させてください。（☞91 ページ）
- 動画または効果音を削除したいときは、動画または効果音を表示させてください。（☞91 ページ）

ロック解除ボタン

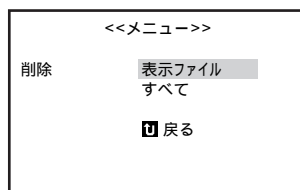
3 メニューダイヤルを押す

4 メニューダイヤルで「削除」を選び、ダイヤルを押す

- 「表示ファイル」「すべて」が表示されます。

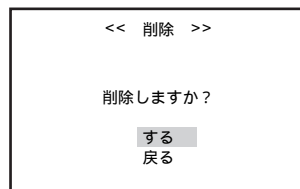
次ページへつづく

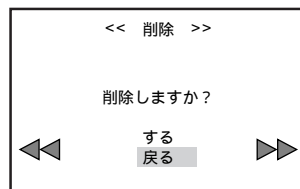
5 **もう一度メニューダイヤルを押す**

● 削除画面が表示されます。

6 **「◀◀」または「▶▶」ボタンを押して、削除したいファイルを表示する**

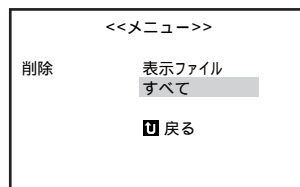
7 **メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す**

● 表示されているファイルが削除されます。

● 他のファイルも削除したいときは、手順 ❻ ～ ❼ を繰り返します。

8 **ファイルの削除を終了するときは、「戻る」が選ばれていることを確認して、メニューダイヤルを 3 回押す**

● 再生画面に戻ります。

すべてのファイルを削除する

1 「ファイルを選択して削除する」（☞107、108ページ）の手順❺で「すべて」を選び、メニューダイヤルを押す

● 削除画面が表示されます。

<<メニュー>>	
削除	表示ファイル
	すべて
	戻る

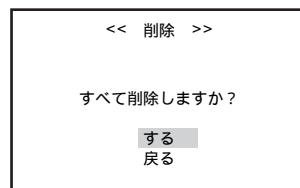
2 メニューダイヤルで「する」選び、メニューダイヤルを押す

● 削除をやめるには「戻る」を選びます。

● ファイルがすべて削除されます。

<< 削除 >>

すべて削除しますか？

する
戻る

メモリーカード

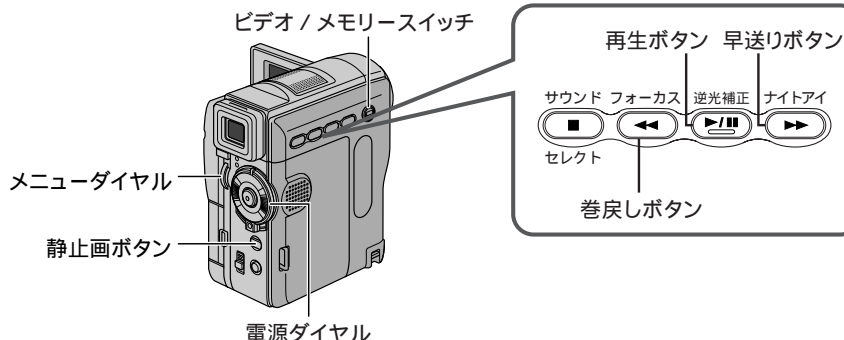
● SD カードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、ファイルは削除できません。

● プロテクトしたファイルは、上記の操作で削除されません（☞104 ページ）。プロテクトしたファイルを削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます（☞106 ページ）。

● 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
また、別売の AC アダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。

● 削除したファイルは元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

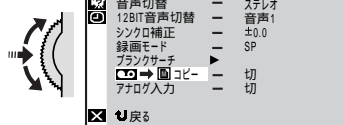
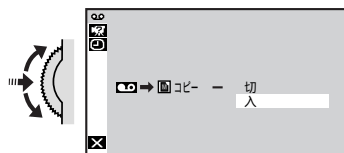
テープからメモリーカードへコピーする

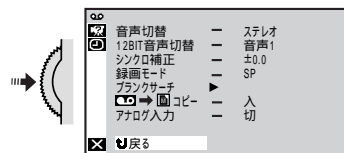
● テープに撮った映像を静止画としてパソコンへ取り込みたいとき

1 **液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる**

2 **電源ダイヤルを「再生」に合わせる**

- 電源ランプが点灯し、電源が入ります。

3 **メニューダイヤルを 2 回押す**

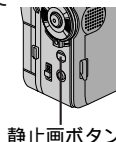
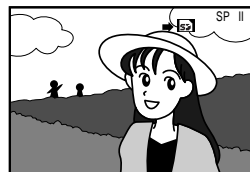
4 **メニューダイヤルで「 ➡ M コピー」を選び、ダイヤルを押す**

❺ メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

❻ メニューダイヤルを 2 回押す

● 再生画面に戻ります。

❼ 再生／一時停止ボタン、早送りボタン、巻戻しボタンでコピーしたい画像を探す

❽ コピーする画像が見つかったら再生／一時停止ボタンを押して再生一時停止にする

❾ 静止画ボタンを押す

● 選んだ画像がメモリーカードに640×480ドットでコピーされます。

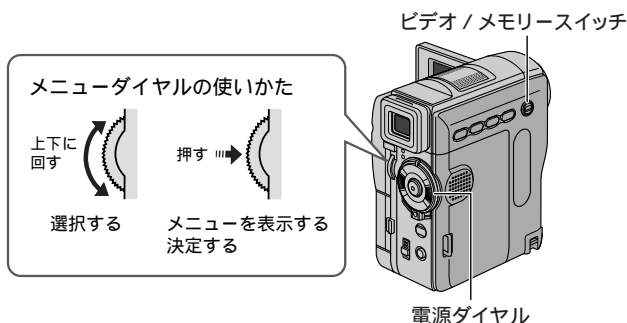
● コピー中は「➡」表示が点滅します。

静止画ボタン

●「メモリーカードへ記録できません」と表示されたときは（☞47 ページ）

● コピーをするときの静止画（記念写真）モードを選ぶことができます。記念写真モードについては（☞156 ページ）

メモリーカード

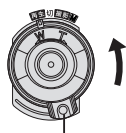
プリント情報を設定する（DPOF設定）

● 静止画を自動プリントしたいとき

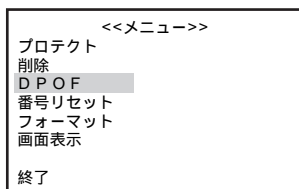
今後の自動プリントシステムなど将来の環境を考慮し、自動プリントするための情報を記録するDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しています。
DPOF設定で自動プリントの指定ができるのは、メモリーカードに記録された静止画のみです。ビデオの映像をDPOF設定によってプリントしたいときは、プリントしたい場面をあらかじめ静止画としてメモリーカードにコピーしておきます（☞110ページ）。

すべての静止画を1枚ずつプリントするよう設定する

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

❷ 電源ダイヤルを「再生」に合わせる

- 静止画が表示されていないときは、静止画を表示させてください。（☞91ページ）

❸ メニューダイヤルを押す

❹ メニューダイヤルで「DPOF」を選び、ダイヤルを押す

- 「表示ファイル」「すべて１枚」「リセット」などが表示されます。

❺ メニューダイヤルで「すべて１枚」を選び、ダイヤルを押す

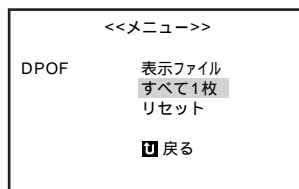
- DPOF画面が表示されます。

<<メニュー>>
DPOF　表示ファイル
すべて1枚
リセット
戻る

❻ メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

- 再生画面に戻ります。

<< DPOF >>
すべて１枚
する
戻る

メモリーカード

プリント情報を設定する（DPOF設定）

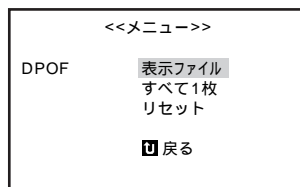
静止画とプリント枚数を選んで設定する

1 「すべての静止画を１枚ずつプリントするよう設定する」（☞112、113ページ）の手順 ❺ で「表示ファイル」を選び、メニューダイヤルを押す

● DPOF 画面が表示されます。

<<メニュー>>

DPOF　　表示ファイル
　　　　すべて1枚
　　　　リセット

　　　　戻る

2 「◀◀」または「▶▶」ボタンを押して、プリントしたい静止画を選ぶ

3 メニューダイヤルで「00」を選び、ダイヤルを押す

● 枚数設定を変更できるようになります。

● すでに枚数が設定されている場合は、「00」のかわりに設定されている枚数が表示されています。

<<　DPOF　>>

枚数設定

00
戻る

4 メニューダイヤルで枚数を設定し、ダイヤルを押す

● 最大 15 枚まで設定できます。

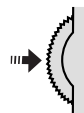
<<　DPOF　>>

枚数設定

10

5 他の静止画も設定したいときは、手順 ❷ ～ ❹ を繰り返す

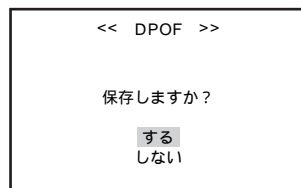
❻ 「戻る」が選ばれていることを確認して、メニューダイヤルを押す

● 設定の保存を確認する画面が表示されます。

❼ メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

● 設定が保存され、再生画面に戻ります。

<< DPOF >>

保存しますか？

する
しない

＜枚数をすべて0枚に戻すには＞

「すべての静止画を１枚づつプリントするよう設定する」の手順❺で「リセット」を選んでください。すべての静止画が０枚に設定されます。

●操作中は電源を抜かないでください。静止画像ファイルが壊れます。安全のため、DPOF設定の実行中は電源ダイヤルを含むすべてのボタンが働きません。

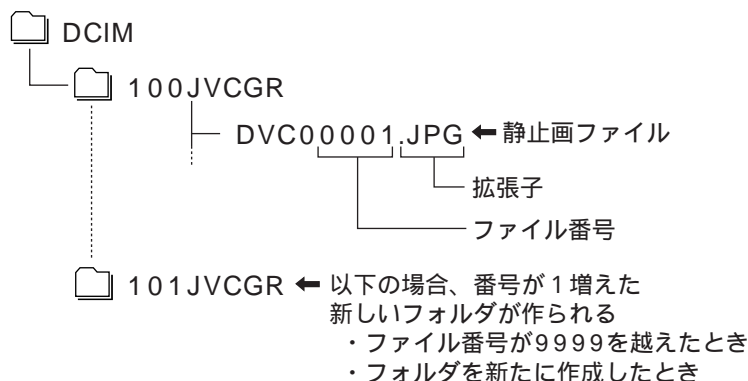
●SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、DPOF設定を実行することはできません。

●DPOF対応プリンターを使用する場合、上記の操作をしたメモリーカードを入れると選択した静止画だけを自動的に印刷できます。

●テープの映像を印刷するには、あらかじめメモリーカードへコピーしてください（☞110ページ）。

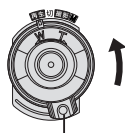
静止画や動画のファイル名をリセットする

静止画や動画は、撮影した順に「0001」から「9999」までの番号を持ったファイル名がつけられます。リセットを行うと、新たにフォルダを作成し、その中に「0001」から始まるファイル名をつけて保存するようになります。例えば、これまでの静止画とこれから撮影する静止画の区別をつけやすくしたいときに便利です。

静止画のファイル名とフォルダ名について
静止画のファイル名は「DVC00001.JPG」「DVC00002.JPG」…の順につけられます。「DVC09999.JPG」を越えると、自動的に新しいフォルダが作成され、その中に「DVC00001.JPG」として保存されます。

- **動画は「DCVI」フォルダの「100JVCGR」フォルダに「.ASF」という拡張子で保存されます。ファイル名やフォルダ名やのつけかたは静止画と同じです。**
- **途中の番号の静止画や動画を削除したときは、その番号は使用されません。撮影した最新の静止画や動画は、つねにフォルダ内で一番大きな番号を持ったファイル名がつけられます。**

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

❷ 電源ダイヤルを「再生」に合わせる

● 静止画または動画が表示されていないときは、表示させてください。(☞91ページ)
静止画のファイル名をリセットしたいときは静止画を、動画の場合は動画を表示させます。

❸ メニューダイヤルを押す

❹ メニューダイヤルで「番号リセット」を選び、ダイヤルを押す

● 番号リセット画面が表示されます。

<<メニュー>>
プロテクト
削除
D P O F
番号リセット
フォーマット
画面表示

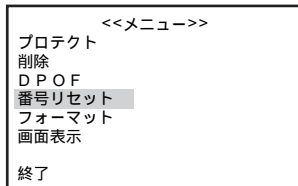
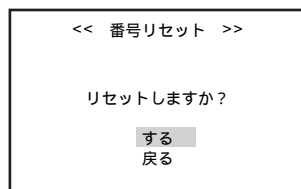
終了

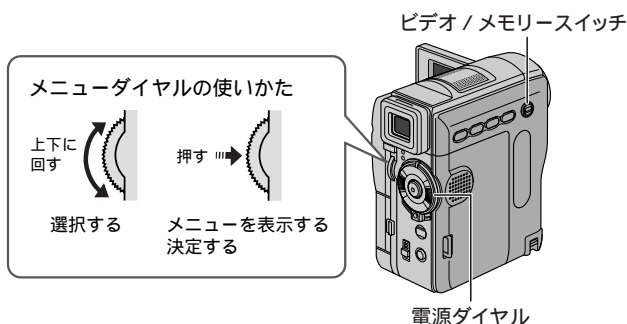
❺ メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

● 再生画面に戻ります。

<<　番号リセット　>>

リセットしますか？

する
戻る

メモリーカードを初期化する（フォーマット）

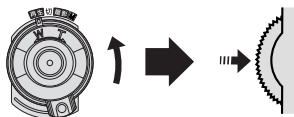
万一、一部のファイルが読み書きできなくなったなどの不具合が生じた場合は、メモリーカードをフォーマットすることで機能を回復できることがあります。通常、メモリーカードのフォーマットは不要ですが、どうしてもフォーマットする必要が生じた場合は、下記の手順で行ってください。
フォーマットするとメモリーカード内のファイルはすべて消去されます。

1 ACアダプターを取り付ける

● ACアダプターを取り付けるには（☞54ページ）

2 保存したいファイルがあればコピーする

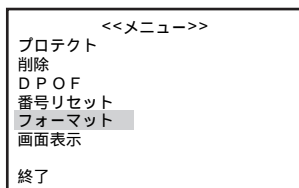
● パソコンにファイルを取り込むには（☞154ページ）
● ファイルが壊れているときは、コピーできないこともあります。

3 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

❹ 電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルで「フォーマット」を選び、ダイヤルを押す

- フォーマット画面が表示されます。

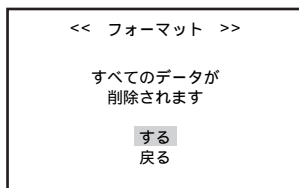
<<メニュー>>
プロテクト
削除
DPOF
番号リセット
フォーマット
画面表示

終了

❻ メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

- メモリーカードがフォーマットされます。フォーマットが終了すると、再生画面に戻ります。
- フォーマットをやめるには「戻る」を選びます。

<<　フォーマット　>>

すべてのデータが
削除されます

する
戻る

- フォーマット中は電源を切ったり、ほかの操作をしないでください。故障の原因となります。
- ファイルにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は消去されます。必要なファイルはパソコンに転送して保存してください。

- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、フォーマットすることはできません

- メモリーカードは精密機器です（☞183ページ）。フォーマットしても、メモリーカードの機能が回復しない場合は、新しいメモリーカードを購入してください。

手動

マニュアル（手動）撮影でさらに高度なビデオライフを！

場面の切替を演出して、思い出を楽しく残そう！

フラッシュの設定を変更する

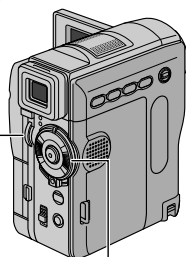
●静止画撮影時にフラッシュを必ず発光させたいときなど

フラッシュの設定には、４種類のモードがあります。

オート　：周りが暗いときに自動的に発光します。通常はこのモードに設定します。

オート 👁　：被写体の目が赤く撮影されるのを抑えます。（赤目軽減）

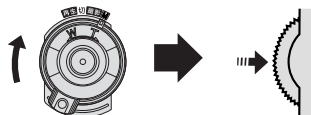
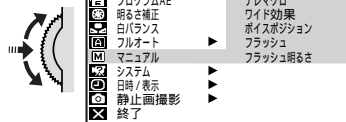
入　：フラッシュが必ず発光します。

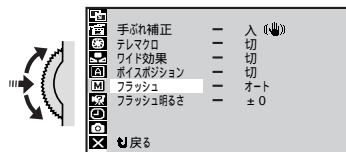
切　：フラッシュが発光しません。

電源ダイヤルを「撮影」に合わせたときは、自動的に「オート」の設定になります。電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせたときは、4 種類のモードから選択することができます。フラッシュを必ず発光させたいとき、または発光させたくないときなど、必要に応じて設定を変更してください。

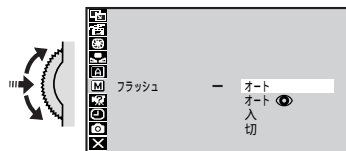
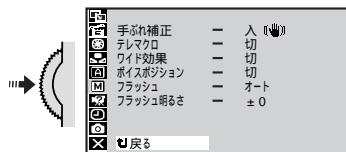
1 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

2 メニューダイヤルで「Ⓜ マニュアル」を選び、ダイヤルを押す

場面切替
プログラムAE
明るさ補正
白バランス
フルオート ▶
マニュアル
システム ▶
日時／表示 ▶
静止画撮影 ▶
終了

手ぶれ補正
テレマクロ
ワイド効果
ポイスポジション
フラッシュ
フラッシュ明るさ

3 メニューダイヤルで「フラッシュ」を選び、ダイヤルを押す

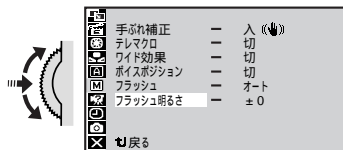
手ぶれ補正 ー 入
テレマクロ ー 切
ワイド効果 ー 切
ポイスポジション ー 切
フラッシュ ー オート
フラッシュ明るさ ー ±0
戻る

4 メニューダイヤルでお好みの設定を選び、ダイヤルを押す

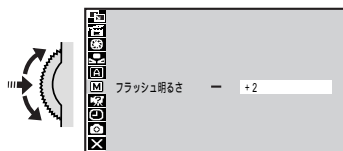
フラッシュ ー オート
オート 👁
入
切

5 メニューダイヤルを 2 回押す

● 撮影画面に戻ります。

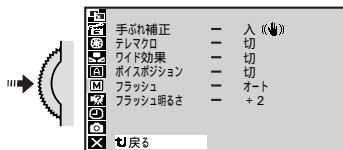
フラッシュの明るさを調整する

静止画を撮影していて、フラッシュが明るすぎたり暗すぎたときは、次の手順で明るさを調整してください。

❶ 122 ページの手順 ❶～❷ を行う

❷ メニューダイヤルで「フラッシュ明るさ」を選び、ダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルで数値を選び、ダイヤルを押す

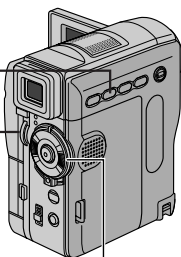
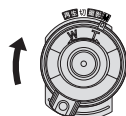
- ＋３（明るさ最大）～－３（明るさ最小）まで変更できます。

❹ メニューダイヤルを２回押す

- 撮影画面に戻ります。

- 至近距離では、フラッシュを人に向けて発光させないでください。

- **離れた被写体を撮影するときは**
  フラッシュの光で映像が白っぽくなるのを防ぐため、フラッシュ発光時にビデオカメラは自動的に画面を暗くして撮影します。そのため、フラッシュの光が届かないときは、静止画が逆に暗くなります。約２m以上離れた被写体を撮影するときは、フラッシュを「切」にしてください。
- **ϟ が点滅しているときは**
  フラッシュの充電中です。このとき、画面にノイズがでることがありますが故障ではありません。充電には10秒ほどかかることがあります。
- **フラッシュが発光しないときは**
  ナイトアイ設定中（☞132ページ）、ビデオ撮影中には、フラッシュは発光しません。また、「フラッシュ」を「オート」に設定しているときに、「感度アップ」（☞156ページ）が「切」になっていたり、プログラムAEで「夜景」（☞130ページ）を選んでいるときには、フラッシュは発光しません。
- **オート 👁 を設定しているときは**
  フラッシュが２度発光します。１度目は赤目軽減のため、２度目は撮影のために発光します。
- **被写体や撮影場所が変わったときは**
  フラッシュの明るさを「±０」に設定し、フラッシュの明るさを確認してください。

ピントを手動で合わせる（マニュアルフォーカス）

●ピントが合いにくいとき

オートフォーカスでは、約 5 センチから無限遠まで自動的にピントが合います。しかし、ピントが合いにくいときや被写体が画面中央にないときは、手動でピントを合わせてください。

1 電源ダイヤルを「M」に合わせる

2 フォーカスボタンを押す

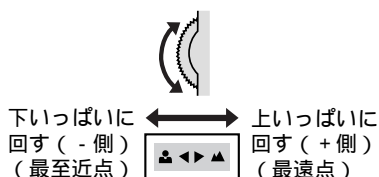
● ピントの調整モードになります。

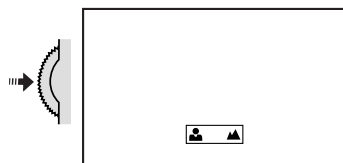
サウンド　フォーカス　逆光補正　ナイトアイ

セレクト

3 メニューダイヤルを回してピントを合わせる

● 被写体が良く見えるように合わせます。

下いっぱいに回す（－側）（最至近点）　上いっぱいに回す（＋側）（最遠点）

4 メニューダイヤルを押す

● フォーカスが固定します。固定したピントを合わせ直したいときは、手順 ❷からくり返します。

<ピントをオートフォーカスに戻すには>

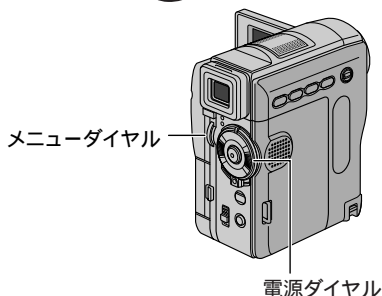
● 手順 ❷ でフォーカスボタンを 2 回押します。
● 電源ダイヤルを「撮影」に合わせてもオートフォーカスに切り替えることができます。

●こんなときに手動でピントを合わせます

・平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
・金網などの障害物が被写体との間にあるとき
・細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
・蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

画像の明るさを調節する（明るさ補正）

- ●逆光補正ボタン（☞69ページ）で補正できないとき
- ●スポットライト機能（☞130ページ）で補正できないとき

太陽が背景にあって被写体が暗くなったり、スポットライトなどがあたって被写体が明るくなりすぎるとき、逆光補正ボタンやスポットライト機能では補正しきれないことがあります。このようなときは、手動で明るさを調節してください。

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「明るさ補正」を選び、ダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルで「マニュアル」を選び、ダイヤルを押す

❹ メニューダイヤルを回して明るさを調節する

- ● 被写体を程良い明るさに調節します。
- ●「＋ 3」は逆光補正ボタンと同じ効果です。
- ●「－ 3」はスポットライト機能と同じ効果です。

❺ メニューダイヤルを押す

● 明るさの補正が固定されます。
固定した明るさを合わせ直したいときは、手順❷からくり返します。

＜明るさを自動調節に戻すには＞

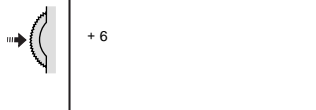
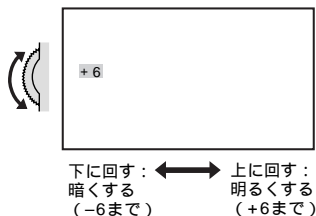
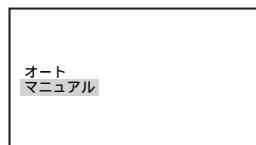
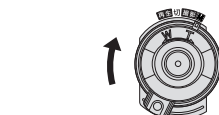
- ● 手順 ❸ で「オート」を選択します。
- ● 電源ダイヤルを「撮影」に合わせても自動調節に切り替えることができます。

●一定の明るさで撮影するには

・手順❹のあと、メニューダイヤルを2秒以上押す。明るさ調節表示の数字の横にLが表示されます。

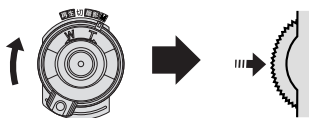
・再度メニューダイヤルを押す
明るさが固定されます。動きのある被写体や、ズーム操作を行うときなど画面上の被写体を一定の明るさにすることができます。

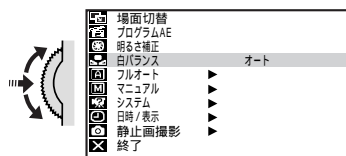
● 明るさ補正機能は

逆光補正ボタン（☞69ページ）、スポットライト機能（☞130ページ）、スノー機能（☞130ページ）などとの併用はできません。

画像の色合いを調節する（白バランス）

●画像の色合いが不自然なとき

ビデオカメラは、通常、色のバランスを自動的に調節し、最も自然な色合いを再現します。ただし、天候やビデオライトなど光源の状態によって、自然な色合いを再現できないときは、手動で白バランスを設定してください。

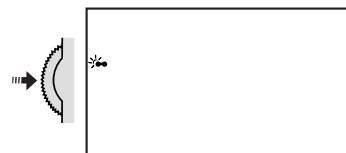
1 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

2 メニューダイヤルで「白バランス」を選び、ダイヤルを押す

● 白バランスメニューが表示されます。

3 メニューダイヤルでモードを選択し、ダイヤルを押す

次の5つのモードから選択できます。

- オート ……… 自動的に色のバランスを調節します。フルオートモードでは「オート」に設定されています。
- ワンタッチ ……… あらかじめ被写体に合わせて設定しておいた色のバランスで撮影したいときに選択します。(☞127ページ)
- はれ ……… 晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。
- くもり ……… 曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。
- ハロゲン ……… ビデオライトなどの照明を使用して撮影するときに選択します。

4 メニューダイヤルを押す

●白バランスが固定されます。

<白バランスを自動調節に戻すには>

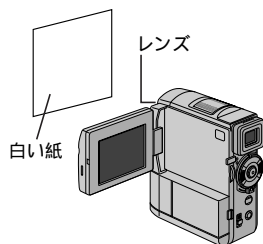
● 手順 ❸ で「オート」を選択します。

白バランスを正確に設定する

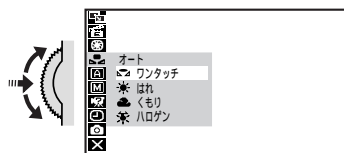
●自然な色で撮影したいとき

ビデオカメラに設定されている白バランスモードで撮影するより正しい色で撮影することができます。

1 レンズの前に白い紙を置き、画面いっぱいに白い紙を映します。

- ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカス（☞124 ページ）であわせてください。
- 裏の透けない紙（コピー用紙など）をお使いください。

2 前ページ（☞126 ページ）の手順 ❸ で「ワンタッチ」を選ぶ

3 「 」が点滅するまでメニューダイヤルを押し続ける

●「」の点滅が止まったところの色のバランスが、ビデオカメラに記憶されます。

4 メニューダイヤルを 2 回押す

●「」が表示されます。

手動

●設定した白バランスは
「ワンタッチ」に別の白バランスを設定するまで記憶されています。

●室内で撮影するときは
外光、蛍光灯、ロウソクの光など、いろいろな光源が被写体にあたります。自然な色合いで撮影したいときは白バランスを調節してください。

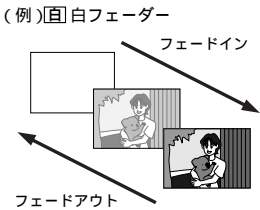
変化をつけて映像をつなぐ（場面切替）

● 場面と場面のつなぎ目に変化をつけたいとき

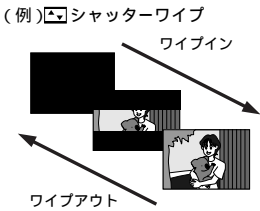
「白・黒画面で切替」を使ったときの効果

1）フェーダー効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをフェードイン、フェードアウトでつなぎます。

（例）白 白フェーダー

2）ワイプ効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをワイプイン、ワイプアウトでつなぎます。

（例）シャッターワイプ

場面切替には 9 種類の効果があります。

■白・黒画面で切替

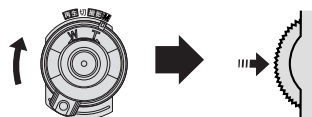
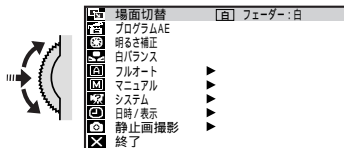
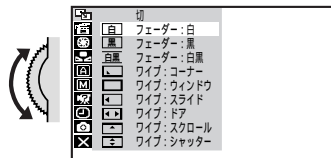
アイコン	効　果
白 フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
黒 フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
白黒 フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下へ映像が徐々にワイプインし、左下から右上へワイプアウトします。
ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中心から映像が徐々にワイプインし、画面の中心へワイプアウトします。
ワイプ：スライド	黒い画面の右から左へ映像が徐々にワイプインし、左から右へワイプアウトします。
ワイプ：ドア	黒い画面の中央から映像が左右にドアを開けていくように徐々にワイプインし、閉めていくようにワイプアウトします。
ワイプ：スクロール	黒い画面から映像が下から上へ徐々にワイプインし、上から下へワイプアウトします。
ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から映像が上下に徐々にワイプインし、上下から中央にワイプアウトします。

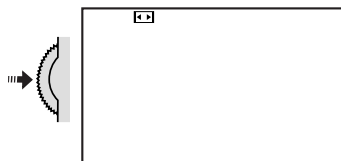
ご注意

- アイコンが点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。（☞129 ページ）

場面切替を設定する

❶ **電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す**

● メニュー画面が表示されます。

❷ **メニューダイヤルで「場面切替」を選び、ダイヤルを押す**

❸ **メニューダイヤルでお好みの場面切替を選ぶ**

❹ **メニューダイヤルを 2 回押す**

● 選択した場面切替が設定され、画面に選択した場面切替のアイコンが表示されます。

❺ **撮影ボタンを押す**

● 選択した場面切替でビデオを撮り始めます。
● もう一度撮影ボタンを押すと選択した場面切替でビデオを撮り終えます。

<場面切替をやめたいときは>

● **手順 ❸ で「切」を選択します。**

手動

● **場面切替設定と演出効果設定**（☞128、130ページ）**を一緒に使うと**
さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、演出効果設定と一緒に使えない場面切替があります。
場面切替設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

映像に変化をつける（プログラムAE）

● 映像そのものに変化をつけたいとき

被写体をセピア色に撮影したり、暗い場所の被写体を明るく撮影することなどができます。
プログラム AE は全部で 10 種類の効果があります。

アイコン	効　果
1/60 シャッター1/60	テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100 シャッター1/100	蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。（50Hz地域のみ）
スポーツ	被写体の明るさに合わせてシャッタースピードを1/250から1/4000まで自動的に調節して撮影します。スポーツをしている人物やモータースポーツなど、動きの速い被写体を1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。
スノー	晴れた日の雪原など周囲が明るい場所で撮影するときに、被写体を明るく補正することができます。効果としては「逆光補正」（☞ 69ページ）と同じですが、こちらの方がやや弱い効果になるので「逆光補正」では効果が強すぎる場合に便利です。
スポット ライト	スポットライトなどがあたって被写体（人物）が明るく写りすぎるときに、被写体を暗く補正することができます。
夜景	夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は ☀ になりますが、お好みの設定に変えることができます。（☞126ページ）ピントは、10m〜無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。

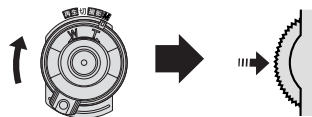
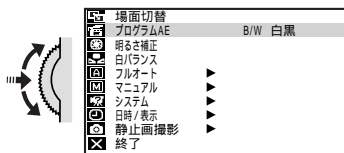
アイコン	効　果
セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」（☞ 159ページ）と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
B/W 白黒	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
映画効果	早いコマ落とし効果を付けて映像を記録します。（ビデオモードのみ）
ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。（ビデオモードのみ）

ご注意

- アイコンが点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。（☞131 ページ）

プログラムAEを設定する

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニュー画面が表示されます。

❷ メニューダイヤルで「プログラムAE」を選び、ダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルでお好みのプログラム AE を選ぶ

❹ メニューダイヤルを 2 回押す

● メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

＜プログラム AE をやめたいときは＞

● 手順 ❸ で「切」を選択します。

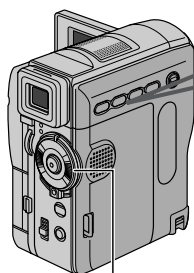
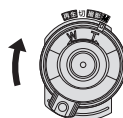
手動

● シャッターモードまたはスポーツモードを使うときは
シャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります。できるだけ明るい場所で撮影してください。

● 演出効果設定と場面切替設定を一緒に使うと
さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えない演出効果があります。演出効果設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

暗い場所で撮影する（ナイトアイ）

● 暗い場所の映りにくい被写体を撮影するとき

被写体の明るさに応じてビデオカメラがシャッタースピードを自動調整して、被写体を最大約30倍まで明るくさせて撮影することができます。照明を点灯させたくないときなどにお使いください。

1 電源ダイヤルを「M」に合わせる

2 ナイトアイボタンを押す

- 「[ナイトアイマーク]」マークが表示されます。
- ナイトアイが働いているときは、「[ナイトアイマーク]」マークの横に「A」マークが表示されます。

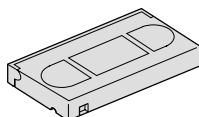
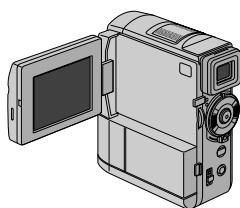
<ナイトアイをやめたいときは>

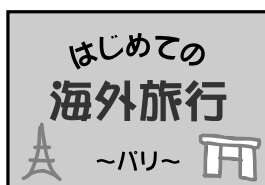
再度、ナイトアイボタンを押します。
「[ナイトアイマーク]」マークが消えます。

- ナイトアイ設定中は、働かない機能があります。この場合、その機能のアイコンが点滅、または表示されません。〔プログラムAEの一部（☞130ページ）、感度アップ（☞156ページ）、手振れ補正（☞159ページ）など〕

- 撮影した映像は、コマ落としの効果がついたようになります。
- ナイトアイが働いているときは、ピントが合いにくくなりますので三脚を使用することをおすすめします。
- ナイトアイ設定中でも被写体が明るいときは、「A」マークが表示されずナイトアイは働きません。

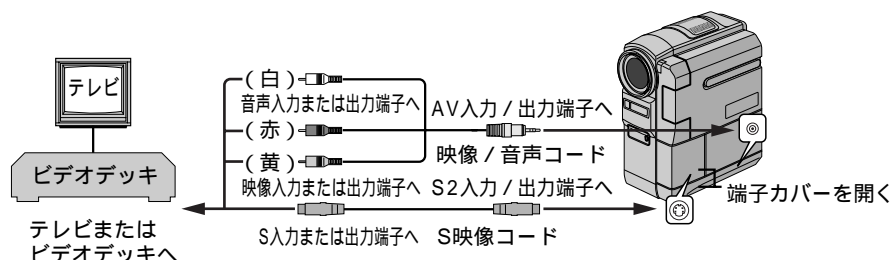
編集

撮影した映像を編集して楽しもう！

ダビングして
お友達にあげよう！

タイトルなどを入れて
オリジナルのドラマづくり！

ダビングする

本機を再生側として使う

●ビデオデッキを使ってダビングしたいとき

S映像端子付きのビデオデッキと本機をS映像コードを使ってダビングすると、より高画質の映像をダビングできます。

●S2 入力／出力端子用の端子カバーを開いた状態で液晶画面を開くときは （☞41 ページ）

●本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをおすすめいたします。

1 電源を入れない状態で

本機の AV 入力／出力端子とビデオデッキの映像／音声入力端子を映像／音声コードで接続する

● S映像コードでビデオをダビングするときは、本機の S2 入力／出力端子とビデオデッキのS入力端子を接続してください。

2 本機を再生し、ダビングしたいところで

ビデオデッキの録画ボタンを押す

● 本機またはリモコンを操作してテープを再生してください。

●ビデオデッキでダビングする前に

・ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もお読みください。

・画面に表示されるメッセージを消してダビングしてください。

・テレビの画面に表示されるメッセージは、そのままダビングされます。メッセージを消してからダビングしてください。（☞80、82、164 ページ）

●カットしたい映像があるときは

ビデオデッキの一時停止ボタンを押してダビングを一時停止させ、ダビングしたい場面がテレビや液晶画面に現われたら録画を再開してください。

●ダビングを終了したいときは

ビデオデッキの録画停止ボタンを押します。

本機を録画側として使う

● VHS テープなどから DV テープへダビングしたいとき

ビデオデッキなど、DV端子を持たないビデオ機器からビデオカメラへダビングできます。

1 電源を入れない状態で
本機の AV 入力／出力端子とビデオ機器の映像／音声出力端子を映像／音声コードで接続する（☞134 ページ）

- S 映像コードでダビングするときは、本機の S2 入力／出力端子とビデオ機器の S 出力端子を接続してください。

2 テープへ記録する録画モード（SP または LP）を選ぶ（☞ 56 ページ）

3 ビデオ機器の電源を入れる

4 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせ、電源ダイヤルを「再生」に合わせる

5 メニューダイヤルを 2 回押す

- ビデオ再生モードメニューが表示されます。

6 メニューダイヤルで「アナログ入力」を選び、ダイヤルを押す

7 メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

8 メニューダイヤルを 2 回押す

- 通常の画面に戻ります。

アナログ入力

9 撮影ボタンを押す

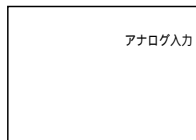
- 録画一時停止状態になり、画面に「アナログ入力」と表示されます。

再生 切 撮影 M
W T
撮影ボタン

10 ビデオ機器を再生し、ダビングしたいところで
撮影ボタンを押す

- 録画を開始し、 表示が回転します。

11 録画を止めたいときは、再度撮影ボタンを押す

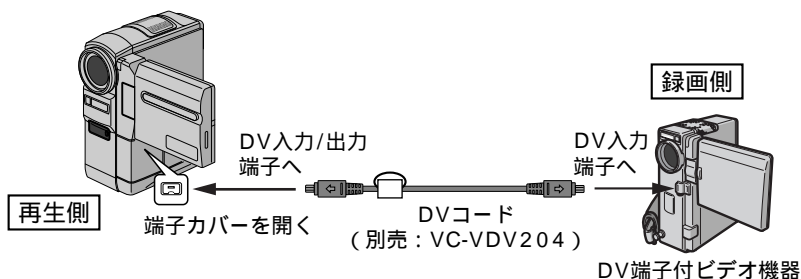
- 録画一時停止状態に戻り、 表示の回転が停止します。

ご注意
ダビング終了後は、手順❼で「アナログ入力」の設定を「切」に戻してください。
「入」のまま再生すると、ご使用のビデオ機器やテープにより映像が乱れることがあります。

- アナログ信号がデジタル信号に変換されてテープに記録されます。
- 他のビデオカメラから本機へダビングすることもできます。

デジタルダビングする

本機を再生側として使う

●DV 入力端子付きのビデオ機器へダビングしたいとき

デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。

1 電源を入れない状態で
ビデオカメラと DV 端子付ビデオ機器を DV コードで接続する

● DV コード（別売）で、本機の DV 入力 / 出力端子と DV 端子付ビデオ機器の DV 入力端子を接続してください。

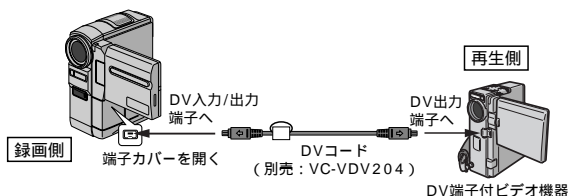
2 本機を再生し、ダビングしたいところで
DV 端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

●再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると
異常な映像が記録されたりダビングが停止することがあります。

●再生時に「場面切替」「演出効果」「デジタルズーム」「記念写真」を設定していても
DV出力端子からは、テープの通常再生映像のみ出力されます。

本機を録画側として使う

●DV 出力端子付きのビデオ機器からダビングしたいとき

デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。

●DV入力／出力端子用の端子カバーを開いた状態で液晶画面を開くときは（☞41 ページ）

●本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをおすすめいたします。

電源を入れない状態で

1 本機と DV 出力端子付きのビデオ機器を DV コードで接続する

● DV コード（別売）で本機の DV 入力 / 出力端子と DV 出力端子付きビデオ機器の DV 出力端子を接続してください。

2 テープへ記録する録画モード（SP または LP）を選ぶ（☞ 56 ページ）

3 電源ダイヤルを「再生」に合わせる

4 ビデオ機器の電源を入れる

5 撮影ボタンを押す

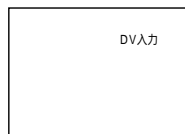
● 録画一時停止状態になり、画面に「DV 入力」と表示されます。

DV 端子付きビデオ機器を再生し、ダビングしたいところで

6 撮影ボタンを押す

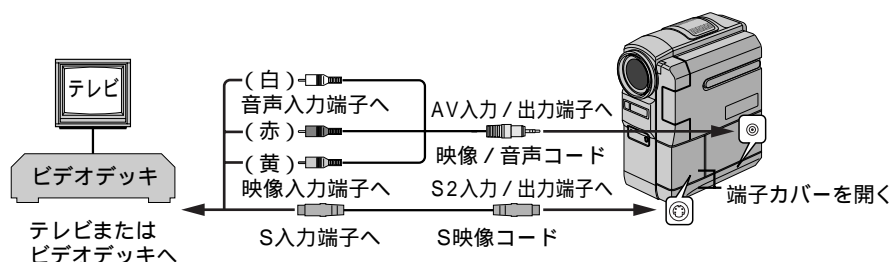
● 録画を開始し、表示が回転します。

7 録画を止めたいときは、再度撮影ボタンを押す

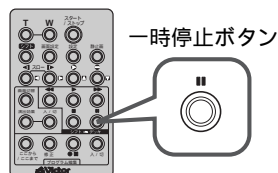
● 録画一時停止状態に戻り、表示の回転が停止します。

●再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると
異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

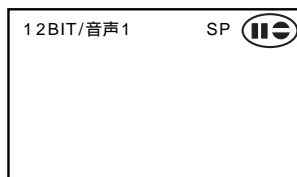
音声を加える（アフレコ編集）

●撮影したテープにナレーションを入れたいときなど

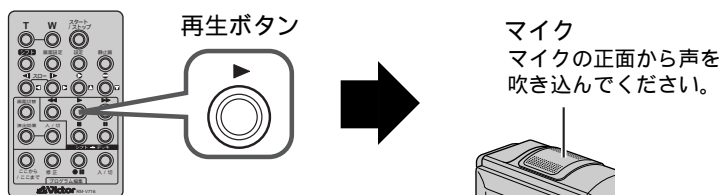
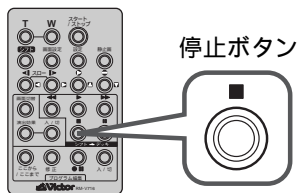
録画モードSPで、音声モードを12BITで撮影しておくと、後でオリジナルテープにナレーションなどを追加することができます。アフレコ編集は、付属のリモコン（☞48ページ）を使用して行います。アフレコ編集で効果音を挿入するときは140ページをご覧ください。

●S2入力出力端子用の端子カバーを開いた状態で液晶画面を開くときは（☞41ページ）

ビデオカメラの液晶画面を見てアフレコ編集する場合は、この接続は不要です。

1 テープを再生し、アフレコ編集したい場面でビデオカメラを一時停止する

2 リモコンのアフレコボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

● 画面にアフレコ編集アイコンが表示されます。

● アフレコ編集で吹き込んだ音声は
撮影時の音声とは別に、アフレコ編集した声がステレオ音声で記録されます。

❸ 再生ボタンを押し、ビデオカメラのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む

● アフレコ編集が始まり、吹き込んだ声が記録されます。

❹ 停止ボタンを押して、アフレコ編集を終了する

- **アフレコ編集した音声を聞きたいときは（☞78 ページ）**
- **別の場面からアフレコ編集を再開したいときは**
  リモコンの「一時停止ボタン」を押します。ビデオが静止画になります。リモコンの停止ボタンを押してアフレコ編集を終了し、アフレコ編集を再開したい場面を表示させてから再び編集を行ってください。
- **テレビから「ピー」、「ウワーン」というノイズ音が出るときは**
  テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。

- **外部機器を使ってアフレコ編集したいときは**
  外部機器をＡＶ入力/出力端子に接続して、ビデオ再生モードメニューの「アナログ入力」を「入」にしてください。（☞ 193 ページ）また、システムメニューの「音声入力切替」を「マイク / ＡＵＸ」に設定してください。（☞162 ページ）外部機器の音をヘッドホンで聞くには、ビデオ再生モードメニューの「12ＢＩＴ音声」を「音声2」にします。（☞78 ページ）
- **画面に「音声アフレコできません」と表示されたときは（☞47 ページ）**
  LPモードで撮影したテープ、16BITで音声を記録したテープ、誤消去防止用ツマミが「ＳＡＶＥ」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではアフレコ編集できません。

編集

効果音を挿入する

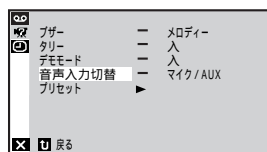
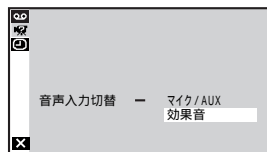
●撮影したテープに効果音をあとで挿入したいとき

メモリーカードに記録されている効果音を撮影済みのテープにあとで挿入することができます。

1 138**ページの手順❷のあとでメニューダイヤルを押す**

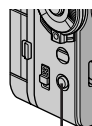
2 **メニューダイヤルで「 システム」を選び、ダイヤルを押す**

3 **メニューダイヤルで「音声入力切替」を選び、ダイヤルを押す**

- 「マイク / ＡＵＸ」、「効果音」が表示されます。

4 **メニューダイヤルで「効果音」を選び、ダイヤルを押す**

5 **メニューダイヤルを２回押す**

- アフレコ一時停止画面に戻り、効果音名が表示されます。

6 **インデックスボタンを押す**

- 効果音インデックス画面が表示されます。

❼ メニューダイヤルでお好みの効果音を選び、ダイヤルを押す

● アフレコ一時停止画面に戻ります。

❽ 再生ボタンを押してアフレコ編集をスタートする

● 効果音名の横の「♫」マークが動作しているときに、効果音が挿入されます。

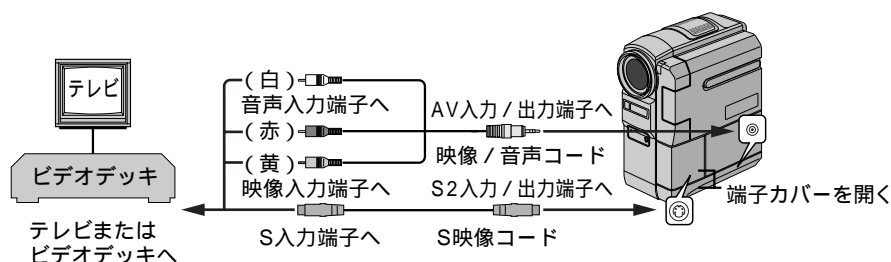
❾ 停止ボタンを押してアフレコ編集を終了する

●**アフレコ編集終了後は**
「音声入力切替」の設定を「マイク / ＡＵＸ」に戻してください。

●**アフレコ編集した音声を聞きたいときは** （☞78 ページ）

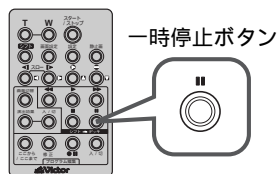
映像を入れかえる（インサート編集）

●撮影したテープにタイトルなどを入れたいとき

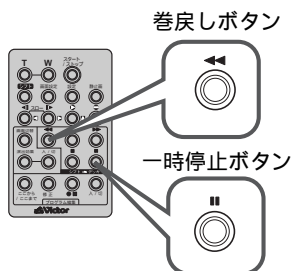
録画モード SP で撮影済みのテープに、後でタイトルなど別の場面を挿入することができます。タイトルを書いた紙などを用意してからインサート編集を行ってください。インサート編集は付属のリモコン（☞48 ページ）を使用して行います。

こんなときに
●S 2 入力／出力端子用の端子カバーを開いた状態で液晶画面を開くときは（☞41 ページ）

ビデオカメラの液晶画面を見てインサート編集する場合は、この接続は不要です。

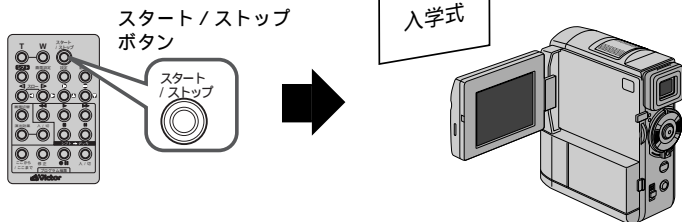
1 テープを再生し、インサート編集を終える場面でビデオカメラを一時停止する

● 終える場面のタイムコードを確認してください。タイムコード表示が出ていないときは（☞82 ページ）

2 インサート編集を開始する場面までビデオカメラを巻き戻し、一時停止ボタンを押す

こんなときに
●インサート編集中、映像に変化をつけたいときは（☞130 ページ）

●インサート編集すると、オリジナルの映像は上書きされてなくなります。

❸ リモコンのインサートボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

● 画面にインサート編集アイコンが表示されます。

❹ インサートするタイトルなどをカメラに映るようにしてリモコンの「スタート／ストップ」ボタン（またはビデオカメラの撮影ボタン）を押す

❺ リモコンのスタート / ストップボタンを押して、手順 ❶ で確認したタイムコードの位置でインサートを終了する

❻ リモコンの停止ボタン（■）を押して、インサート編集を終了する

●画面に「インサート録画できません」と表示されたときは（☞47 ページ）
LP モードで撮影したテープ、誤消去防止用ツマミが「SAVE」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではインサート編集できません。

編集

ビデオを自動で編集する（自動編集）

●好きな場面を選んでビデオデッキに自動でダビングしたいとき

撮影済みのビデオの中からお好きな場面を 8 場面まで選んで、ビデオデッキのテープに自動的にダビングすることができます。あらかじめアフレコ編集（☞138 ページ）してあるビデオを編集すると、テレビドラマや映画のようなビデオを作成することができます。編集する場面と場面の間に場面切替効果（☞128 ページ）を挿入したり、プログラム AE（☞130ページ）を使って映像そのものに変化をつけることもできます。自動編集は、ビデオカメラ、および付属のリモコン（☞48ページ）とご家庭のビデオデッキを接続して行います。

ビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する

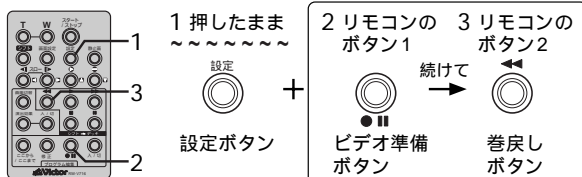
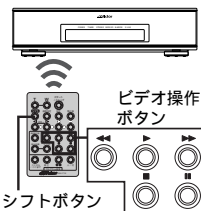
自動編集では、付属のリモコンを使用してご家庭のビデオデッキを操作します。ここでは、自動編集を行う前に、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する方法を説明します。ビデオデッキをリモコンに登録しておくと、自動編集以外でもリモコンでご家庭のビデオを操作できるようになります。

1 ビデオデッキの電源を切る

2 ご使用のビデオデッキのメーカー名を確認する

3 設定ボタンを押したまま「メーカー別リモコン設定表」（次ページ）に対応したボタンを順番に押す

- ビデオデッキの電源が入れば設定終了です。
- 同じメーカーでも信号の種類は複数あります。
- 「リモコン信号①」でビデオデッキが反応しないときは、「リモコン信号②」「リモコン信号③」…の順でボタンを押してください。

例：ビクター（リモコン信号①）の場合

リモコンメーカー設定表

メーカー名	リモコン信号	リモコンのボタン1	リモコンのボタン2
ビクター	①	●II（ビデオ準備）	◀◀（巻戻し）
	②	●II（ビデオ準備）	■（停止）
	③	●II（ビデオ準備）	（シフト）
アカイ	①	■（停止）	▶▶（早送り）
	②	■（停止）	▶（再生）
	③	（ここから/ここまで）	（ここから/ここまで）
サンヨー	①	■（停止）	▶（再生）
	②	（シフト）	II（一時停止）
	③	（シフト）	（プログラム編集入/切）
	④	（ここから/ここまで）	●II（ビデオ準備）
シャープ	①	◀◀（巻戻し）	II（一時停止）
	②	◀◀（巻戻し）	（プログラム編集入/切）
ソニー	①	■（停止）	II（一時停止）
	②	■（停止）	（プログラム編集入/切）
	③	（シフト）	●II（ビデオ準備）
	④	（シフト）	◀◀（巻戻し）
東芝	①	■（停止）	●II（ビデオ準備）
	②	■（停止）	◀◀（巻戻し）
NEC	①	（シフト）	（ここから/ここまで）
	②	（シフト）	（修正）
日立	①	■（停止）	■（停止）
	②	■（停止）	（シフト）
フナイ	①	（ここから/ここまで）	（シフト）
松下	①	◀◀（巻戻し）	（シフト）
	②	◀◀（巻戻し）	（ここから/ここまで）
	③	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
	④	●II（ビデオ準備）	▶（再生）
	⑤	◀◀（巻戻し）	（修正）
三菱	①	■（停止）	（ここから/ここまで）
	②	■（停止）	（修正）
LG	①	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
SAMSUNG	①	●II（ビデオ準備）	▶（再生）

● **乾電池の容量がなくなったときは**
設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。乾電池を交換してメーカー設定をやり直してください。

● **リモコンでビデオデッキを操作できないときは**
機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

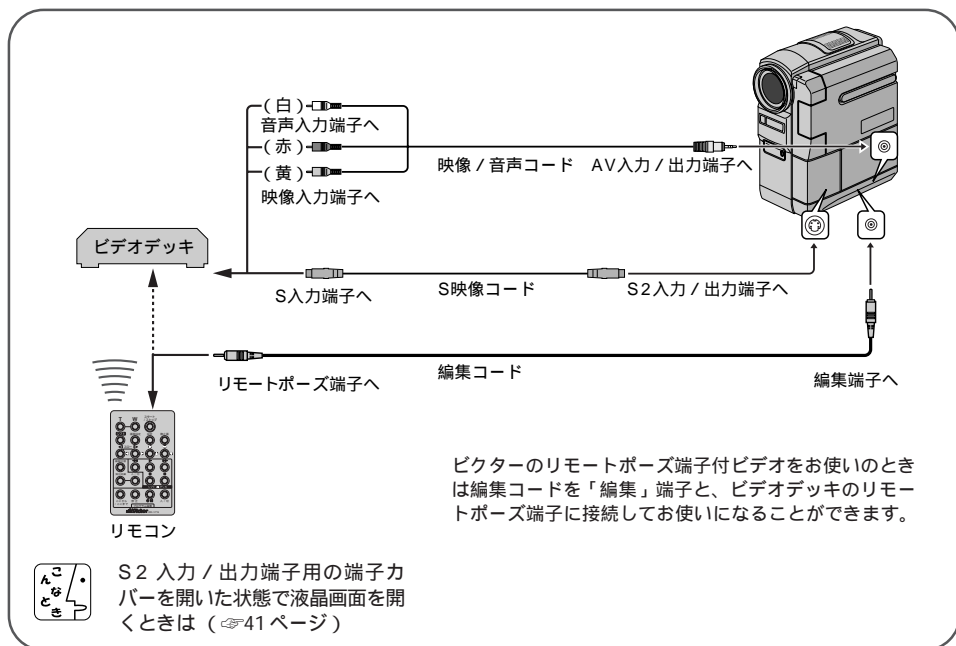
編集

ビデオを自動で編集する

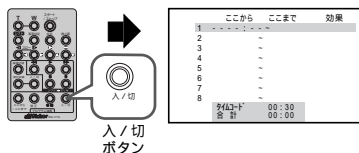
好きな場面を選んでダビングする

（白）
音声入力端子へ
（赤）
（黄）
映像入力端子へ
映像／音声コード
AV入力／出力端子へ
ビデオデッキ
S入力端子へ
S映像コード
S2入力／出力端子へ
リモートポーズ端子へ
編集コード
編集端子へ
リモコン

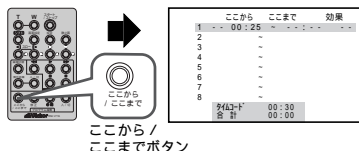
ビクターのリモートポーズ端子付ビデオをお使いのときは編集コードを「編集」端子と、ビデオデッキのリモートポーズ端子に接続してお使いになることができます。

こんなとき
●S２ 入力／出力端子用の端子カバーを開いた状態で液晶画面を開くときは（☞41 ページ）

1 リモコンをビデオカメラのリモコン受光部に向けてビデオカメラを再生し

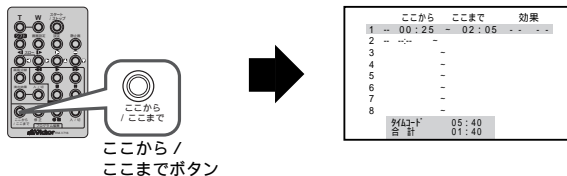
自動編集の「入 / 切」ボタンを押す

● 液晶画面に自動編集表示画面が表示されます。

2 編集を開始したい場面で

リモコンの「ここから / ここまで」ボタンを押す

● ビデオカメラの液晶画面やテレビに編集開始場面のタイムコードが表示されます。

●場面の撮り始めに変化を付けたいときは（☞128 **ページ**）
リモコンの場面切替ボタンを押します。ボタンを押すたびにカウンターの左側に表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押してください。
場面切替が設定されていないときは「－－」が表示されます。

❸ 編集を終了したい場面で リモコンの「ここから / ここまで」ボタンを押す

● ビデオカメラの液晶画面やテレビに編集終了場面のタイムコードが表示されます。

●場面の録り終わりに変化を付けたいときは（☞128 **ページ**）
リモコンの場面切替ボタンを押します。ボタンを押すたびにカウンターの右側に表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンをくり返し押してください。録り終わりの場面切替効果を決めると、次の編集開始映像が自動的に録り終わりの場面切替効果で始まります。また、場面の録り終わりで場面切替効果を使用すると､編集終了時点からフェードアウトやワイプアウトを行うため、その時間がビデオの編集時間に加算されます。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。場面切替が設定されていないときは「－－」が表示されます。

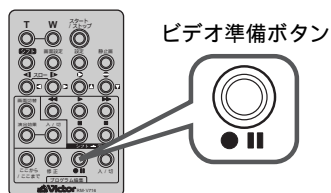
●映像そのものに変化を付けたいときは（☞130 **ページ**）
リモコンの演出効果ボタンを押します。ボタンを押すたびに「効果」の下に表示される演出効果アイコンが変わります。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。演出効果が設定されていないときは「－－」が表示されます。

❹ 手順❷、❸を繰り返して自動編集したい場面を登録する

編集

5 最初に登録した場面1の編集開始点の前までビデオカメラのテープを巻き戻し、ビデオカメラを再生一時停止する

6 ビデオデッキのリモコン受光部に向けて リモコンのビデオ準備ボタン（●II）を押す

- ビデオデッキが録画一時停止になります。一時停止にならないときは、手動でビデオデッキを操作して録画一時停止にしてください。

7 ビデオカメラの撮影ボタンを押す

- 自動編集が始まり、指定した場面を最後まで自動的にダビングします。ダビングが終了するとビデオカメラが一時停止し、ビデオデッキは録画一時停止状態になります。

8 ビデオカメラとビデオデッキを停止させ、編集を終了する

- **画面に表示されるメッセージを消して自動編集してください**
  テレビの画面に表示されるメッセージは、自動編集でもそのまま記録されます。メッセージを消してから自動編集してください。（☞80、82、164ページ）
  （自動編集表示は自動編集をスタートすると消え、ビデオには記録されません）。
- **各場面のタイムコードとタイムコードの合計時間は**
  編集開始場面と終了場面のタイムコードには1秒以下の数値（フレーム）が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。
- **ダビング中のリモコンの位置は**
  ビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。

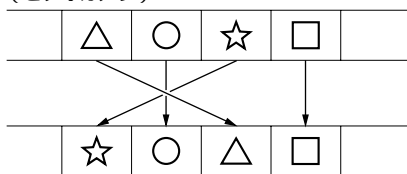
●**こんなときは自動編集できません**
・同じタイムコード（☞83 ページ）が 2 つ以上存在するテープでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
・編集終了場面のタイムコードの値が編集開始場面の値より小さいときは自動編集できません。
・編集終了場面と開始場面までの早送り時間がビデオデッキの一時停止可能時間（当社の場合約5分以内）を超えるときは、自動編集できません
・リモコンのプログラム編集入/切ボタンを押して「切」にしたときは、自動編集に登録した内容すべてが消えてしまいます。
・編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック（青い画面）を記録してしまうことがあります。
・自動編集中にビデオカメラを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。

●**自動編集の登録場面を修正したいときは**
リモコンの「修正ボタン」を押します。ボタンを押すたびに最後から登録場面が消去されます。

●**編集終了場面を決めずにダビングしたときは**
ビデオの最後まで自動的にダビングします。

知っておきたい自動編集のしくみ

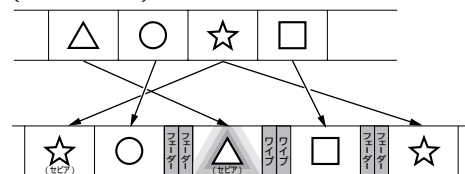
普通に自動編集したときは

撮影済みのビデオの中から最大8つまでの場面を指定して、お好きな順番に並べ替えてダビングすることができます。普通に自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

撮影済みテープ
（ビデオカメラ）

編集済みテープ
（ビデオデッキ）

場面切替や演出効果を入れて自動編集したときは

自動編集するビデオの最初と終わりに場面切替を入れたり、映像そのものに演出効果を付けてダビングすることができます。場面切替や演出効果を入れて自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

撮影済みテープ
（ビデオカメラ）

編集済みテープ
（ビデオデッキ）

より正確に自動編集する（シンクロ補正）

●録画タイミングの誤差を補正したいとき

ビデオデッキには録画タイミングの早いものと遅いものがあります。自動編集（☞144ページ）でビデオカメラとビデオデッキを同時にスタートさせてもそれぞれ動き出すタイミングが異なるため、余計な場面をダビングしてしまったり、必要な場面をダビングできなかったりすることがあります。そんなときはビデオカメラ側でビデオデッキの録画タイミングの誤差を補正してから再度自動編集を行ってください。

録画タイミングのズレを確認する

任意の場面を自動編集してみて、ビデオカメラのビデオ再生開始タイミングとビデオデッキの録画開始タイミングのズレを確認します。

1 適当な場面を 1 場面だけ自動編集する

- 録画タイミングのズレを確認するだけなので、自動編集の指定は 1 場面だけでかまいません。自動編集する場面は、録画タイミングのズレがわかりやすいように場面が切り替わっている場面を指定してください。

2 ダビングしたテープを巻き戻し、再生する

- 指定した編集開始場面よりも前の場面が録画されているときは、ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも先にビデオデッキが録画を開始しています。
- 指定した編集開始場面よりも後の場面から録画されているときは、ビデオカメラのビデオ再生開始時点よりも後にビデオデッキが録画を開始しています。

このようなときは録画タイミングのズレを補正する必要があります。

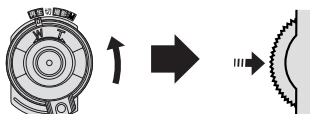
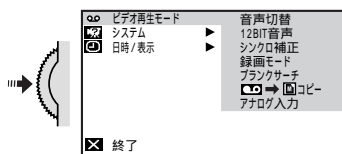
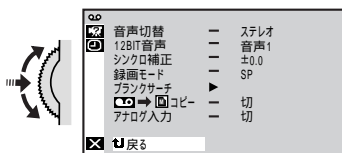
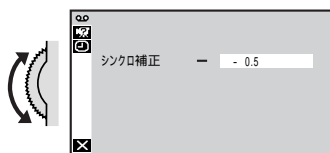
●自動編集を行う前に
数回自動編集のテストを行って補正値が適切であることを確認してから、最終的な自動編集を行ってください。

●補正しても録画タイミングが合わないときは
ビデオデッキによっては、録画タイミングのズレを補正しきれないことがあります。ご了承ください。

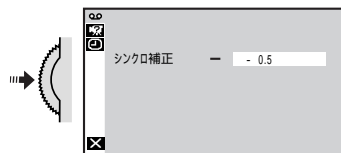
録画タイミングのズレを補正する

「録画タイミングのズレを確認する」（☞150ページ）でビデオカメラのビデオ再生開始タイミングとビデオデッキの録画開始タイミングのズレがあったときは、録画タイミングのズレを補正します。

1 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

2 電源ダイヤル「再生」で、メニューダイヤルを押す

3 メニューダイヤルを押す

4 メニューダイヤルで「シンクロ補正」を選び、ダイヤルを押す

5 メニューダイヤルで「シンクロ補正」の数値を設定する

−1.3〜＋1.3秒まで、0.1秒単位で補正値を設定することができます。

- ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも先にビデオデッキが録画を開始しているときは、マイナス（−）の値を設定します。
- ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも後にビデオデッキが録画を開始しているときは、プラス（＋）の値を設定します。

6 メニューダイヤルを押す

7 メニューダイヤルを2回押す

- メニューを終了し、通常の画面に戻ります。

知って得する ビデオ撮影のコツ

一生の思い出になるように演出しましょう

ポイント 1
式次第を事前に確認し、司会者と打ち合わせをして式の流れを把握しておきます。

ポイント 2
会場を下見して、広さや照明、明るさ、電源などをチェックしておきます。

ポイント 3
長時間の撮影になるので、ACアダプターや三脚などを用意しておきます。

結婚式編

1 会場

フェードインなどを利用して会場の入口や立て札を撮影しましょう。

2 入場シーン

入場の少し前から撮影をスタート。入場の瞬間をしっかり狙います。

3 来賓の様子

新郎・新婦だけではなく、来賓の喜びの表情なども撮影しておきます。

4 ケーキカット

ウエディングケーキに入刀の際は、手元のアップも忘れずに。

5 余興

余興はズームアウトした全体イメージと、表情のアップを撮ります。

6 キャンドルサービス

ローソクのアップ、２人の表情、手元のアップ、来賓の顔などを撮ります。

7 花束贈呈

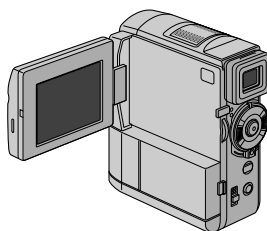
花束のアップ、受け取っている様子、父親の涙などをズームインして。

8 送賓（お見送り）

お送りしている２人の表情からフェードアウトしてエンド。

パソコン

パソコンに画像を取り込んで楽しもう！

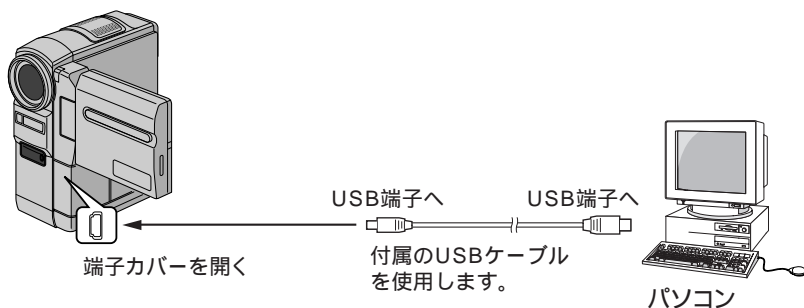
パソコンにつないで
静止画や動画をメールで送ったりして楽しもう！

パソコンにつなぐ

●静止画または動画を取り込みたいとき

本機に付属のパソコン接続キット（CD-ROM、USBケーブル）を使用するとメモリーカードに記録した静止画や動画をパソコンに取り込むことができます。

USB端子へ　USB端子へ

端子カバーを開く

付属のUSBケーブルを使用します。

パソコン

ご注意

●本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをおすすめします。

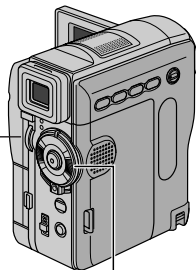
●日時情報などは、パソコンに取り込むことができません。
●パソコン、パソコン接続キットの取扱説明書もご覧ください。

メニュー
設　定

メニューの設定を変更しよう

フルオートメニューについて

電源ダイヤルでⓂを選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。

設定内容は、電源ダイヤルが「撮影」および「Ⓜ」の両方で働きます。

項　目	設定内容	機　能	参　照
録画モード テープの撮影時間が1.5倍になる	SP	アフレコ編集とインサート編集を可能にする	☞138 ☞142
	LP	撮影時間をSPモードの1.5倍にする	☞56
音声モード アフレコ可能なモードで録音する	12BIT	アフレコ編集を可能にする	☞138
	16BIT	高音質で録音する	
ズーム ズーム倍率の上限を設定する	10倍	光学ズーム（画質が劣化しない）	☞68
	40倍	デジタルズーム	
	200倍	デジタルズーム	
記念写真モード 静止画の演出方法を設定する	フル	全面に静止画を表示する	☞70
	ピンナップ	白フチと影をつける	
	フレーム	白フチをつける	
感度アップ 撮影の感度を設定する	切	自然のままの明るさにする	☞157
	AGC	電気的に感度を上げる	
	オート A	シャッタースピードの調整で感度を上げる	

• お買い上げ時の設定値は、　　　で表示してあります。

補足説明

録画モード

・本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをおすすめします。他のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。
・ビデオ再生モード設定メニューにある「録画モード」でも「SP」、「LP」の設定を切り替えることができます。

音声モード

・アフレコ編集をするには、あらかじめ「12BIT」に設定して撮影してください。一方、「16BIT」に設定すると、より高音質で録音できます。
・どちらのモードでも、ステレオで録音されます。

ズーム

・10倍まではレンズの機能で映像をズームしますが、10倍以上は映像をデジタル処理してズームするため、映像品質が少し劣化します。

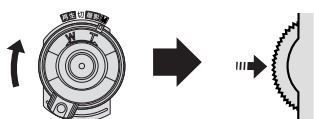
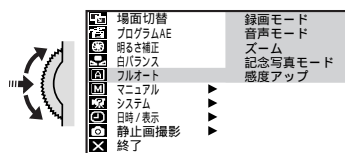
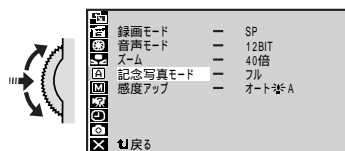
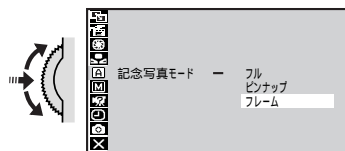
感度アップ

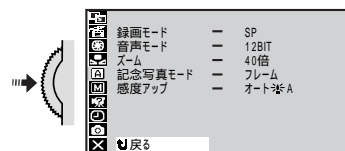
・「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。
・「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし、被写体の動きは多少不自然になります。

フルオートメニューの設定方法

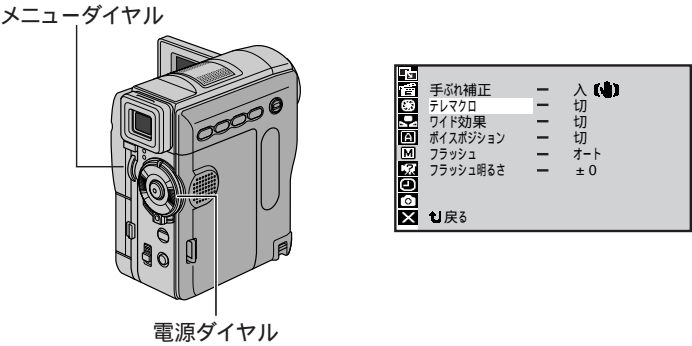
例）「記念写真モード」を「フレーム」に変更する

1 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニューが表示されます。

2 メニューダイヤルで「Aフルオート」を選び、ダイヤルを押す

3 メニューダイヤルで「記念写真モード」を選び、 ダイヤルを押す

4 メニューダイヤルで「フレーム」を選び、ダイヤルを押す

5 メニューダイヤルを 2 回押す

● 撮影画面に戻ります。

マニュアルメニューについて

電源ダイヤルで Ⓜ を選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。

設定内容は、電源ダイヤルが「Ⓜ」のときのみ働きます。

項　目	設定内容	機　能	参　照
手ぶれ補正	**切**	—	☞160
手ぶれ補正をやめる	**入**	**手ぶれで映像が振れない**	
テレマクロ	**切**	**T側（望遠側）で1mまで接近可能**	☞68
接写を設定する	**入**	**T側（望遠側）で60cmまで接近可能**	
ワイド効果	**切**	—	☞160
ワイドテレビに合わせた画面にする	**シネマ**	**映画風に上下に黒い帯が入る**	
	ワイド	**ワイドテレビと同じ横長の画面になる**	
	ワイドエリア	**撮影できる範囲が広がる**	
ボイスポジション	**切**	**自然な音声を録音する**	—
録音される雑音を軽減する	**入**	**風による雑音を軽減して録音する**	
フラッシュ	**オート**	**暗いときは自動的に発光する**	☞122
	オート	**赤目現象を防ぐ**	
	入	**常に発光する**	
	切	**常に発光しない**	
フラッシュ明るさ	**±0**	**フラッシュの明るさを増減できる**	☞123
	（−3〜+3）		

- お買い上げ時の設定値は、　　　で表示してあります。
- 電源ダイヤルが「撮影」のときは　　　の設定で動作します。

次ページへつづく

メニュー設定

マニュアルメニューについて

補足説明

手ぶれ補正

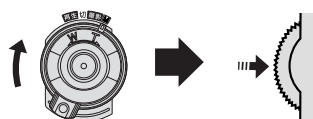
- **デジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。**
- **「フルオート」モードの手ぶれ補正は**
  「手ぶれ補正」を「切」に設定していても、自動的に「入」になります。
- **三脚などでビデオカメラを固定して撮影するときは**
  「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。
- **手ぶれが大きいときやコントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るときは**
  補正できないことがあります。
- **映像をデジタル処理する機能と同時に使えないものがあります。**
- **手ぶれ補正が働かないときは**
  「(✋)」表示が点滅、または表示が消えます。

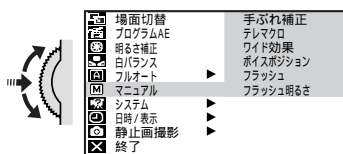
ワイド効果

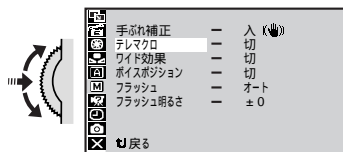
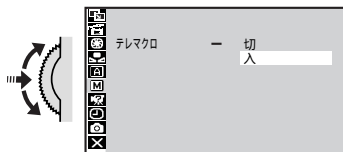
- **普通のテレビ（画面比率 4:3）やファインダー、液晶画面で見るときは**
  ワイド映像は、撮影時、再生時ともに縦長の映像が映ります。シネマ映像は、撮影時、再生時ともに上下に黒い帯が入った映像が映ります。
- **ワイドテレビで再生するときは**
  ワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。本機のS2入力／出力端子をＳ映像コードでワイドテレビに接続してください。テレビのS2端子に接続すれば、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。S1 端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側にS2またはS1端子がないときは、Ｓ端子に接続してください。自動判別はできません（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。
- **ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときは**
  ワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。
- **ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは**
  早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像を判別できません。
- **ワイドエリア**
  ワイドエリアに設定したあと、ズームダイヤルを「W」側に動かしてください。
  ワイドコンバージョンレンズを使用しなくても広角側 0.9 倍のワイド撮影ができます。
  室内などの狭いところでも、撮影範囲が広がります。このモードでは、手ぶれ補正が働きません。

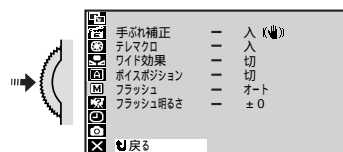
マニュアルメニューの設定方法

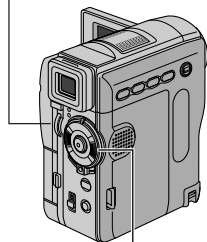
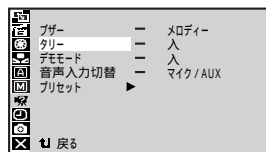
例）「テレマクロ」を「入」に変更する

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「M マニュアル」を選び、ダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルで「テレマクロ」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。

❹ メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルを 2 回押す

● 撮影画面に戻ります。

システムメニューについて

電源ダイヤルで M を選択しているときにメニューダイヤルを押して、撮影設定を変更する方法を説明します。設定内容は、電源ダイヤルが「撮影」および「M」の両方で働きます。

項　目	設定内容	機　能	参　照
ブザー **操作音を消す**	**切**	**操作音を消す**	—
	ブザー	**一部の操作のみ音を出す**	
	メロディー	**操作するごとにメロディー音を出す**	
タリー **撮影中ランプを消す**	**切**	**ランプを消す**	—
	入	**撮影中にランプが点灯する**	
デモモード **演出効果などを** **デモンストレーションで確認する**	**切**	**デモンストレーション表示をやめる**	☞16
	入	**カセットが入っていないときにデモンストレーションを表示する**	
音声入力切替 **アフレコ時に効果音を入れる**	**マイク／AUX**	**ビデオカメラ内蔵のマイクや外部のオーディオ機器から入力**	☞138
	効果音	**メモリーカードの効果音を入力**	☞139
プリセット **メニューの設定をすべて最初に戻す**	**キャンセル**	—	—
	実行	**メニューの設定をすべて最初に戻す**	

• お買い上げ時の設定値は、　　　で表示してあります。

補足説明

タリー

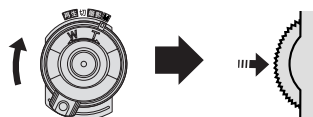
・「入」のとき、撮影中は撮影中ランプが点灯します。
・「切」のとき、撮影中でも撮影中ランプは点灯しません。

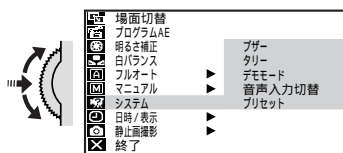
デモモード

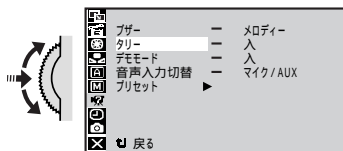
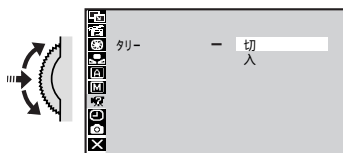
・ カセットテープを入れずに電源を入れ、「デモモード」を「入」にすると、画面にビデオカメラの機能デモを表示します。（☞16 ページ）
・ デモモード表示中にズームスイッチを動かすなどの操作をすると、デモモードを一時的に中断します。その後約 3 分間、なんの操作もしないとデモモードが再開します。

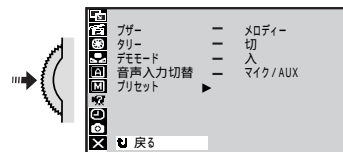
システムメニューの設定方法

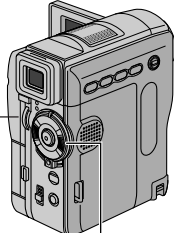
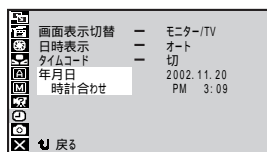
例）「タリー」を「切」に変更する

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「システム」を選び、ダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルで「タリー」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。

❹ メニューダイヤルで「切」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルを 2 回押す

● 撮影画面に戻ります。

日時／表示メニューについて

電源ダイヤルでⓂまたは 再生 を選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの画面に表示されるメッセージの表示方法や日時を変更する方法を説明します。

項　目	設定内容	機　能	参照
画面表示切替	モニター	TVやビデオデッキに、画面の表示を出力しない	–
	モニター/TV	TVやビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する	
日時表示	切	表示しない	☞80
	オート	電源を入れたときや再生を始めたときなどに5秒間のみ表示する	
	入	常に表示する	
タイムコード	切	表示しない	☞82
	入	表示する	
年月日時計合わせ	年月日、時刻	日時を設定する（「Ⓜ」に設定したときのみ設定可能）	☞165

• お買い上げ時の設定値は、　　　で表示してあります。

補足説明

画面表示切替

・ダビングや編集を行うときに画面の文字などの余分な表示を消すために設定します。

日時表示

・日時表示を「入 / 切」するときに設定します。（☞80 ページ）
・日時表示を表示すると記録した日時がわかるので便利です。

タイムコード

・タイムコード表示を「入 / 切」するときに設定します。（☞82 ページ）

年月日時計合わせ

・ご購入時は、日時が設定されています。海外旅行、時刻がずれたときなどに設定しなおします。（☞165 ページ）

●「日時を設定してください！」が表示されたときは、時計用電池（内蔵）がなくなっています。本機にバッテリーやＡＣアダプターなどの電源を 24 時間以上接続してください。時計用電池が充電されます。

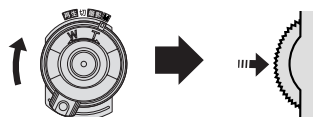
●「画面表示切替」、「日時表示」、および「タイムコード」の設定は電源ダイヤルを「撮影」にしたときも働きます。

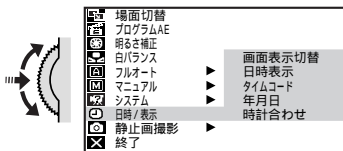
●「日時表示」の設定（入/切）はリモコンの「画面表示」ボタンでも切り替えることができます。

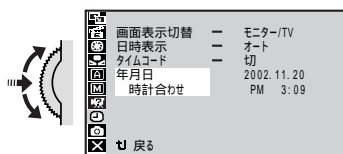
日時／表示メニューの設定方法

例）年月日と時計を合わせる

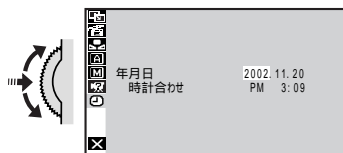
❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「🕘 日時／表示」を選び、ダイヤルを押す

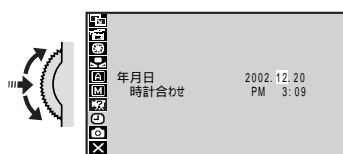
● 電源ダイヤルが「再生」のときは、「年月日時計合わせ」が表示されません。

❸ メニューダイヤルで「年月日時計合わせ」を選び、ダイヤルを押す

● 年が変更できるようになります。

❹ メニューダイヤルを回して正しい年に合わせる

● 数値を大きくする→「＋」側

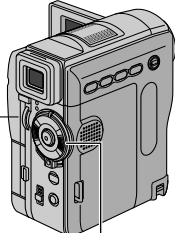
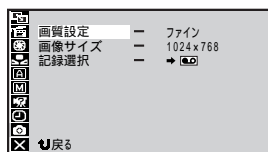
● 数値を小さくする→「ー」側

❺ メニューダイヤルを押す

● 月が変更できます。

❻ 同様に❹～❺を繰り返して月日と時刻を合わせてメニューダイヤルを押す

❼ メニューダイヤルで「戻る」を選び、ダイヤルを 2 回押す

● 通常画面に戻ります。

静止画撮影メニューについて

電源ダイヤルでⓂを選択しているときにメニューダイヤルを押して、静止画の撮影設定を変更する方法を説明します。

項　目	設定内容	機　能	参照
画質設定 静止画の画質を設定する	ファイン	高画質で撮影する	☞59
	スタンダード	標準画質で撮影する	
画像サイズ 静止画の画像サイズを設定する	640×480	数値が大きくなるほど画像サイズが大きくなる	☞59
	1024×768		
	1280×960		
記録選択 静止画の記録方法を設定する	➡	静止画（記念写真）撮影時、テープのみに記録する	☞70
	➡ / ➡Ⓜ	静止画（記念写真）撮影時、テープとメモリーカードの両方に記録する	

・お買い上げ時の設定値は、　　　で表示してあります。

補足説明

画質設定

・モードによって撮影可能枚数が異なります。おおよその残り撮影枚数が画面右上に表示されます。（☞89 ページ）

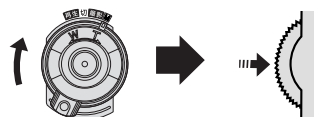
・使用するメモリーカードや撮影した被写体の画像内容などによって、撮影可能枚数は変化します。

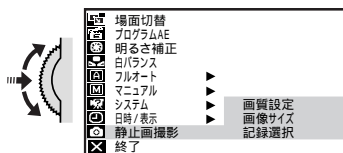
記録選択

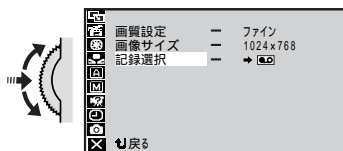
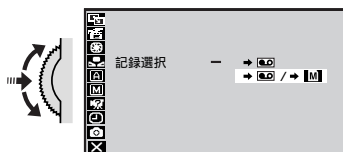
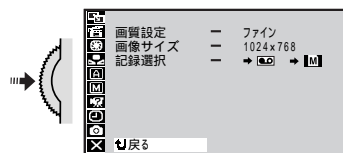
・ビデオ／メモリースイッチが「ビデオ」で静止画（記念写真）を撮影するとき、静止画をメモリーカードにも記録するかどうかを選択します。ビデオカメラにテープが入っていないときには、メモリーカードにのみ記録されます。また、「➡／➡Ⓜ」を選択すると連写はできません。
（☞71 ページ）

静止画撮影メニューの設定方法

例）「記録選択」を「➡📼／➡Ⓜ」に変更する

❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「📷 静止画撮影」を選び、ダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルで「記録選択」を選び、ダイヤルを押す

●「➡📼」と「➡📼／➡Ⓜ」が表示されます。

❹ メニューダイヤルで「➡📼/➡Ⓜ」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルを 2 回押す

●撮影画面に戻ります。

他

故障かな？と思ったら
安全上のご注意など

⚠危険
⚠警告
⚠注意

故障かな？と思ったら

このビデオカメラはマイコンを使用しています。
雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはビデオカメラから電源（バッテリー、AC アダプターなど）をはずし、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源	電源が入らない	● 電源は正しく接続されていますか？ ● バッテリーは充電されていますか？	54 52
撮影中	撮影できない	● テープの誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっていませんか？ ●「テープおわり」になってませんか？ ● 電源ダイヤルが 再生 になっていませんか？ ● カセットカバーが開いていませんか？	183 46 40
	映像が出ない	● 電源をもう一度入れ直してみてください 。	—
	メニューダイヤルの機能が使えない	● 電源ダイヤルを M にしてください。	—
	自動でピントが合わない	● 電源ダイヤルを 撮影 にしてください。M のまま撮影するときは「フォーカス」ボタンを押してマニュアルフォーカスを解除してください。 ● 暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ ● レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？	124 124 185
	撮影中、液晶画面に日時が出ない	●「日時表示」を「切」にしていませんか？	80、164
	撮影したビデオの縦に明るい線が出る	● 強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？　被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。	—
	太陽光が映ると、画面が一瞬赤くなったり、黒くなったりする	● 故障ではありません。	—
	記念写真で撮影した画像の色がおかしい	● 照明の色や被写体に白い部分がない場合または被写体の背後にいろいろな光源がある場合に色がおかしくなるときがあります。	—

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	デジタルズームできない	●「ズーム」が「10倍」に設定されているときは10倍ズームまでしかできません。 ● ビデオ／メモリースイッチが「メモリー」になっているときは、10倍ズームまでしか使えません。	156
	手振れ補正が働かない	● 手振れ補正が「切」になっていませんか？ 「入」にしてください。	159
	「プログラムAE」や「場面切替」機能が使えない	● 電源ダイヤルを Ⓜ にしてください。	40
	「白バランス」が設定できない	●「プログラムAE」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択していませんか？	131
	液晶画面の映像が暗い、または白くなる	● 液晶画面の角度や明るさを調節してください。 ● 寒い場所で再生していませんか？　寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 ● 液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	62 — — —
	液晶画面の裏側が熱くなる	● 液晶画面を長時間使用していませんか？　長時間使用すると、液晶画面裏の蛍光管が温かくなります。液晶画面を切るか電源を切ってしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面に表示ムラが出る	● 液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？　液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面のアイコン表示が点滅する	●「場面切替」「プログラムAE」「手ぶれ補正」機能のうち、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅します。	128 130 159
	「ツユが付きました」と表示される	● 表示が消えるまで1時間以上お待ちください。メッセージが消えてから使用してください。	174
	「ヘッドが汚れています」と表示される	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	173

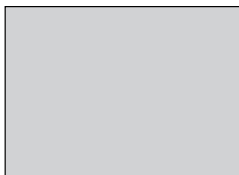
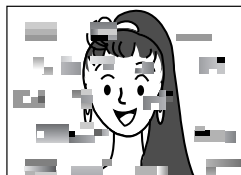
他

故障かな？と思ったら

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
再生中	液晶画面の映像が乱れる	● テープの無記録部分の再生、高速再生、および静止画再生中は液晶画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	テープの再生、巻戻し、早送りができない	● 電源ダイヤルが 撮影 M になっていませんか？	40
	テープは回っているが再生されない	● カセットカバーが開いていませんか？ ● テレビのチャンネルがビデオ用になっていますか？	55 76
	映像にモザイク状のノイズが出る	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	173
	映像が映らず青い画面になる	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	173
	メモリーカードの再生ができない	● ビデオ/メモリースイッチが「ビデオ」になっていませんか？	90
その他	液晶画面に「E01」または「E02」、「E06」と表示される	● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。バッテリーと電源を取り外してつけなおし表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。また、テープに傷が付きますのでテープは取り出さないでください。	47
	液晶画面に「E03」または「E04」と表示される	● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。テープを取り出していれなおし表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。	47
	液晶画面に映像が表示されない	● 液晶画面の明るさを調節してみてください。	62
	テープが入らない	● テープの向きが間違っていませんか？ ● バッテリーの容量が少なくなっていませんか？	55 46
	プリンターで印刷したら画面の下に黒い線が出る	● 故障ではありません。 手振れ補正「入」で撮影すると、黒い線は出なくなります。	—
	液晶画面とファインダーに黒、赤、青、緑の点が出る	● 故障ではありません。	182
	ファインダー内にゴミが入っている	● 市販のレンズブロワーでごみを取ってください。	185
	DVコードで接続しているとき、操作ができない	● 電源が入った状態でDVコードを抜き差ししませんでしたか？ 一度電源を切り、接続をやり直してから操作してください。	—
	メモリーカードが入らない	● メモリーカードの向きを確かめてください。	58
	メモリーカードが出てこない	● メモリーカードを2～3回押してみてください。	58
	メモリーカードの画像を削除できない	● プロテクトを解除してください。	106

再生中の映像にノイズが出たら

ビデオカメラを使用していると、ヘッドに空気中のほこりやちりが付着します。また、傷のあるテープを使用したときにテープの磁性粉がはがれてヘッドに付着したりします。ヘッドが汚れると次のような症状が出ます。

・撮影中に「⊗ヘッドが汚れています」と表示される
・撮影しても映像が正常に記録されない
・再生しても音や映像が出ない（青い画面になる）
・再生すると、映像がモザイク画（ブロック状のノイズ）になる
・再生すると、映像に黒色やモザイク画の横しまが出る

このようなときは、別売のデジタルビデオヘッドクリーナー（M-DVSCL）テープをビデオカメラで再生して、ヘッドを清掃してください。清掃が終わったら、撮影・再生して上記の症状が消えていることを確認してください。

M-DVSCL を長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。（ビデオカメラで M-DVSCL を再生すると、10 秒後に自動的に再生を停止します）

詳しくは M-DVSCL の取扱説明書をご覧ください。

●**M-DVSCL でクリーニングしても鮮明な映像が映らないときは**
ヘッドが摩耗しています。または、テープに傷があります。お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口（☞188 ページ）にご相談ください。

●**定期点検を行ってください**
ヘッドやテープを動かす機械部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりします。ビデオカメラの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間 1000 時間を目安に定期点検に出されることをおすすめします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口（☞188 ページ）にご相談ください。

「ツユが付きました」と表示されたら

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」と言います。ビデオカメラでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼り付いてしまいます。

■ つゆつきはこんなときに起こります

・ビデオカメラを寒いところから急に暖かいところに移動したとき
・湿気の多い場所でビデオカメラを使用しているとき
・暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たるとき

■ つゆつきが発生すると

・液晶画面に「ツユが付きました」と「しばらくお待ち下さい」が交互に表示され、ビデオカメラが停止します。カセットの出し入れはしないでください。
・通常、つゆつきは徐々に発生するため、10～15分間はメッセージが表示されないことがあります。メッセージが表示される前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性がありますので、カセットカバーを開けないでください。
・つゆつきはレンズにも発生します。レンズに水滴が付着しているときれいに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。

■ つゆつき後再び使い始めるときは

・電源を切って1時間以上待ちます。その後、電源を入れて数分待ち、メッセージが消えてからご使用ください。メッセージが消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
・寒冷地帯では露が凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯ではメッセージが消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

■ つゆつきのトラブルを防ぐには

・寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。
・例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などにビデオカメラを入れて空気を抜き、密封してください。しばらくその状態で室温になじませてからご使用ください。

安全上のご注意

⚠警告

■持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たない

・液晶画面、またはファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、けがの原因となります。

■不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

■指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

■ AC アダプターのコードを傷つけない

・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
熱器具に近づける。

■内部に物を入れない

・カセットの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れない でください。
・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■内部の部品に触らない

・カセットの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
・感電や故障の原因となります。

■機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。

■分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■自動車などの運転中に使用しない

・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
・交通事故の原因になります。

他

安全上のご注意

⚠警告

■レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない

・レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。

■ぬらさない

・火災や感電の原因となります。
・風呂場では使用しないでください。
・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
・水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

■雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない

・感電の原因となります。

■電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・最後までしっかりと接続してください。

■電源プラグにほこりや金属物を付着させない

・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

■上に乗らない

・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

⚠注意

■ AC アダプターのコードの部分を持って抜かない

・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・AC アダプター本体を持って抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となることがあります。

■次のような場所には置かない

・砂浜などの砂ぼこりのある所
・湿気やほこりの多い所
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
・熱器具の近くなど
・真夏の車内など高温になる所
・直射日光の強い所

火災や感電の原因となることがあります。

■上に重い物を置かない

・バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■カセットテープの出し入れ口に手を入れない

・手をはさまれてけがをする原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■本体に衝撃を与えない

・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

■指定以外のアクセサリーを使わない

・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・本機に指定されたものか確かめ、アクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

⚠注意

■照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない

・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。

■本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない

・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

■コード類は正しく配置する

・ACアダプターのコードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。

■長期間使用しないときはバッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

■別売の三脚を不安定な状態で使用しない

・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。

■移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・カセットテープも取り出しておいてください。

■バッテリーやショルダーストラップは正しく取り付ける

・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

■お手入れするときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。

⚠注意

■5 年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

・内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
・費用については、販売店にご相談ください。

■強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない

・故障の原因となることがあります。
・テレビの上や近くでは使用しないでください。
・ACアダプターを使用しているときは、なるべく本機から遠ざけてご使用ください。

■飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

■AC アダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

■AC アダプターは指定以外のビデオカメラには使わない

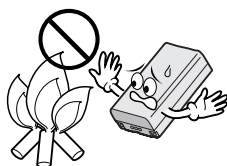
・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、取扱説明書もよくお読みください。

■AC アダプターを分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。

他

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

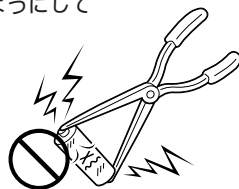
■高温の場所（60℃以上）に置かない

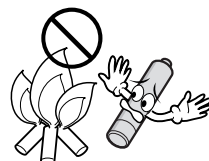
・発熱、破裂、発火の原因となります。

■バッテリーの端子部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運びの際にはキャップを取りつけて､金属物と端子が接触しないようにしてください。

■乾電池の端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・液漏れ、発熱の原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ､金属物と端子が接触しないようにしてください。

■乾電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、破裂などの原因となります。

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠警告

■指定以外の乾電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーや乾電池を使わない

- 液漏れを起こした電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
- 電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
- 電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。
  万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■乾電池は幼児の手の届かない所に置く

- 万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

■濡れたバッテリーは使わない

- 故障、感電、発熱、発火の原因となります。

⚠注意

■乾電池を入れるときは、極性表示（⊕ と ⊖）の向きに注意する

- 機器の指示通りに乾電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

■通電中の AC アダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない

- 温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

ビデオカメラについて

■ **本機は DV 方式のデジタルビデオカメラです。**

従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません

■ **電源（バッテリーや AC アダプター）をはずすときは、必ず電源が「切」になっていることを確認してください。**

・ビデオカメラの動作中に電源を外すと、テープを傷めたり誤動作の原因になります。

■ **長時間使用しないときは電源ダイヤルを「切」にしてください。**

・長時間電源を入れたままにしておくと、ビデオカメラの表面が温かくなります。長時間使用しないときは電源を「切」にしてください。

■ **ビデオカメラを保管するときはカセットテープを出し、電源を切り、バッテリーをはずしてください。**

・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作を点検してください。

液晶画面について

■ **液晶画面の表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**

・傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■ **ファインダーや液晶画面に小さな光る点や黒い点が出ることがあります。**

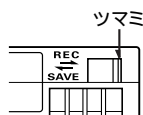
・ファインダーや液晶画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。（故障ではありません。）
これらはテープに記録されません。

カセットテープおよびメモリーカードについて

■ **本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。またデジタルスチルカメラとしても使用できます。**

MiniDV マークの付いたデジタルビデオカセットテープをご使用ください。MultiMediaCard マークまたは SD マークの付いたメモリーカード（マルチメディアカードまたは SD メモリーカード）をご使用ください。

■ **大切な録画を消してしまわないように注意してください。**

・保存しておきたい録画済みテープは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください（ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます）。

■ **事前に試し撮りをしてください。**

・大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

■ **内容の補償についてはご容赦ください。**

・万一、ビデオカメラ、カセットおよびメモリーカード等の不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ **権利者に無断で使用できません。**

・あなたがビデオカメラで録画、録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ **撮影を制限している場所があります。**

・鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

■ **モザイク状のノイズが出る場合があります。**

・LP モードで録画されたテープは、他の LP モードのついたデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LP モードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。

・LP モードでは、SP モードに比べ、音切れやノイズが出やすくなります。大切な撮影には SP モードをご利用ください。

■ **カセットテープおよびメモリーカードは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。**

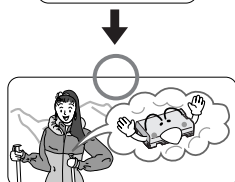
■ **メモリーカードは精密機器です。曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。**

他

使用上のご注意

バッテリーについて

■ リチウムイオンバッテリーの特性

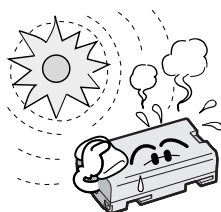
・リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（１０°C以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にビデオカメラに取り付けてください。バッテリー自体が冷えていなければ、ビデオカメラの動作上問題ありません（カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください）。

■ リチウムイオンバッテリーの保存

・充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
・しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。

<残りの容量を使い切るには>

① カセットテープを入れずに電源を入れる。

② ビデオカメラの電源が自動的に切れたらバッテリーを取り出す

・長期間保存する場合は、半年に一回程度充電した後、使い切ってから保存してください。
・使用しないときは必ずバッテリーをビデオカメラから取りはずしてください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなる恐れがあります。
・涼しい所で保存してください。周囲の温度が１５°C～２５°Cくらいの乾燥した所をおすすめします。暑い所や極端に寒い所は避けてください。
・ご使用にならないときはバッテリーキャップを取り付けて保存してください。

Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

時計用電池について

・日時を記憶するために充電式の電池が内蔵されています。ビデオカメラに、バッテリーやＡＣアダプターなどの電源を接続すると常に充電されていますが、ご購入時や、約3ヶ月使わずに保管していると電池が放電され、日時が消えてしまうことがあります。このようなときは、２４時間以上ＡＣアダプターなどの電源を接続してください。電源の入／切に関係なく電池が充電されてますので、日時を合わせてビデオカメラをお使いください。日時の合わせ方については、☞165ページをご覧ください（日時を合わせなくても、ビデオカメラで撮影をすることはできます）。

日常のお手入れ

本体の汚れを取る

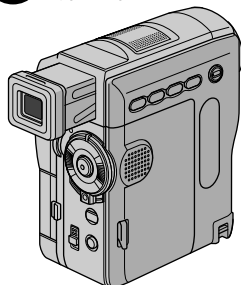
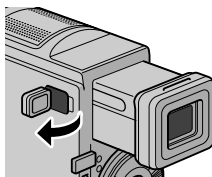
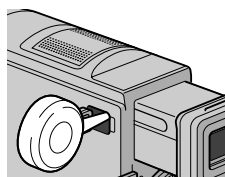
バッテリーやＡＣアダプターをはずして電源を切ってから、次のようにお手入れしてください。
・汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
・ひどい汚れは水で薄めた中性洗剤に布を浸して固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で水分を拭き取ってください。

●ベンジンやシンナーは使用しないでください
ボディの損傷や故障の原因になります。
●化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときはご使用になる製品の注意書きに従ってください。

レンズや液晶画面のゴミ・汚れを取る

市販のレンズブロワーでほこりを落とし、また市販のレンズクリーニングペーパー等で汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、かびなどが発生することがあります。

ファインダー内部のゴミを取る

ファインダーの内部にゴミなどが入ったときは、ファインダー掃除用のフタを開け、レンズブロワーでゴミ、汚れを取ってください。
終わったらフタを確実に閉め、ファインダーをもとに戻します。

海外でお使いになるときは

付属のACアダプターは海外でも使用可能です。バッテリーをビデオカメラに取り付けて充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

現地のテレビで再生する

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC方式を採用している国、および地域は以下の通りです。

- **アメリカ合衆国**
- **プエルトリコ**
- **バルバドス**
- **キューバ**
- **フィリピン**
- **チリ**
- **コロンビア**
- **台湾**
- **バミューダ**
- **バハマ**
- **カナダ**
- **米領サモア**
- **韓国**
- **コスタリカ**
- **メキシコ**
- **ニカラグア**
- **パナマ**
- **エルサルバドル**
- **ペルー**
- **グアム**
- **グァテマラ**
- **ミクロネシア**
- **スリナム**
- **ハイチ**
- **エクアドル**
- **ベネズエラ**
- **ミャンマー**
- **ボリビア**
- **ホンジュラス**
- **ドミニカ**
- **トリニダード・トバコ**

●**再生できるテープは**
日本と同じNTSC方式で撮影したミニDVテープが再生できます。

●**ビデオカメラが海外で故障したときは**
- ☞188ページ「ビクターサービス窓口案内」の「海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口」にご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。海外では日本の保証書は適用されません。
- その他の地域に関しては、日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みになってから大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（☞188ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

170〜174ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
万一本機およびデジタルビデオカセットなどの不具合により、正常に撮影や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	デジタルビデオカメラ
型　名	GR-DVX600K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	（　　）　ー

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

● 長年ご使用のデジタルビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常な故障がある。

ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

他

ビクターサービス窓口案内

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0102

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077) 582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075) 644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773) 22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.C.	(07442) 4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06) 6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722) 54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073) 472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739) 22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078) 252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792) 34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086) 243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082) 243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849) 31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839) 73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834) 27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832) 51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087) 866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088) 622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088) 882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089) 923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895) 20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡 佐賀	福岡S.C.	(092) 431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942) 39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093) 921-3981	802-0065	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095) 862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956) 33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097) 543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096) 353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985) 24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982) 35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099) 282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098) 898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852) 31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853) 21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855) 22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857) 23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ JVC CANADA INC.
- ・トロント 〔416-293-1311〕
  21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
- ・ロサンゼルス 〔714-229-8011〕
  5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
- ・ニュージャージー 〔973-396-1000〕
  10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
- ・ホノルル 〔808-833-5828〕
  2969 Mapunapuna Place, SUITE 105, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス JVC（U.K.）LIMITED
- ・ロンドン 〔0208-450-3282〕
  JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス JVC FRANCE S.A.
- ・パリ 〔08-25-800-811〕
  1, Avenue, Eiffel 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール JVC ASIA PTE. LTD.
- ・シンガポール 〔255-8155〕
  31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

窓口	TEL	〒	所在地
お客様ご相談センター	(03) 5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル
	(06) 6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

他

サービスネットワークＢＳ 9001

主な仕様

[ビデオカメラ]

一般仕様

項　　目	仕　　様
電源	DC11.0 V（ACアダプター使用時）、DC 7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	4.5 W（ファインダー使用時）、5.4 W（液晶画面使用時）、
外形寸法	54 mm × 113.5 mm × 96 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	本体質量　　約 490 g 撮影時質量　約 550 g（バッテリーBN-V306、カセットM-DV30ME含む）
許容動作温度	0 °C ～ 40 °C
許容相対湿度	35 % ～ 80 %
許容保存温度	–20 °C ～ 50 °C

カメラ部仕様

項　　目	仕　　様
撮像素子	1/3.8型 102万画素CCD （撮像エリア　動画:89万画素（ワイドエリアモード時）、71～62万画素（通常時）※、静止画:96万画素）
レンズ	F1.8、f＝3.8 mm ～ 38 mm （35mmカメラ換算:35.6mm～356mm（ワイドエリアモード時）、39.7mm～428mm（通常時）※）
フィルター径	27 mm（ネジピッチ 0.5 mm）
ズーム倍率	光学10倍、最大200倍（デジタル使用）
最低照度	10ルクス（ナイトアイ使用時：約1ルクス）

※ワイドエリア対応メガピクセル CCD の採用により、通常動画撮影時には、ズーム倍率に応じて有効画素エリアおよび画素数が可変します。それにより、ズーム比としては、光学約 10.8 倍相当のズーム効果を得ることができます。

デジタルビデオカメラ部仕様

項　　目	仕　　様
録画／再生方式	DV方式（SD仕様） 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCMデジタル記録、32 kHz 4チャンネル（12BIT)、 48 kHz 2チャンネル（16BIT）、44.1kHz（再生のみ）
信号方式	NTSC日米標準信号方式
使用カセット	ミニDVカセット
録画／再生時間	SPモード：80分、LPモード：120分（DVM80テープ使用時）
早送り／巻き戻し時間	約3分（DVM60テープ使用時）

デジタルスチルカメラ部仕様

項　　目	仕　　様
記憶メディア	マルチメディアカード／SDメモリーカード
圧縮方式	静止画：JPEG準拠、動画：MPEG4準拠
画像サイズ	640×480ドット／1024×768ドット／1280×960ドット
画質	2モード（ファイン/スタンダード）
静止画撮影可能枚数	☞61ページ
動画撮影可能時間	☞94ページ

液晶画面／ファインダー部仕様

項　　目	仕　　様
液晶画面	2.5型、11.3万画素　カラー液晶
ファインダー	0.44型、11.3万画素　カラー液晶

端子部仕様

項　　目	仕　　様
DV入力／出力端子	4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠）
S2入力／出力端子 （S映像入力／出力端子）	アナログ入力（Y:0.8 V (p-p)－1.2 V (p-p)、75Ω C:0.2 V (p-p)－0.4 V (p-p)、75Ω） アナログ出力（Y:1.0 V (p-p)、75 Ω　C:0.29 V (p-p)、75 Ω）
AV入力／出力端子 （映像／音声入力／出力端子）	φ3.5 mmミニジャック 映像：アナログ入力（0.8 V (p-p)－1.2 V (p-p)、75 Ω） アナログ出力（1.0 V (p-p)、75 Ω） 音声：ステレオ／アナログ入力（300 mVrms、50 kΩ） ステレオ／アナログ出力（300 mVrms、1 kΩ）
USB端子	5 ピン（ミニUSB）
編集端子	φ3.5 mmミニジャック
ヘッドホン端子	φ3.5 mmミニジャック

[AC アダプター]

一般仕様

項　　目	仕　　様
定格入力	AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz
入力容量	25 VA（100 V）、34 VA（240 V）
定格出力	DC 11 V 、1 A
許容動作温度	0℃～40℃（充電時は10℃～35℃）
外形寸法	59 mm × 31 mm × 84 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約130 g

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- 本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

他

メニュー一覧

撮影時

電源ダイヤルを「M」に設定し、メニューダイヤルを押すと表示されます。

■は初期値

アイコン	メニュー	
	場面切替	
	フェーダー：白	ワイプ：スライド
	フェーダー：黒	ワイプ：ドア
	フェーダー：白黒	ワイプ：スクロール
	ワイプ：コーナー	ワイプ：シャッター
	ワイプ：ウィンドウ	**切**
	プログラムAE	
	1/60　シャッター1/60	B/W白黒
	1/100 シャッター1/100	映画効果
	スポーツ	ストロボ
	スノー	**切**
	スポットライト	
	夜景	
	セピア	
	明るさ補正	
	オート	
	マニュアル	−6 〜 +6
	白バランス	
	オート	くもり
	ワンタッチ	ハロゲン
	はれ	

アイコン	メニュー	サブメニュー			
A	**フルオート**				
	録画モード	**SP**	LP		
	音声モード	**12BIT**	16BIT		
	ズーム	10倍	**40倍**	200倍	
	記念写真モード	**フル**	ピンナップ	フレーム	
	感度アップ	切	AGC	**オート**	
M	**マニュアル**				
	手ぶれ補正	切	**入**		
	テレマクロ	**切**	入		
	ワイド効果	**切**	シネマ	ワイド	ワイドエリア
	ボイスポジション	**切**	入		
	フラッシュ	**オート**	オート 👁	入	切
	フラッシュ明るさ	**±0**	(−3〜+3)		
	システム				
	ブザー	切	ブザー	**メロディー**	
	タリー	切	**入**		
	デモモード	切	**入**		
	音声入力切替	**マイク／AUX**	効果音		
	プリセット	**キャンセル**	実行		

■ は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー		
	日時／表示			
	画面表示切替	モニター	**モニター/TV**	
	日時表示	切	**オート**	入
	タイムコード	**切**	入	
	年月日時計合わせ	現在の年月日、時刻を設定する		
	静止画撮影			
	画質設定	**ファイン**	スタンダード	
	画像サイズ	640×480	**1024×768**	1280×960
	記録選択	**➡**	➡ / ➡ M	

再生時

電源ダイヤルを「再生」に設定し、メニューダイヤルを押すと表示されます。

■ は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー		
	ビデオ再生モード			
	音声切替	**ステレオ**	音声Ｌ	音声Ｒ
	12BIT音声	ミックス	**音声１**	音声２
	シンクロ補正	－1.3～ **±0.0** ～＋1.3		
	録画モード	**ＳＰ**	ＬＰ	
	ブランクサーチ	**キャンセル**	実行	
	➡ M コピー	**切**	入	
	アナログ入力	**切**	入	
	システム			
	ブザー	切	ブザー	**メロディー**
	タリー	切	**入**	
	デモモード	切	**入**	
	音声入力切替	**マイク／AUX**	効果音	
	プリセット	**キャンセル**	実行	
	日時／表示			
	画面表示切替	モニター	**モニター/TV**	
	日時表示	切	**オート**	入
	タイムコード	**切**	入	

他

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

アルファベット

他

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**
188～189ページをご覧ください。	**電話：(045)450-2770**

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

東京 電話：(03) 5684-9311 **Fax：(03) 5684-9317** 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル	**大阪 電話：(06) 6765-4161** **Fax：(06) 6765-4891** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

0302HOV＊BS＊VP